

積算ソフト「頂」2024 操作マニュアル

株式会社エージェンシーソフト
マニュアルver.1-1

目次

1.頂を起動する	5
2.スタート画面	5
2-1 各機能の説明	5
2-2 プログラム・データ更新	7
新規設計書の作成	8
1. 積算条件の設定	8
2.表紙の入力	10
3.見積情報の入力	12
4.直接工事費の作成	13
4-1 設計書画面の機能	14
4-1-1 ツールバーの説明	15
4-1-2 コマンドバーの説明	17
4-2 単価検索画面の機能	18
4-2-1 クリップ機能	19
4-2-2 ツールバーの説明	20
4-2-3 コマンドバーの説明	22
4-2-4 表示バーの説明	24
5.階層の作成	25
5-1 任意に階層を作る場合	25
5-2 工事積算大系を利用する場合	26
6.内訳の作成	27
6-1 内訳名称を作成して登録する	28
7.新規代価(単価)の作成	30
8.単価検索からの単価の転送	35
8-1 基礎単価の場合(材料や労務単価)	36
8-2 施工単価の場合	37
8-3.施工パッケージについて	38
8-3-1 施工パッケージの検索	40
8-3-2 施工パッケージの材料を変更する方法	41
9.行の削除	43
10.共通仮設費積上額の入力	44
11.諸経費の計算	48
11-1 土木工事	49

11-2 水道工事	55
11-2-1 管材費の設定	57
11-3 設備工事	59
11-3-1 処分費(発生材処分費)や工期の設定	60
11-4 民間工事	61
12.頂を終了(保存)する	63
12-1 頂を保存する	63
12-2 頂を終了する	64
工事価格関係	65
1.工事価格を任意の額に変更する	65
2.工事価格から諸経費を逆算する	67
印刷関係	71
1.印刷フォーマットの各設定の説明	72
2.印刷対象の設定	73
3.表紙の各設定についての説明	74
4.単価表の設定	75
・4-1 出典を印刷	75
・4-2 備考欄を印刷	75
・4-3 帳票番号の印刷設定	76
・4-4 変更後のみを印刷する	76
5.その他	77
・5-1 経費の対象額と率の印刷設定	77
・5-2 各種集計対象の集計値の印刷設定	77
6.印刷設定の保存・PDF・Excel出力・出力したファイルの保存	78
その他	79
1.前年度単価で作成した設計書を新年度単価、または別地区に更新する	79
2.夜間・冬期・通勤補正	81
・2-1.夜間補正の場合	83
・2-2通勤補正の場合	84
・2-3 冬期補正の場合	85
・2-4 二つの補正を同時に行う場合	86
・2-5 冬期補正(現場管理費の補正)の場合	88
3.ユーザ単価	89
3-1 ユーザ単価の作成	89
3-2 ユーザ単価の転送	94
4.変更設計について	96
4-1 変更設計書の作成	96
4-2 変更設計書の印刷	99
5.機械設備歩掛 その他の率の変更方法	105
5-1 一括して率を変更する場合	106
5-2 工種ごとに率を変更する場合	108

6.工事落札額	110
6-1 設計変更後の工事落札額を計算	112
6-1-1 設計変更後の工事落札額の印刷	112
7.CSV ファイルのインポート	114
7-1. CSV ファイルのインポート方法	116
7-2. 学習機能について	115
7-3. 学習機能(詳細設定)を使用する場合	116
7-4.個別に学習機能を使用する場合	118
8.「物価資料」単価表示対象の設定	120

1.頂を起動する

デスクトップにある頂のアイコンをダブルクリックすると、下のようなスタート画面が表示されます
この画面から作業内容を選択して該当するボタンをクリックすると、それぞれ次の画面に進むことができます。

2.スタート画面

積算ソフト - 頂2024

簡単な使い方、充実の機能、万全なサポート。

リモートサポート要求

使用する機能をクリックしてください

① 単価検索 歩掛、単価、施工パッケージを検索する 単価検索	② 新規設計書 新規設計書を作成 設計書	③ 既存設計書 既存設計書を開く 設計書	(旧) 頂2013 データが 頂201
④ 設計書の継続 前回の設計書を継続する 設計書	⑤ 逆算・諸経費計算 積上せず、逆算や諸経費のみを計算する 設計書	⑥ 合算 複数工事の経費を合算する 設計書	(旧) 前回の 頂201
⑦ 設計書変換 PDF、CSV、Excelなどの設計書を頂の形式に変換する 頂！サービス	⑧ プログラム・データ更新 頂-積算ソフト歩掛単価等を更新する 頂！サービス	⑨ サポート リモート操作を要請する 頂！サービス	プログ 頂-積算 を更新 頂！サ

⑪ ⑩ 1 2 3

ホームページ ヘルプ シリアル番号管理 変更履歴 頂！サービス オプション設定 Version: 5.24.01.15

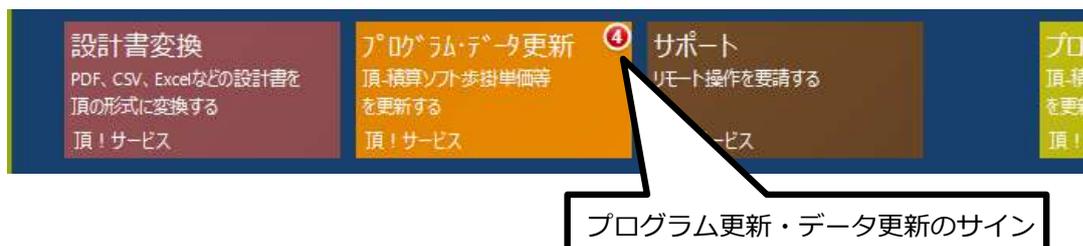
頂のバージョンが表示されています

2-1 各機能の説明

- ① **単価検索**：歩掛や単価の検索システム。単独で辞書のように使うと便利です。
- ② **新規設計書**：新規設計書を作成します。
- ③ **既存設計書**：過去に作成(保存)した設計書を開きます。
- ④ **設計書の継続**：前回作成(保存)した設計書を開き、継続して作業する場合に選択します。
- ⑤ **逆算・諸経費計算**：
《逆算》工事価格が事前公表されている場合、工事価格から直接工事費や各種経費を逆算するときに使用します。
《諸経費計算》積み上げた直接工事費を入力し間接費を自動計算させて工事価格を求める場合に使います。
※逆算・諸経費計算共に処分費や管材費（水道工事の場合）及び共通仮設費の積上げ額を入力し、各種補正を設定する必要があります。
- ⑥ **合算**：近接工事など複数の工事を合算する場合に使用します。
- ⑦ **設計書変換**：発注者の設計書データを頂に取り込めるファイルに変換できます。
※WEBサービスのため、インターネット接続が必要です。
- ⑧ **プログラム・データ更新**：7ページをご覧ください。
- ⑨ **サポート**：リモートサポートを要請する際に使用します。※インターネット接続必須
- ⑩ **新旧切り替え(OP委託設計)**：頂2014以前で作成した設計書を開く際は2をクリックします。
オプションの委託設計をご契約中の方は3をクリックして委託メニューを表示させます。
- ⑪ **その他メニュー**：
 - ・ホームページ…弊社製品HPへリンクします。
 - ・ヘルプ…マニュアル、参考資料、よくある質問など、積算をする際に重要になる情報が掲載されています。
 - ・シリアル番号管理…認証システムが起動します。認証状況の確認などもできます。

2-2 プログラム・データ更新

新しいプログラムや単価・歩掛をインターネットで随時更新します。



⑧**プログラム・データ更新**：ソフトのプログラムに更新がある場合と、県発表の資材単価などのデータに更新がある場合はこちらに赤丸で更新をお知らせします。サインが出ている場合はクリックして必ず更新をお願いします。更新にはインターネット環境が必要です。

新規設計書の作成

1. 積算条件の設定



設計書の各種設定画面に移ります



各種設定

プリセット: 00

②経費条件を設定します。

▼をクリックするとプルダウンメニューが開きますので、
該当する項目を選択してください。

科目名	金額/値(当世代)	計算方法
▶ KS 工事種類	土木工事	
KB 工種区分	土木工事	
KY 経費年度	土木工事 (電気通信)	
	土地改良工事	
Z23 共通仮設費補正	治山林道工事	補正しない
	公共建築工事	
Z27 共通仮設費補正(週休)	公共建築工事(富山県)	補正しない
	公共住宅工事	
Z71 現場環境改善費区分	水道工事(水道実務必携基)	計算しない
	水道工事(下水道基準)	
Z56 共通仮設費補正(被災地)	除染工事	補正しない
	港湾工事	
Z57 現場管理費補正(被災地)	民間工事	補正しない
	水道実務必携委託設計	
Z58 現場管理費補正(工事場所)	水道施設維持管理業務委託	補正しない
	農業集落排水施設	
		補正しない
		補正しない

工事種類、工種区分により経費率が変わりますので、
設計書や入札公告から適切なものを選択します。

2.表紙の入力

表紙（プリセット対象外）をクリックすると、工事内容などの入力画面に移動します。

①表紙（プリセット対象外）をクリック

②「工事内容」をクリック

③工事名や概要など必要事項を任意に入力します

項目	内容
日-工事内容	
工事番号	
工事名	水道管布設工事
工事場所	東京都台東区
場所名称	
工期	20××年×月×日
起工予定日	
竣工予定日	
発注者	
事業主体	
施工年度	
概要の1行目	

これらの内容は積算中いつでも変更することができます。

次に、積算者情報を入力します。

④「積算者情報」をクリック

⑤会社名など必要事項を入力します。

項目	内容
積算者情報	
会社名	株式会社エージェンシーソフト
代表者	竹内 邦彦
郵便番号	101-0052
住所1	東京都千代田区神田小川町3-8

積算者情報は一度入力すると記憶され、変更がない限り入力する必要はありません。



印刷例

工事設計書	
工事名称	水道管布設工事 ①
工事費総額	¥
(内訳) 工事価格	¥
消費税	¥
発注者名	
工 期	20××年×月×日 ②
工事場所	東京都台東区 ③
場所名称	
工事概要	
	株式会社エージェンシーソフト 竹内邦彦 〒 101-0052 東京都千代田区神田小川町3-6 ④ TEL 03-5283-9705 FAX メ-ル

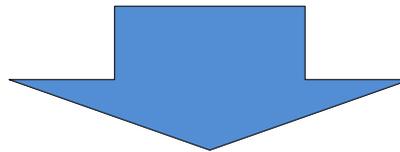
3.見積情報の入力

民間工事などで見積書を提出する場合は、見積情報を入力すると表紙部分に反映されます。

① 「見積情報」をクリック

② 見積宛先など必要事項を入力します

項目	
見積情報	
見積番号	2017-490 ①
見積宛先	サンプル株式会社 ②
見積作成日	20××年×月×日 ③
請負額	
請負額増...	
決済条件	
有効期限	



印刷例

見積 No. 2017-490 ①

御 見 積 書

作成日 20××年×月×日 ③

サンプル株式会社 ②

下記の通りお見積り申し上げます。

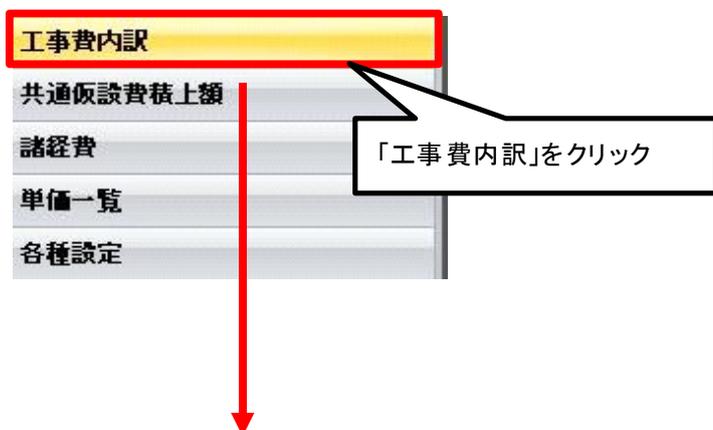
工 事 名	見 積 金 額	¥円
工事場所	消費税相当額	¥円
工 期		
工事概要		

株式会社エージェンシーソフト
 竹内邦彦
 〒 101-0052
 東京都千代田区神田小川町3-6
 TEL. 03-5283-9705
 FAX
 メール

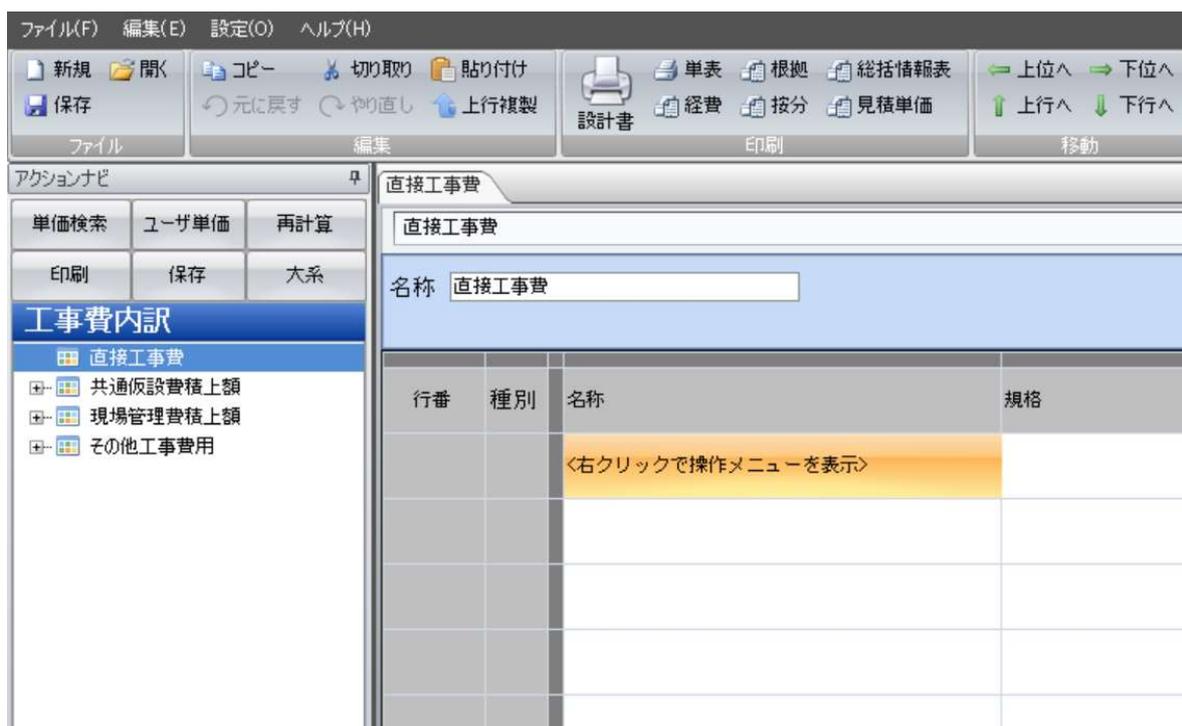
4.直接工事費の作成

積算条件の設定、表紙の入力が終わりましたら、次は直接工事費を作成します。

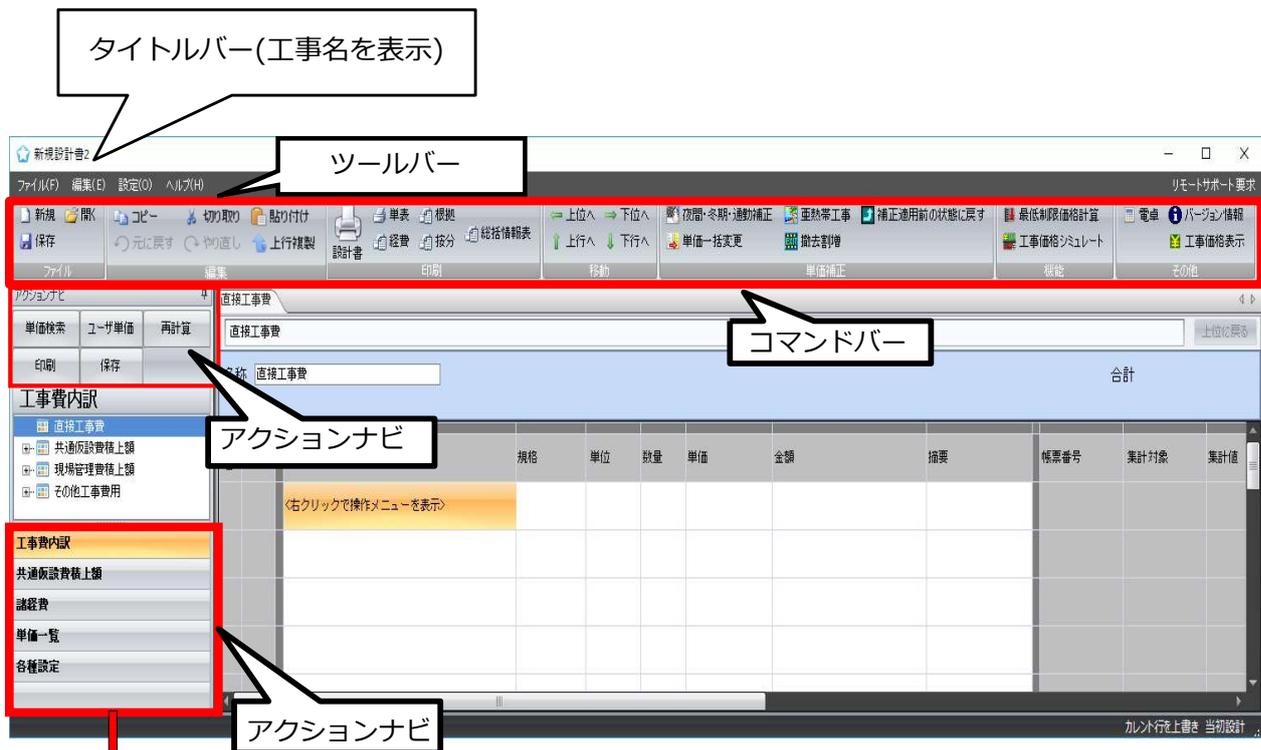
工事費内訳画面を開きます。



直接工事費画面が開きます。



4-1 設計書画面の機能



★ アクションナビの主な機能

単価検索：単価検索画面を開きます。

ユーザ単価：特殊な単価や代価を保存しておくことができます。

再計算：数量や単価を変更したとき、合計金額などを再計算します。

印刷：印刷設定画面を開きます。

保存：現在の設計書を保存します。

工事費内訳：直接工事費や共通仮設費積み上げはここから行います。

諸経費：諸経費画面を開きます

単価一覧：代価一覧と同様に使われている単価の一覧を表示します。

各種設定：表紙や諸経費、端数処理などの設定画面です。

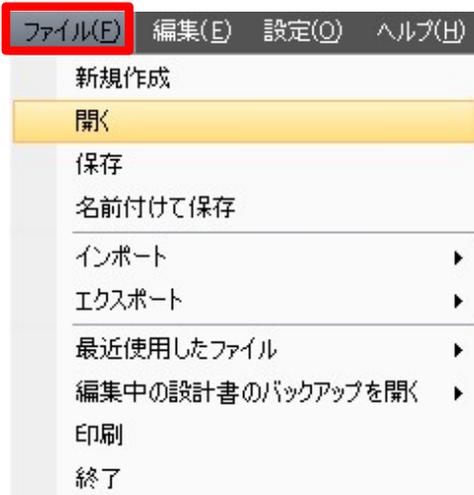
4-1-1 ツールバーの説明

ツールバーには「ファイル」「編集」「設定」「ヘルプ」の4つのメニューがあります。

ファイル(F) 編集(E) 設定(O) ヘルプ(H)

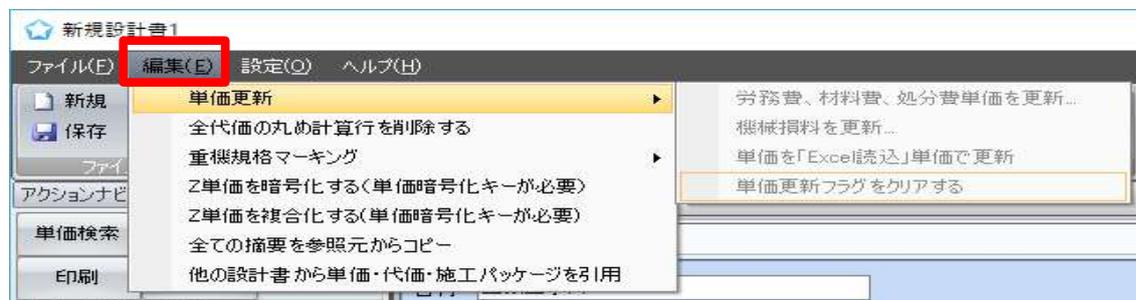
★ ファイルのメニュー

このメニューから保存やCSV ファイルの取り込みができます。



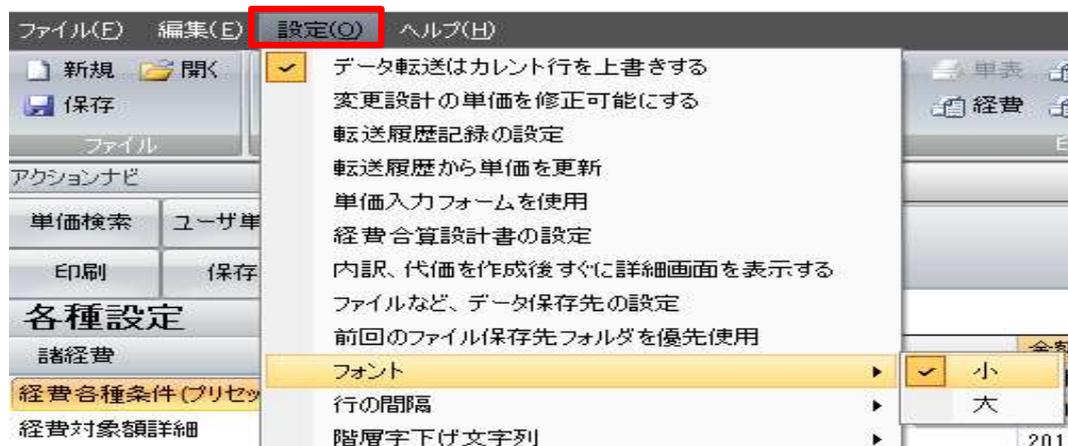
★ 編集のメニュー

単価更新から労務費や機械損料などを更新できます。



★ 設定のメニュー

ファイルなどのデータ保存先の設定変更や、文字のサイズを変更することができます。



★ ヘルプのメニュー

頂のホームページへ移動します。



A screenshot of the Agencysoft support center website. At the top, there is a navigation bar with 'ホーム', '製品情報', '価格', 'よくある質問', 'お知らせ', and 'サポート'. The 'サポート' tab is active. Below the navigation bar, the main content area is titled 'サポートセンター' and includes a sub-header '1. お問い合わせ窓口'. Under this, there are sections for 'お電話でのお問い合わせ' (with phone number 03-5283-9707) and 'メールでのお問い合わせ' (with email info@agencysoft.jp). To the right, there are promotional boxes for '無料体験版' (Free Trial), '今すぐ購入' (Buy Now), and '積算セミナー' (Billing Seminar). At the bottom right, there is a section for 'お知らせ' (News) with dates like '2019年4月22日' and '2019年2月22日'. The Agencysoft logo and contact information are visible at the top left of the page.

4-1-2 コマンドバーの説明

コマンドバーの主な機能をご説明します。



・編集



コピー：任意の歩掛や単価の行をコピーします

切り取り：任意の歩掛や単価の行を切り取ります

貼り付け：コピーや切り取りした任意の歩掛や単価の行を貼り付けます

上行複製：現在選択している行のすぐ上の行を複製します。内訳や代価の場合は下位表（明細）も含めて複製します。

元に戻す：直前の操作を取り消して元の状態に戻します。

やり直し：取り消した操作をもう一度行います。

・印刷



設計書：設計書全体を印刷します。

単表：選択した内訳表や代価表を印刷します。

経費：諸経費を印刷します。

根拠：諸経費根拠表を印刷します。

按分：按分した設計書を印刷します

総括情報表：落札額や請負比率を印刷します。

・移動



行の移動：設計書内の現在選択している行を上下行と入れ替えることができます。例えば4行目に追加した項目を2行目に移動する場合は、移動したい4行目をクリックして選択された状態(オレンジ色になります)にしてから上向矢印を2度クリックすると2行上がって2行目へ移動します。

位の移動：左右の矢印は階層の移動に使います。例えば③階層目の下に新たに階層を作ると、1階層下がって④階層として作成されます。これを上の階層と同じ深さの③階層に変更したい場合などに、④階層目をクリックして選択状態にしてから左向き矢印を1度クリックすると、1段階左に移動して3階層になります。階層の移動はどの時点でも可能です。また、移動する階層の下位にある階層も一緒に移動します。

・その他



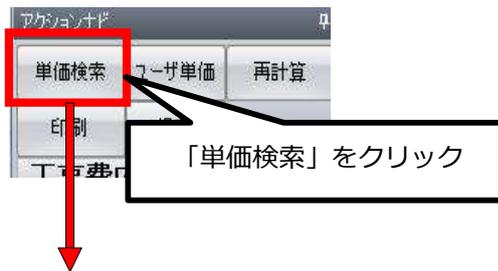
電卓：画面上に計算機が表示され、机上に電卓がなくてもパソコン上で計算することができます（ただし関数電卓には対応しておりません）

バージョン情報：頂のバージョンを確認できます。

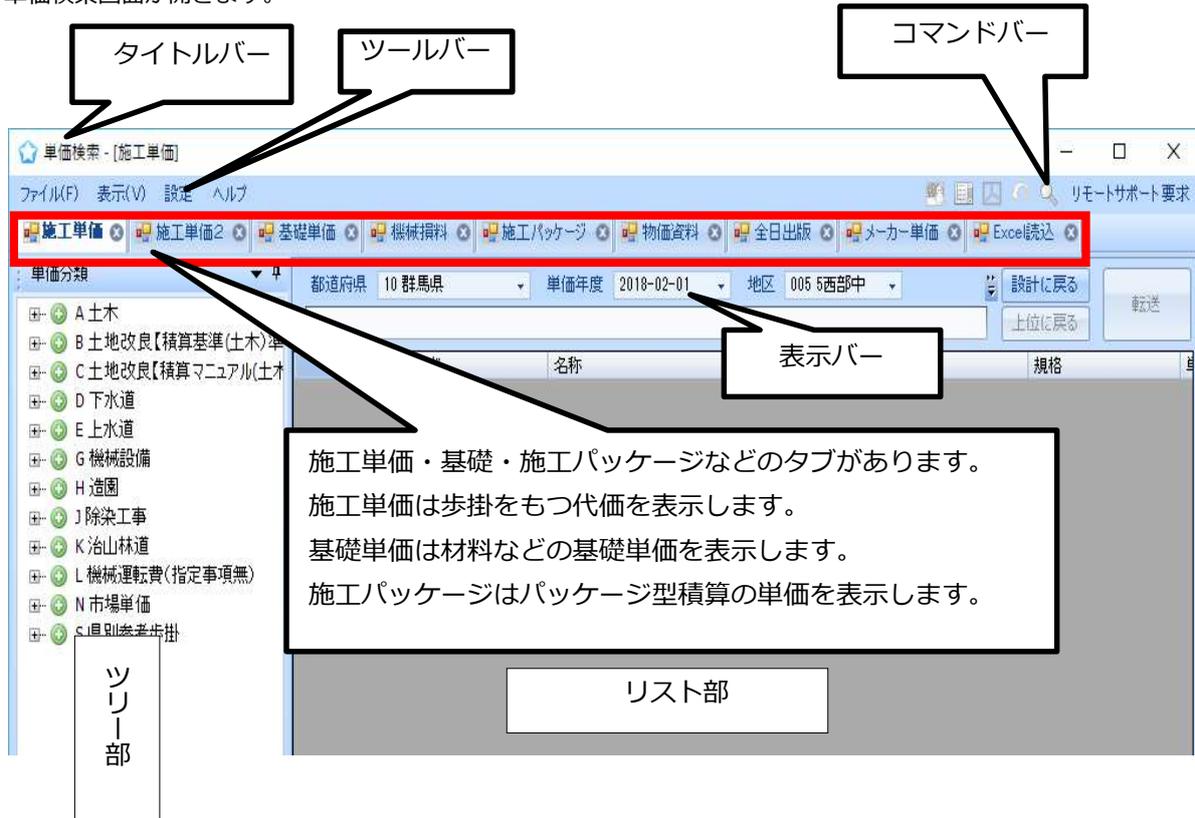
工事価格表示：工事費内訳や共通仮設費積上の画面上で工事価格を確認できます。

4-2 単価検索画面の機能

単価検索画面を開きます。



単価検索画面が開きます。



- (1) タイトルバーには「単価検索-[施工単価]」と表示されます。
- (2) ツールバーには作業を補助するメニューが用意されています。
- (3) コマンドバーには4つの作業メニューとリモートサポート要求が用意されています。
- (4) 表示バーには「都道府県名」「単価年度」「地区」「歩掛年度」「豪雪補正」「被災地補正」が表示されます。
地区リストはヘルプから閲覧できます。正しく積算するためにはこれらを正しく設定していただく必要があります。
- (5) 「施工単価」は代価（標準歩掛）を、「基礎単価」は材料や労務単価などの下位表を持たない基礎単価をそれぞれ表示します。「施工パッケージ」は施工パッケージの単価を表示します。
- (6) リスト部はツリー部で選択した代価や単価を表示します。

4-2-1 クリップ機能

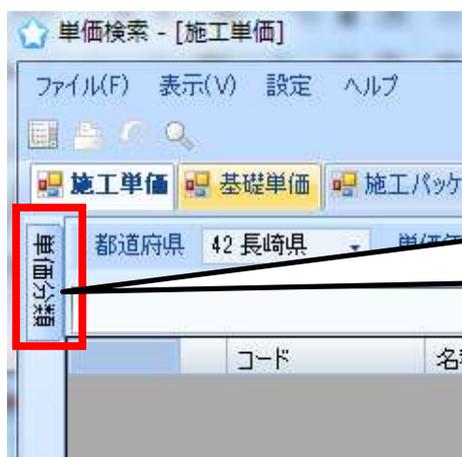
ツリーの表示を固定（表示）、非表示にすることができます。

📌 ピンを挿している状態 → ツリーが固定される

📌 ピンを倒した状態 → ツリーが非表示



クリックでピンを挿したり、倒したりできます。
ピンを倒すとツリーが非表示になります。



単価分類をクリックするとツリーが表示されます。
ピンが倒れているのでピンをクリックしてピンを挿して固定します。

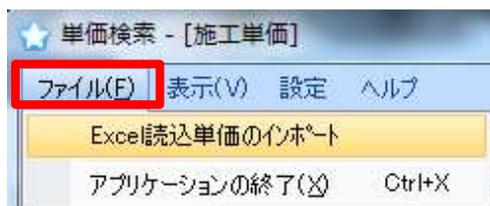
4-2-2 ツールバーの説明

ツールバーには「ファイル」「表示」「設定」「ヘルプ」の4つのメニューがあります。



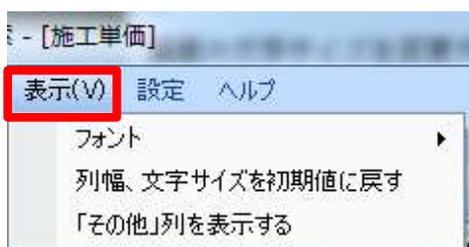
★ ファイルのメニュー

Excel 読込単価をインポートするときに使います。



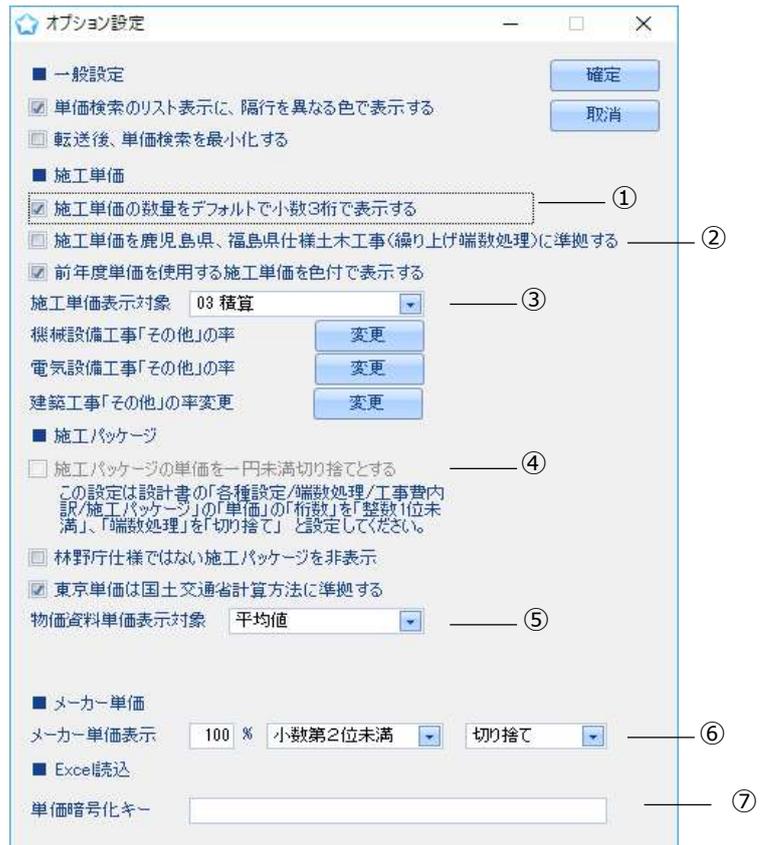
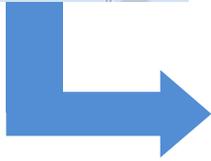
★ 表示のメニュー

文字サイズの「大」と「小」が選択できます。列幅や文字サイズを初期値に戻します。リスト部に「その他」列を表示させます。



★ 設定のメニュー

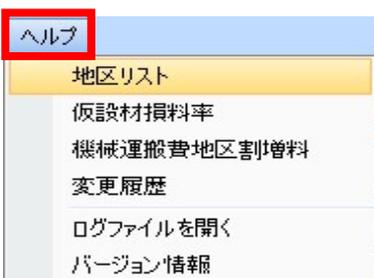
オプション設定が選択できます。



- ① 代価数量を3桁表示にします。(初期設定は2桁表示です)
- ② 鹿児島県、福島県のユーザ用の設定です。
- ③ 施工単価表示対象: 「土木」「積算」「管工事」「公園工事」が選択できます。
(総合積算を契約しているお客様のみ選択可能です。)
- ④ 施工パッケージ単価を切り捨てにする設定です。
- ⑤ 「物価資料」の単価の表示方法の設定ができます。※詳しくはP120 をご覧ください。
- ⑥ 単価検索のメーカー単価を自由に変更できます。
- ⑦ Excel で暗号化して作成した独自単価を表示させる際に必要なキーを入力する欄です。
(発注者用機能)

★ヘルプのメニュー

地区リストを開きます。工事場所の地区番号がわからない時に地区リストで確認できます。



4-2-3 コマンドバーの説明

コマンドバーの主な機能をご説明します。



夜間・通勤・冬期補正：夜間工事等の補正を行う際に使用します。

※詳しくは81ページ~を参照してください



全てのツリーを閉じる：

作業しているうちにツリー部分が長く展開して、目的のコードや工種が見つけにくくなることがあります。このアイコンをクリックするとすべてのツリーが閉じて最初の状態に戻ります。



印刷：代価表を印刷するときに使います(色がついていないときは印刷できません)



ジャンプ元に戻る：E上水道工事のツリー内に、水道実務必携に単価表及び端数調整の諸雑費行がない工種があります。その工種はツリー内の〇〇には作成せず"70 歩掛(2)"にまとめてあります。ツリー内の〇〇でそのような工種を選択した場合、"70 歩掛(2)"の代価表を表示するジャンプ機能があります。

【例】 上水道工事で E-6-1 布設工・総経費行なし →★E-70-6-1

などの表現があるとき、ダブルクリックするとE-70-6-1 にジャンプして"70 歩掛(2)"にあるその代価表を表示します。そのときツリー部もE-70-6-1付近を表示します。当該代価表を張り付けた後、【ジャンプ元に戻る】をクリックすると、ツリー部の表示が元のE-6-1 に戻ります。

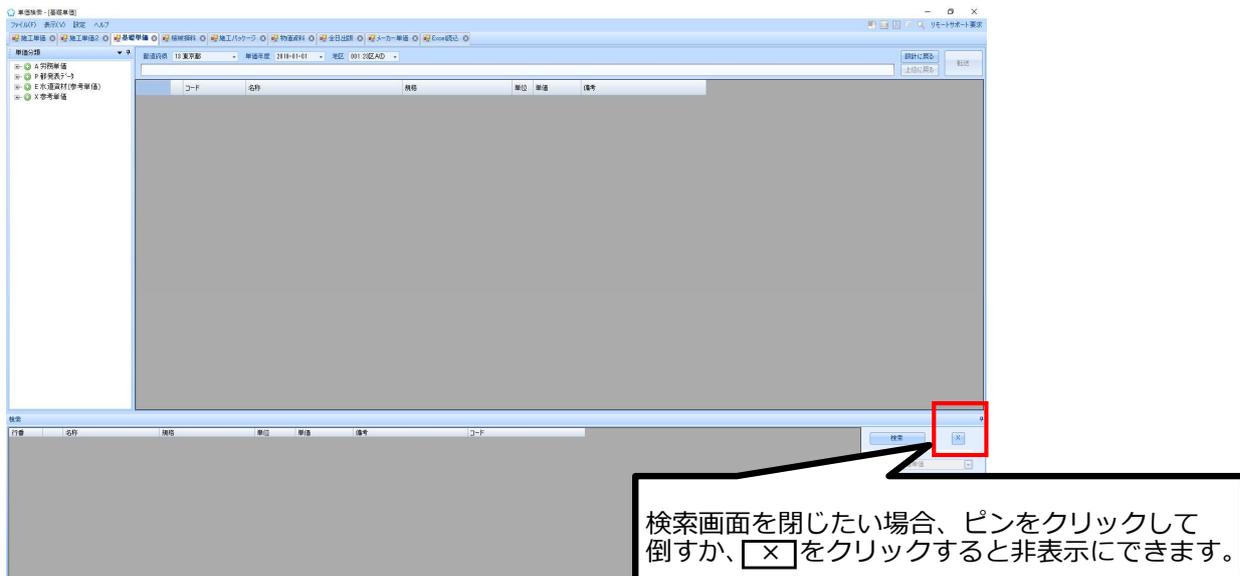


検索：ツリー部から目的の代価や単価が見つからない時に、工種名などから検索することができます。アイコンをクリックすると単価検索システム画面の下に検索用画面が表示されます。

補足説明

- (1) 現在選択しているタブの中から検索をします。歩掛を検索する場合は「**施工単価**」のタブを選択してから検索をし、労務単価や材料などを検索する場合は「**基礎単価**」のタブを選択してください。
- (2) 検索用画面にもクリップ機能がありますのでピンで検索用画面を固定表示にしておくことができます。

(3) スペースキーの活用。舗装「スペース」切断と入力すると文字が離れていても検索できます。
この例では舗装版切断も表示されます。



リモートサポート要求：単価検索画面からリモート操作を要請するときに使います。
※インターネット環境が必要です。

4-2-4 表示バーの説明

表示バーの主な機能をご説明します。

The screenshot shows a software toolbar with the following elements from left to right: a dropdown menu for '都道府県' (Prefecture) set to '22 静岡県'; a dropdown menu for '単価年度' (Unit Price Year) set to '2019-04-01'; a dropdown menu for '地区' (Region) set to '012 富士212'; a dropdown menu for '歩掛年度' (Step Rate Year) set to '2019'; a dropdown menu for '機械損料年度' (Mechanical Damage Year) set to '2018-07-01'; two checkboxes, '豪雪' (Heavy Snow) and '被災地' (Disaster Area), both currently unchecked; a '設計に戻る' (Return to Design) button; an '上位に戻る' (Return to Higher Level) button; and a '転送' (Transfer) button.

都道府県ボックス：ご契約の都道府県が表示されています。

単価年度ボックス：労務費や資材などの基礎単価の年度を表示しています。スタートメニューの「データ更新」から更新をすると単価年度ボックスに更新された月が追加されます。

地区ボックス：生コンや砕石など都道府県で地区ごとに公表している単価があります。お使いの県で区分している地区に分類してありますので、当該工事の地区に合わせて選択してください。市町村名と地区との関係が不明の時は、ツールバーの「ヘルプ」→「地区リスト」の順でクリックします。表示されるエクセルシートの一覧表から確認してください。

歩掛年度ボックス：歩掛年度を表示しています。

機械損料年度ボックス：機械損料年度を表示しています。

豪雪補正ボックス：機械損料の豪雪補正を設定します。全県が豪雪補正地区に指定されている場合は初期設定でチェックが入っていますが、県内で豪雪地区に該当しない地区がある場合はチェックが入っていません。その場合は積算を開始する前にチェックを入れる必要があります。

被災地補正ボックス：国土交通省の被災地の歩掛を使用する場合はチェックを入れて下さい。

上位に戻る：現在のツリーの位置からひとつ前のツリー画面に戻ります。

転送：単価検索のデータを設計書へ転送し貼り付けます。

補足説明

- (1) 歩掛は毎年変更されますが、いつの時点で新しい歩掛を採用するかは発注官庁によってまちまちです。新年度になって労務費や資材単価は新年度単価を採用しても、歩掛と機械損料はしばらく昨年度分を使用しているのが現状です。
- (2) 頂では機械損料は単価年度ではなく歩掛年度に連動しています。新年度になっても歩掛と機械損料は旧年度という場合は、歩掛年度を前年度、単価年度は新年度4月に設定すれば対応できます。

5.階層の作成

階層を作成するには、「任意に作成」する方法と「工事積算大系」を利用する方法があります。

5-1 任意に階層を作る場合

直接工事費画面にて、右クリックで操作メニューを呼び出します。



②設計書に合わせた構成をクリック

「階層」はひとつの階層を作成します
「第1階層から」「第2階層から」「第3階層から」を
選択すると、こういった構成で作成するか表示されます

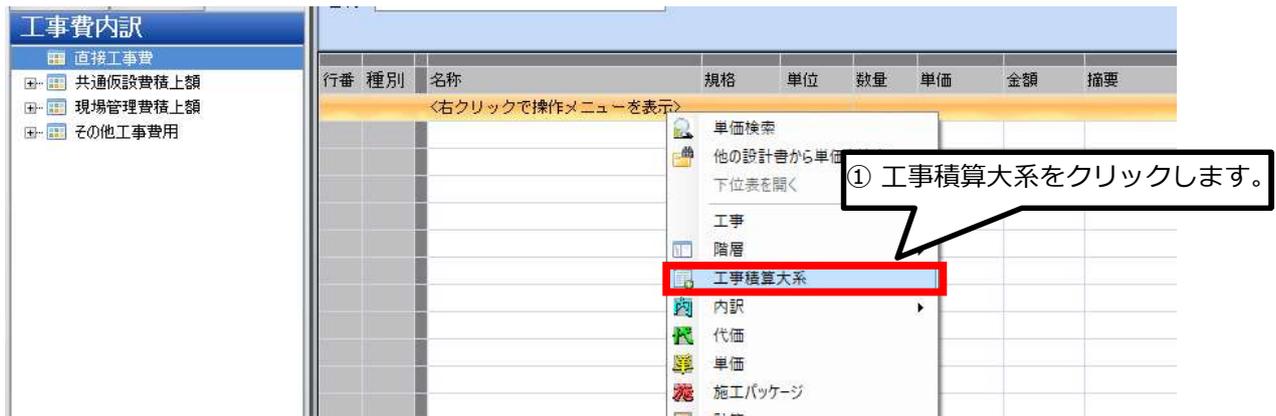
選択した構成の「階層」が作成されました。

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価
1	①	<新規階層>		式	1	
2	②	<新規階層>		式	1	
3	③	<新規階層>		式	1	
4	内	<新規内訳>		式	1	

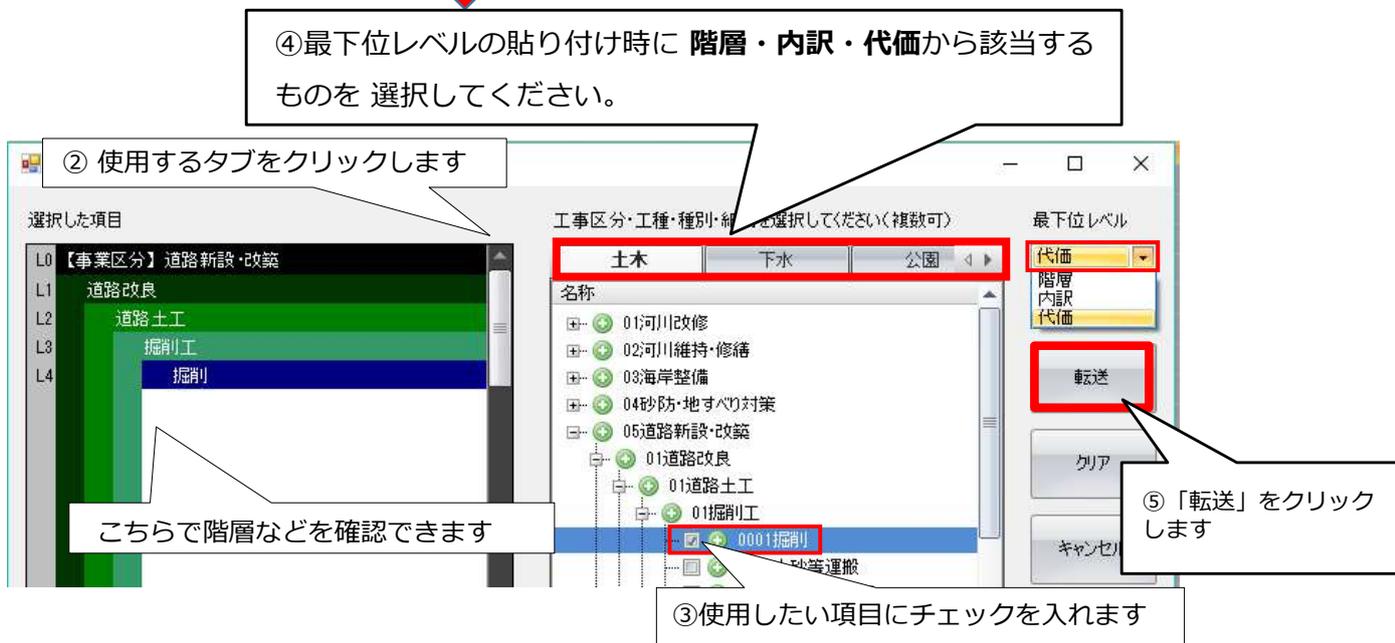
③名称を任意のものに編集します

5-2 工事積算大系を使用する場合

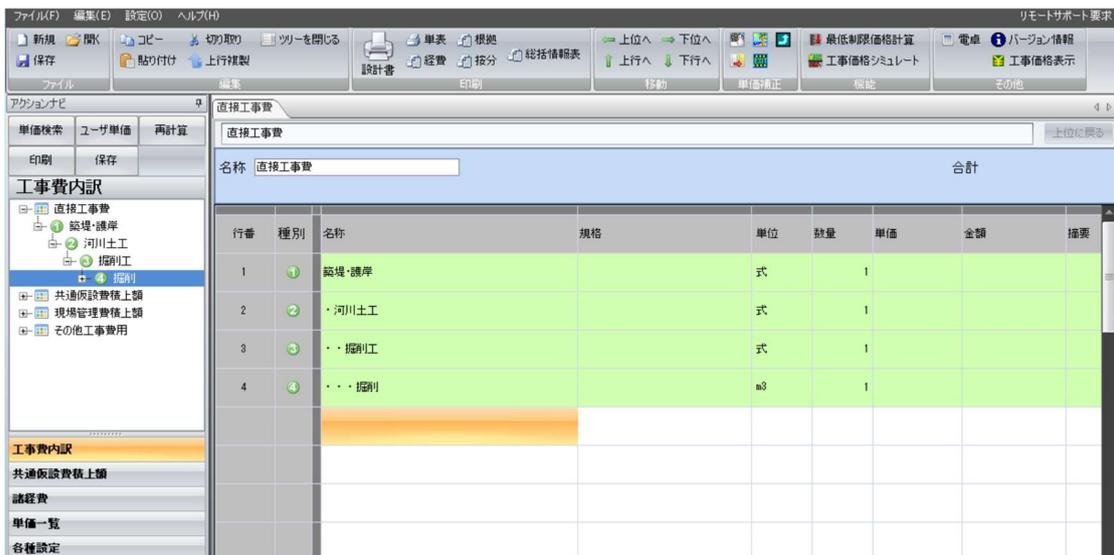
国土交通省の工事積算大系を選択できます。
 直接工事費画面にて、右クリックで操作メニューを呼び出します。



工事積算大系の選択画面が出てきます



選択した工事積算大系が設計書に転送されました。
 一度に複数の項目も転送できます。
 (転送したいすべての項目にチェックを入れて、転送してください)



6.内訳の作成

直接工事費画面にて、右クリックで操作メニューを呼び出します。

①「内訳」をクリック

②「新規内訳」をクリック

土工や舗装工などのように、よく使用される名称は初期登録されています。

内訳が作成されました。

③名称を変更します。
名称をダブルクリックするか、
キーボードのF2ボタンで編集できます。

内訳の明細 (下位表)を作成します。

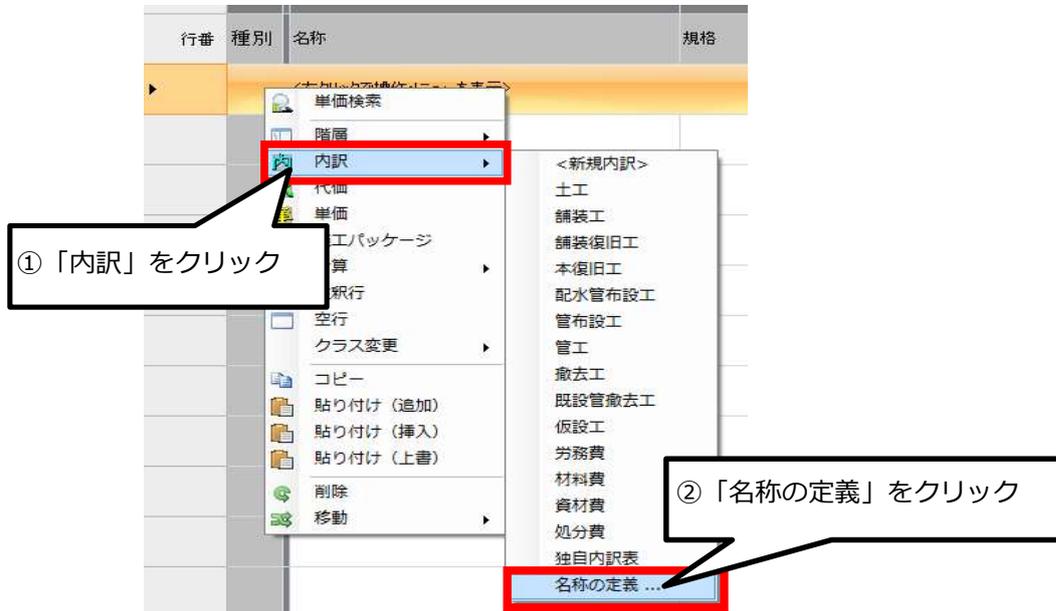
④内訳の明細 (下位表)を作成します。
行番部分をダブルクリックで「下位表」へ移ります。
もしくは右クリックからメニューバーを開き「下位表を開く」をクリックでも同じように下位表へ移ります。

下位表へ移りました。 内訳の内容を編集します。

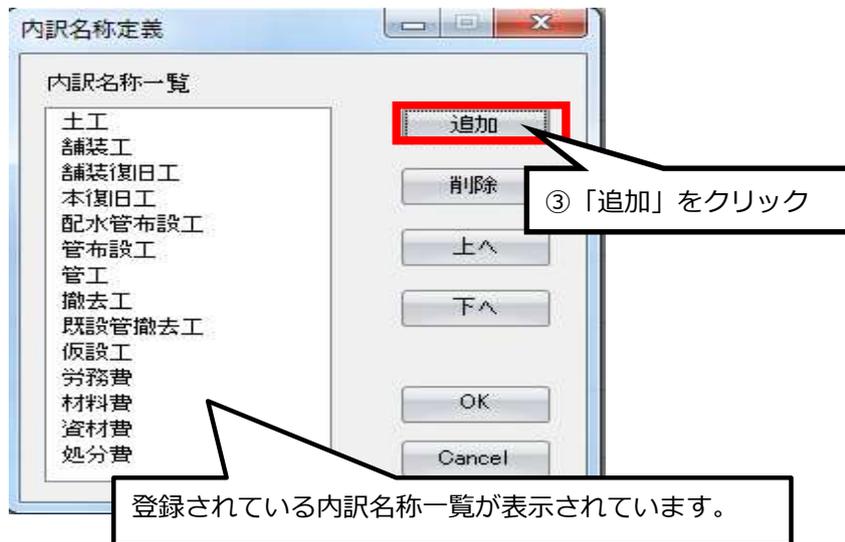
6-1 内訳名称を作成して登録する

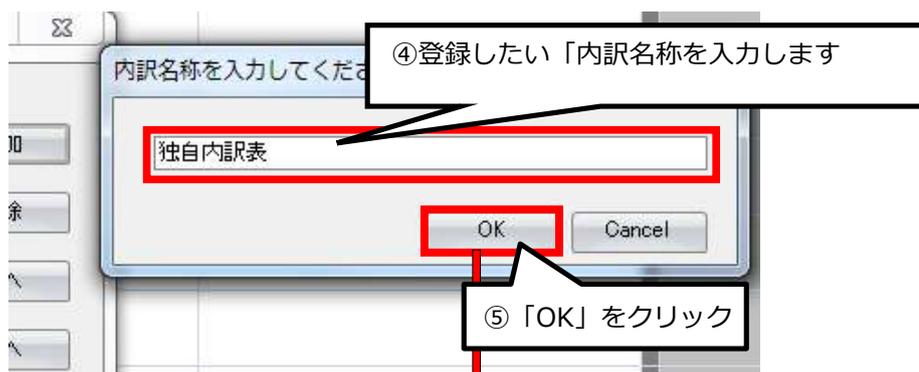
ユーザが自由に内訳の名称を登録することができます。

直接工事費画面にて、右クリックで操作メニューを呼び出します。

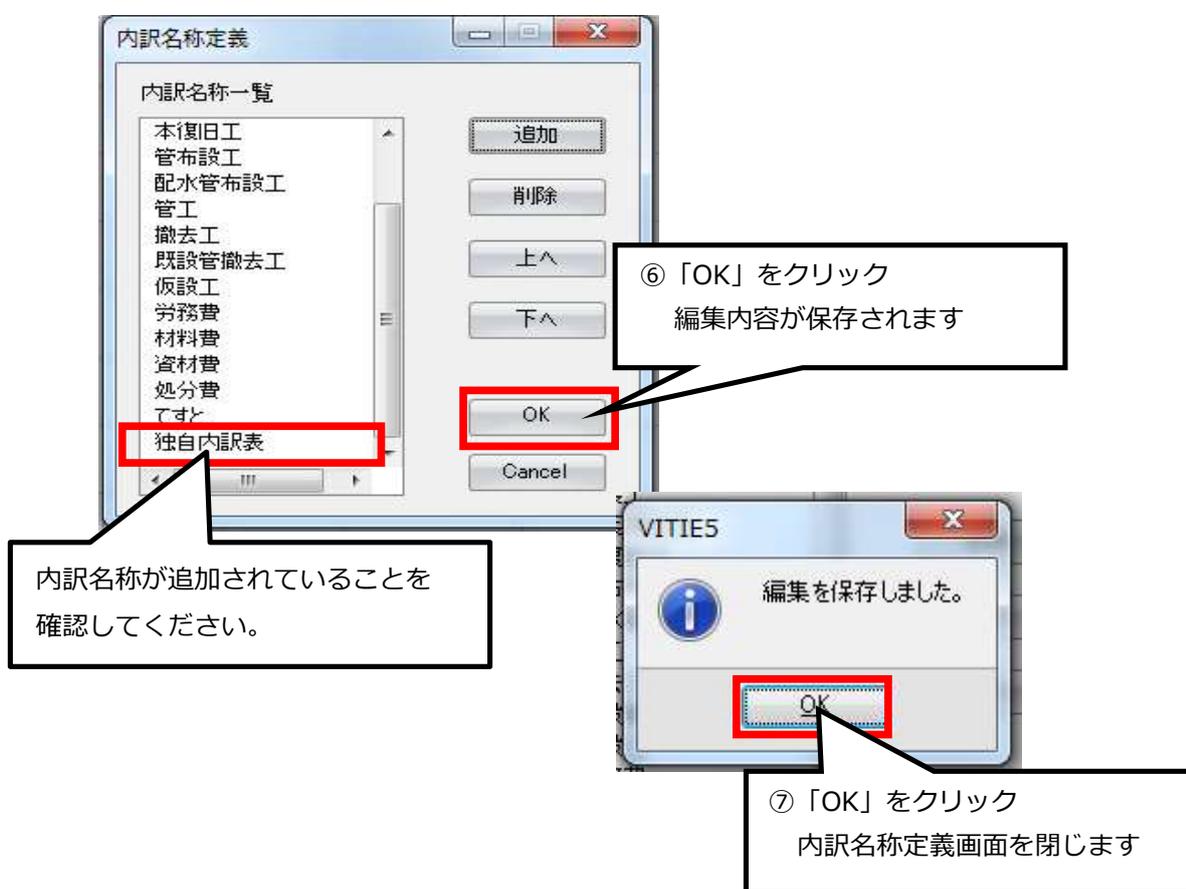


「内訳名称定義」画面に移ります。





内訳名称一覧に追加登録されます。



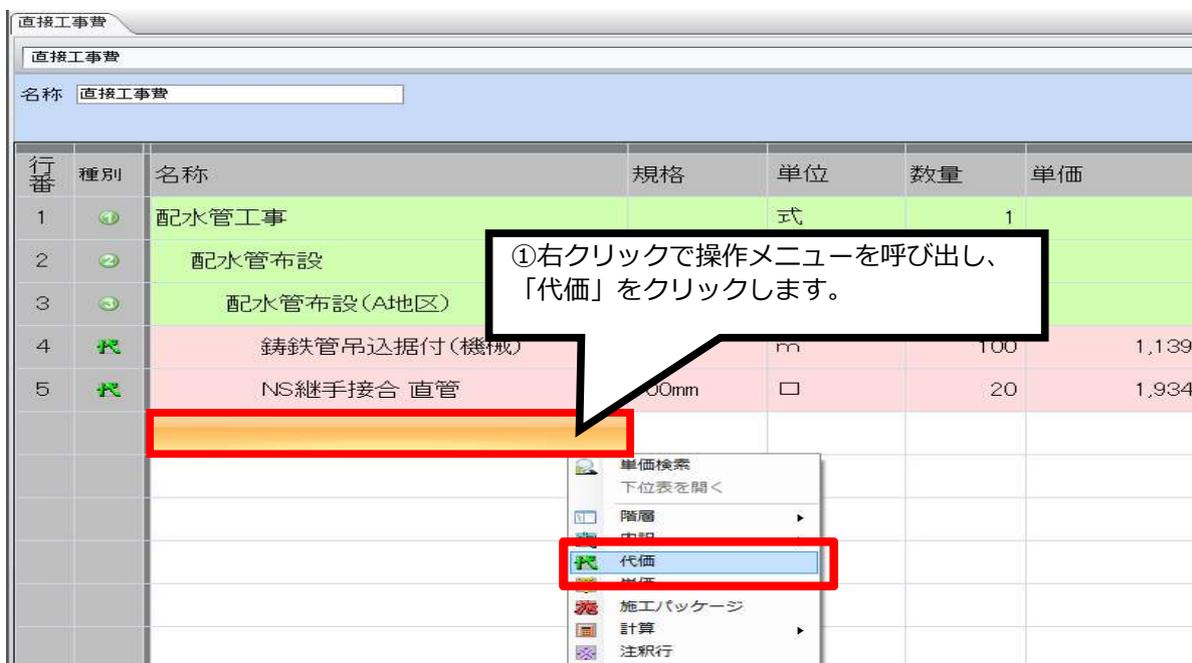
補足説明

- (1) 削除する場合は、内訳名称一覧から削除名称をクリックし「削除」をクリックします。
- (2) 名称をクリックし「上へ」「下へ」で名称一覧での位置を編集できます。
(例：よく使用するものは上に、使わないものは下に)

7.新規代価（単価）の作成

標準代価の中にない歩掛は新規代価として作成します。

新規代価を作りたい行の名称欄を右クリックで操作メニューを呼び出します。



行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価
1	①	配水管工事		式	1	
2	②	配水管布設				
3	③	配水管布設(A地区)				
4	代	鋳鉄管吊込据付(機械)		m	100	1,139
5	代	NS継手接合 直管	100mm	□	20	1,934
6	代	<新規代価>		式	0	0

選択した行に「新規代価」ができます。（「単価」を選択すると「新規単価」ができます）



行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価
1	①	配水管工事		式	1	
2	②	配水管布設		式	1	
3	③	配水管布設(A地区)		式	1	
4	代	鋳鉄管吊込据付(機械)	100mm	m	100	1,139
5	代	NS継手接合 直管	100mm	□	20	1,934
6	代	<新規代価>		式	0	0

ここで新しい代価の名称と単位及び数量を入力します。（単価の場合はここで名称・規格・単位・数量・単価を直接入力します）

ここでは名称を「仮管布設工」、単位を「m」、数量を「15」と入力してみます。

直接工事費

直接工事費

名称 直接工事費

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価
1	①	配水管工事		式	1	
2	②	配水管布設				
3	③	配水管布設(A地区)				
4	代	鋳鉄管吊込据付(機械)		m	100	1,139
5	代	NS継手接合 直管	100mm	□	20	1,934
6	代	仮管布設工		式	15	0

②名称欄をクリックし、名称を入力します。
(ここでは「仮管布設工」)

③単位欄をクリックし、プルダウンメニューから単位を選択します。(ここでは「m」)
プルダウンメニューにない場合はキーボードから入力することもできます

④行番の上をダブルクリック、または右クリックで操作メニューから「下位表を開く」を選択します。

仮管布設工の下位表（代価詳細）に移動しました。

直接工事費 代価詳細

直接工事費 > 配水管工事 > 配水管布設 > 配水管布設(A地区) > 仮管布設工

名称 仮管布設工 帳票番号 代価第3号 コード UH9VR

規格 積算数量 1 単位 m

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額

まず積算数量を「10」に変更し、代価を作成します。（10m当たりや100m当たりなどで作成する場合に必ず設定する必要があります。初期設定では「1」になっています）

10m当たり普通作業員2.0人及び諸雑費を労務費の5%として作成してみます。
単価検索を利用して基礎単価の普通作業員を貼り付けます。

⑤積算数量を「10」に変更します

⑥単価検索から普通作業員（基礎単価）を転送します

⑦数量を「2」と入力

⑧右クリックで操作メニューから「計算」内の「任意計算」を選択します

番	規格	単位	数量	単価	金額
1	普通作業員	人	2	18,300	36,600

次に任意計算「労務費の5%」の式を作ります。

記号欄をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。（ここでは「A」を選択）

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	帳票番号	集計対象	集計値	出典	計算方法	記号
1	準	普通作業員		人	2	18,300	36,600							A
2	計算式			式	1		0							E

⑨記号欄をクリックし、プルダウンメニューから「A」を選択します

続いて計算方法欄をダブルクリックし、計算式入力画面を開きます。

ここでは「計算式」にA*0.05:V4と入力。

①計算式に A*0.05:V4 と入力

②「確定」をクリック

⑩計算式行の計算方法欄をダブルクリック

計算式行の金額欄に計算された金額「1,830」が入りました。

金額	摘要	帳票番号	集計対象	集計値	出典	計算方法	記号
36,600							A
1,830						A*0.05:V4	

仮管布設工の代価が完成です。

直接工事費 代価詳細

直接工事費 > 配水管工事 > 配水管布設 > 配水管布設(A地区) > 仮管布設工

名称 仮管布設工 帳票番号 代価第3号 コード UH09VR
 規格 積算数量 10 単位 m

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	帳票番号	集計対象	集計値	出典	計算方法	記号
1	準	普通作業員		人	2	18,300	36,600							A
2	式	計算式		式	1		1,830						A*0.05	

補足説明

- (1) $A * 0.05$ は記号Aの付いた金額の5%を意味しています。
- (2) 代価表の合計金額を有効数字4ケタで切り捨てて丸めたい場合は：V4と入力します。
(有効数字4ケタで丸める必要がない場合は不要です)
- (3) 代価表の合計金額を有効数字4ケタで切り上げて丸めたい場合は、「諸雑費（有効4桁丸め）国交省、厚生省」を選択します。
- (4) 有効数字4ケタとは高位の数字から4ケタで、例えば「534,829円」の場合は上から4ケタは「5348…」となり百円単位で丸めることとなります。
切り下げの場合は「534,800円」となり、切り上げの場合は「534,900円」となります。
- (5) 作成した代価を今後も利用する場合は、ユーザ単価に保存しておくことができます。

計算方法を使用した割増と割引【例】

① 労務費（普通作業員）と機械経費（コンクリートカッタ運転）の合計額の5.6%増しの場合

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	帳票番号	集計対象	集計値	出典	計算方法	記号
1	準	普通作業員		人	0.42	18,300	7,686	100/C1 (C1=240)						B
2	機	コンクリートカッタ運転[バキューム式]	切削深20cm級	日	0.42	28,340	11,902	100/C1	代価第 5002号					E
3	準	★コンクリートカッタ(ブレード)	径22インチ	枚	0.21	81,500	17,115						A	
4	計	計算式		式	1		10,969						$(B+E)*0.56$	

① 右クリックで操作メニューから「計算」内の「任意計算」を選択します

② 記号欄をクリックし、普通作業員は「B」、コンクリートカッタ運転は「E」を選択

③ 計算式に $(B + E) * 0.56$ と入力

② 労務費と機械経費の合計額の20%引きの場合

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	帳票番号	集計対象	集計値	出典	計算方法	記号
1	準	普通作業員		人	0.42	18,300	7,686	100/C1 (C1=240)						B
2	機	コンクリートカッタ運転[バキューム式]	切削深20cm級	日	0.42	28,340	11,902	100/C1	代価第 5002号					E
3	準	★コンクリートカッタ(ブレード)	径22インチ	枚	0.21	81,500	17,115						A	
4	計	計算式		式	1		-3,917						$-(B+E)*0.2$	

① 右クリックで操作メニューから「計算」内の「任意計算」を選択します

② 記号欄をクリックし、普通作業員は「B」、コンクリートカッタ運転は「E」を選択

③ 計算式に $-(B + E) * 0.2$ と入力

8.単価検索からの単価の転送

直接工事費画面にて、右クリックで操作メニューを呼び出します。



単価検索画面が表示されますので、利用したい単価を選択します。
※詳しくは次のページへ



注意！！

必ず積算を始める前に歩掛年度・単価年度・施工P年度の確認をしてください！！

一度設計書に転送した歩掛年度は変更できません！

※途中で歩掛年度を変更する場合は、再度単価検索から転送する必要があります。

8-1 基礎単価の場合（材料や労務単価）

- ①「基礎単価」のタブをクリックします。
- ②利用したい単価をクリックします。
- ③「転送」をクリックします。

③「転送」をクリック

②利用したい単価をクリック

行番	種別	名称	規格	単位	単価
1	準	P01201200010	ダクト管K型	本	108,000
2	準	P01201200020	ダクト管K型	本	131,000
3	準	P01201200030	ダクト管K型	本	157,000
4	準	P01201200040	ダクト管K型	本	214,000
5	準	P01201200050	ダクト管K型	本	252,000
6	準	P01201200060	ダクト管K型	本	74,300
7	準	P01201200070	ダクト管K型	本	86,800
8	準	P01201200080	ダクト管K型	本	227,000
9	準	P01201200090	ダクト管K型	本	266,000

設計書に単価が追加されますので数量を入力します。

④数量を入力します

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価
1	準	ダクト管 内面モルタル Gx形1種	外面標準 径75mm×長4m 75.0kg	本	0	22,500

注意！！必ず積算を始める前に単価年度の確認をしてください！！

一度設計書に転送した歩掛年度は変更できません！

8-2 施工単価の場合

施工単価は、基礎単価と違い代価で構成されています。
単価が表示されていますが、このままでは転送できません。

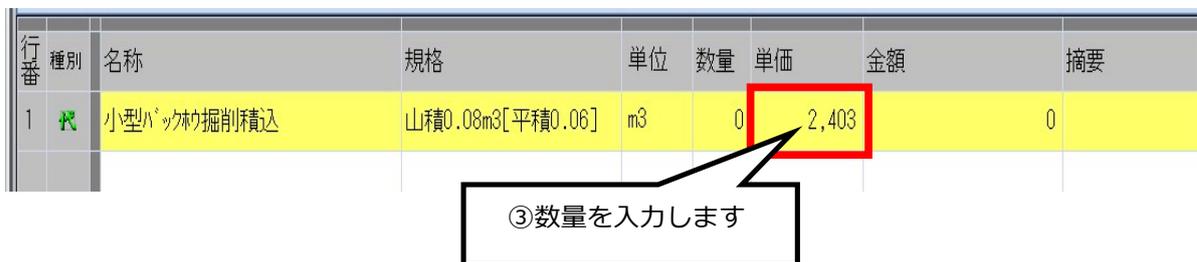


「代価」は転送できません。
下位表(明細表)まで表示する必要があります。
※下位表(明細表)の0(ゼロ)単価などを確認するため。

下位表(明細表)に移りました。



設計書に代価が追加されます。



注意！！必ず積算を始める前に歩掛年度の確認をしてください！！

一度設計書に転送した歩掛年度は変更できません！
※途中で歩掛年度を変更する場合は、再度単価検索から転送する必要があります。

8-3.施工パッケージについて

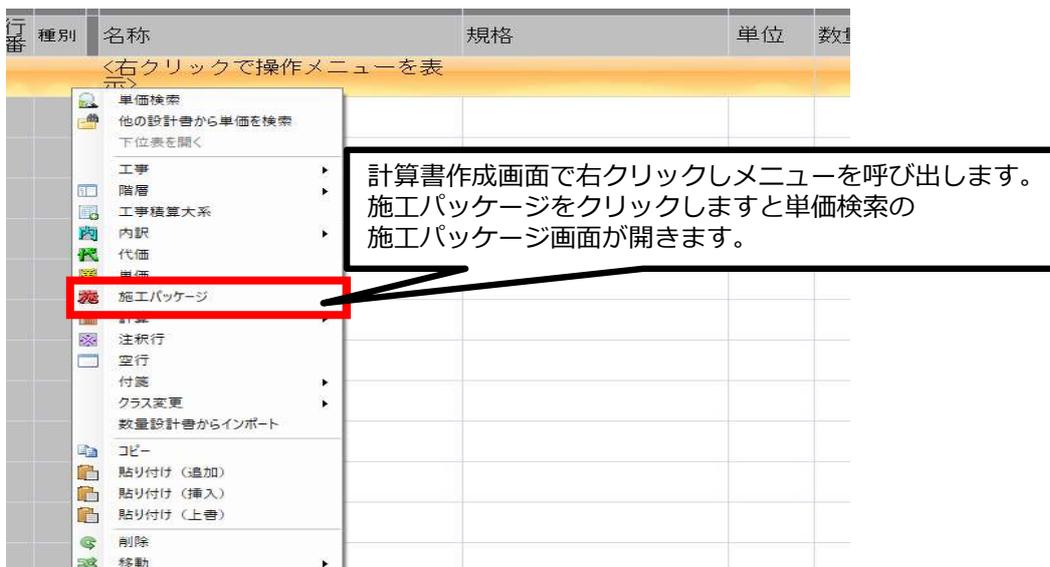
設計書で使用されている舗装版切断や床掘りなどの中には、新しい積算方式である「施工パッケージ」が導入されているものがあります。

8-3-1 施工パッケージの検索

★単価検索から施工パッケージを検索する場合



★設計書作成画面から施工パッケージを検索する場合



注意！！必ず積算を始める前に施工P年度の確認をしてください！！

一度設計書に転送した施工P年度は変更できません！

※途中で施工P年度を変更する場合は、再度単価検索から転送する必要があります。

単価検索の施工パッケージ画面に移動しました。

施工単価や基礎単価と同じように使用する、単価年度と地区、適用年度、施工パッケージ年度（施工P年度）を設定します 適用年度によって施工パッケージの構成比が変わります

都道府県 10 群馬県 単価年度 2018-02-01 地区 001 1県央平 施工P年度 2017-04-01

施工パッケージの舗装版切断を検索してみます。

道路維持修繕→舗装版切断工→舗装版切断をクリックし進みます。

データナビ

- コンクリート工
- 河川海岸
- 河川維持
- 砂防
- 地すべり防止工
- 道路舗装
- 道路付属施設
- 道路維持修繕
- 路面切削工
- 舗装版破碎工
- 舗装版切断工**

名称
規格

代表機材規格(現地)

P' 積算地区補正単価 = $504.84 \times \left[\left(\frac{4.5}{100} \times \frac{5460}{5460} \right) \times 7.02 / \left(\frac{4.5}{100} \right) + \left(\frac{18.79}{100} \times \frac{19900}{22700} + \frac{16.35}{100} \right) + \left(\frac{35.44}{100} \times \frac{85200}{85200} + \frac{1.76}{100} \right) + \left(100 - 7.02 - 54.79 - 38.19 \right) / 100 \right]$

舗装版切断までクリックし進むと条件入力画面が表示されます。

設計書を見ながら施工パッケージの条件を選択します。

舗装版切断

① 舗装版種別を変更する場合
「アスファルト舗装版」の文字をクリックします。

条件区分	条件	値
1	舗装版種別	アスファルト舗装版
2	アスファルト舗装版厚	15cm以下
3	コンクリート舗装版厚	-
4	コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版の全体厚	-

舗装版候補

- アスファルト舗装版
- コンクリート舗装版
- コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版

③ 舗装版種別候補が3種類あります。今回は、「アスファルト舗装版」を選択します。

② 全ての条件の選択が終わりましたら「確定」をクリックします。画面が移動します。

変更 確定

施工パッケージの計算結果が表示されます。

④ 歩掛と同じように中身を確認し、右上の転送ボタンをクリックし、設計書に転送します。

都道府県 10 群馬県 単価年度 2018-02-01 地区 001 1県央平 施工P年度 2017-04-01 機械損料年度

設計に戻る 転送 上位に戻る

施工パッケージ型積算基準 ▶ 道路維持修繕 ▶ 舗装版切断工 ▶ 舗装版切断

名称 舗装版切断 帳票番号 施工第2号 コード UeacLM-SAP207_ 標準単価 504.84
 規格 アスファルト舗装版,15cm以下,-- 条件変更 単位 m 積算単価 479.7

	代表機材規格(現地)	単位(現地)	構成比	単価(現地)	コード	代表機材規格(東京)	単位(東京)
▶ K	機械	-	7.02				-
K1	コングリートカッタ[パキューム式]湿式 切削深20cm級 ブレード... 供用日	供用日	4.5	5,460	M118101402040	コングリートカッタ [パキューム... 供用日	供用日
R	労務	-	54.79				-
R1	特殊作業員	人	18.79	19,900	Y0000001624	特殊作業員	人
R2	普通作業員	人	16.35	18,400	Y0000001625	普通作業員	人
Z	材料	-	38.19				-
Z1	コングリートカッタ-ブレード 56cm	本	35.44	85,200	Y0000001471	コングリートカッタ (ブレード...	本
Z2	ガソリン レギュラー スタンド	L	1.76	126	Y0000000275	ガソリン レギュラー スタンド	L

8-3-2 施工パッケージの材料を変更する方法

(代表機劣材規格一覧に記載がない規格を積算する場合)

「アスファルト舗装工」

再生粗粒度アスファルト混合物（20）を再生密粒度アスファルト混合物（13）に変更。

基層(車道・路肩部) m2

条件区分	値	単位
1 平均厚さ	25mm以上35mm未満	
2 平均幅員	1.4m未満	
3 材料	再生粗粒度アスファルト混合物(20)	
4 溜書材料種類	タックコート PK-4	

② 材料の名称部分をクリックします。画面右に代表材料一覧が表示されます。

① 現地使用材料が代表材料一覧に無い場合は「変更」ボタンをクリックします。

変更

次へ 前へ 確定

使用材料の候補一覧画面に移動します。

機劣材市場単価の検索

名称	規格	単位	単価	コード
1 ★アスファルト混合物	粗粒度AS混合物(13)	t	12,000	P010801
2 ★再生アスファルト混合物	再生粗粒度AS混合物(20)	t	10,900	P0108010
3 ★粗粒度アスコン	規格 改質II型(20)	t	14,100	P0108010080
4 ★アスファルト混合物	密粒度AS混合物(13)	t	13,800	P0108010090
5 ★アスファルト混合物	密粒度AS混合物(13)	t	14,100	P0108010100
6 ★再生アスファルト混合物	再生密粒度AS混合物(20)	t	14,100	P0108010110
7 ★再生アスファルト混合物	再生密粒度AS混合物(13)	t	10,900	P0108010070
8 ★改質アスファルト混合物	密粒AS混合物(13)改質ASI型(20)	t	11,900	P0108010120
9 ★改質アスファルト混合物	密粒AS混合物(13)改質ASII型(20)	t	11,900	P0108010130
10 ★密粒度アスコン	規格 改質アスコンI型(13)-50,75	t	11,900	P0108010140
11 ★密粒度アスコン	規格 改質アスコンII型(13)-50,75	t	11,900	P0108010150
12 ★アスファルト混合物	密粒度キヤップAS混合物(13)	t	11,900	P0108010160
13 ★アスファルト混合物	細粒度AS混合物(13)	t	11,900	P0108010170
14 ★再生アスファルト混合物	再生細粒度AS混合物(13)	t	11,900	P0108010180
15 ★透水性アスコン	規格 開粒度アスコン(13)歩道用	t	11,900	P0108010190
16 ★アスファルト混合物	*-アスファルト混合物(13)	t	11,900	P0108010200
17 ★アスファルト混合物	開粒度AS混合物(13)	t	11,500	P0108010210
18 ★アスファルト混合物(安定処理材)	AS安定処理(40)	t	10,450	P0108010220
19 ★再生アスファルト混合物(安定処理材)	再生AS安定処理(40)	t	120	P0108010230
20 半たわみ性舗装用びつミル	超速硬型	kg	190	P0108010240
21 半たわみ性舗装用びつミル	普通型	kg	120	P0108010250

③再生密粒度アスファルト混合物（13）を選択しダブルクリック。もしくは…

再生密粒度アスファルト混合物（13）を選択し、確定をクリックします。

検索

確定 キャンセル

(注意点) アスファルト混合物を変更する場合は、同一の「標準締固め後密度」を採用しているアスファルト混合物の標準単価や機労材構成比を準用する必要があります。

選択した材料に変更されます。

ここでは、再生粗粒度アスファルト混合物(20)から再生密粒度アスファルト混合物(13)に。

基層(車道・路肩部) m2

条件区分	値	単位
1 平均厚さ	25mm以上35mm未満	
2 平均幅員	1.4m未満	
3 材料	★再生アスファルト混合物 再生密粒度AS混合物(13) t	
4 瀝青材料種類	タックコート PK-4	

選択項目

- 再生粗粒度アスファルト混合物(20)
- 細粒度アスファルト混合物(13)
- 開粒度アスファルト混合物(13)
- 各種(1.90以上2.00t/m3未満)
- 各種(2.00以上2.10t/m3未満)
- 各種(2.10以上2.20t/m3未満)

変更

④条件選択が完了しましたら、最後に「確定」ボタンをクリックします。

次へ 前へ 確定

⑤選択した条件で施工パッケージを計算し、積算単価が表示されます。転送ボタンをクリックすると設計書に転送されます。

都道府県 11 埼玉県 単価年度 2016-04-01 地区 001 県南 適用年度 2015-10-01 機械損料年度

設計に戻る 転送 上位に戻る

施工パッケージ型積算基準 ▶ 道路維持修繕 ▶ 舗装版切断工 ▶ 舗装版切断

名称 基層(車道・路肩部) 帳票番号 施工第1号 コード UUz9gM-P171_1 標準単価 1,702.2

規格 25mm以上35mm未満,1.4m未満,★再生アス 条件変更 単位 m2 積算単価 1,837

代表機労材規格 (現地)	単位 (現地)	構成比	単価(現地)
K 機械	-	0.65	
K1 振動ローラ(舗装用) [ハットガイト式] 質量 0.5~...	供用日	0.37	1,360
K2 振動コンパクタ[前進型] 質量 40~60kg	供用日	0.19	312
R 労務	-	54.87	
R1 特殊作業員	人	24.59	21,400
R2 普通作業員	人	17.13	19,000
R3 土木一般世話役	人	5.19	21,900
Z 材料	-	44.48	
Z1 ★再生アスファルト混合物 再生密粒度AS混合物(13)	t	42.07	10,900
Z2 ★アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	kg	2.18	91
Z3 ★ガソリン レギュラー	kg	0.16	100
Z4 ★軽油 1.2号	kg	0.04	88

9.行の削除

削除したい行を選択し、右クリックで操作メニューを呼び出します。

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額	播
1	代	単価検索	山積0.08m3[平積0.06]	m3	10	2,403	24,030	
2	代	切込砕	小型ハック砕山積0.08m3[平積0.06]	m3	15	5,908	88,620	

①対象の行をクリック

②「削除」をクリック

選択した行が削除されました。

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額
▶ 1	代	管路埋戻費(機械埋戻) 砂 ロス率+0.11	小型ハック砕山積0.13m3[平積0.10]	m3	20	2,423	48,460

★複数行削除する場合

例. 行番 1～3 を削除する

行番 1 にカーソルを合わせクリックします。shift キーを押しながら行番 2・行番 3 をクリックします。

または行番 1 を指定 (左クリック) した状態で行番 2→行番 3 へカーソルを移動させると複数行選択できます。

範囲指定された行はオレンジ色に着色されます。右クリックで操作メニューを呼び出し、

「削除」 をクリックします。

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額
▶ 1	代	小型ハック砕掘削積込	山積0.08m3[平積0.06]	m3	10	2,288	22,880
2	代	鑄鉄管吊込掘付(機械)	75mm以下	m	5	1,038	5,190
▶ 3	代	路盤工(施工幅1.8m未満)	砕石(C-40) 厚10cm	m ²	15	758	11,370

10. 共通仮設費積上額の入力

直接工事費画面にて、共通仮設費積上額画面を開きます。

アクションナビ

単価検索 ユーザ単価 再計算

印刷 保存

工事費内訳

- 直接工事費
- 共通仮設費積上額**
- 現場管理費積上額
- その他工事費用

工事費内訳

共通仮設費積上額

諸経費

単価一覧

各種設定

上下どちらかの「共通仮設費積上額」をクリックします。

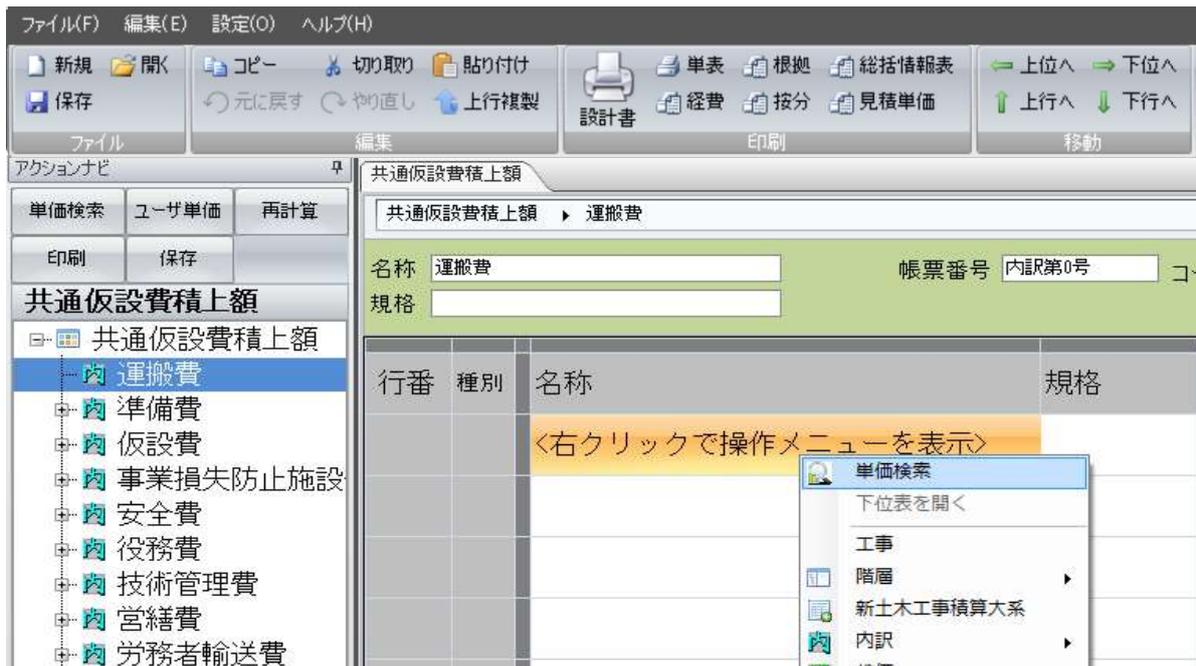
共通仮設費の各種積み上げ項目が表示されます。

ここでは、「仮設運搬費」を運搬費として積み上げます。

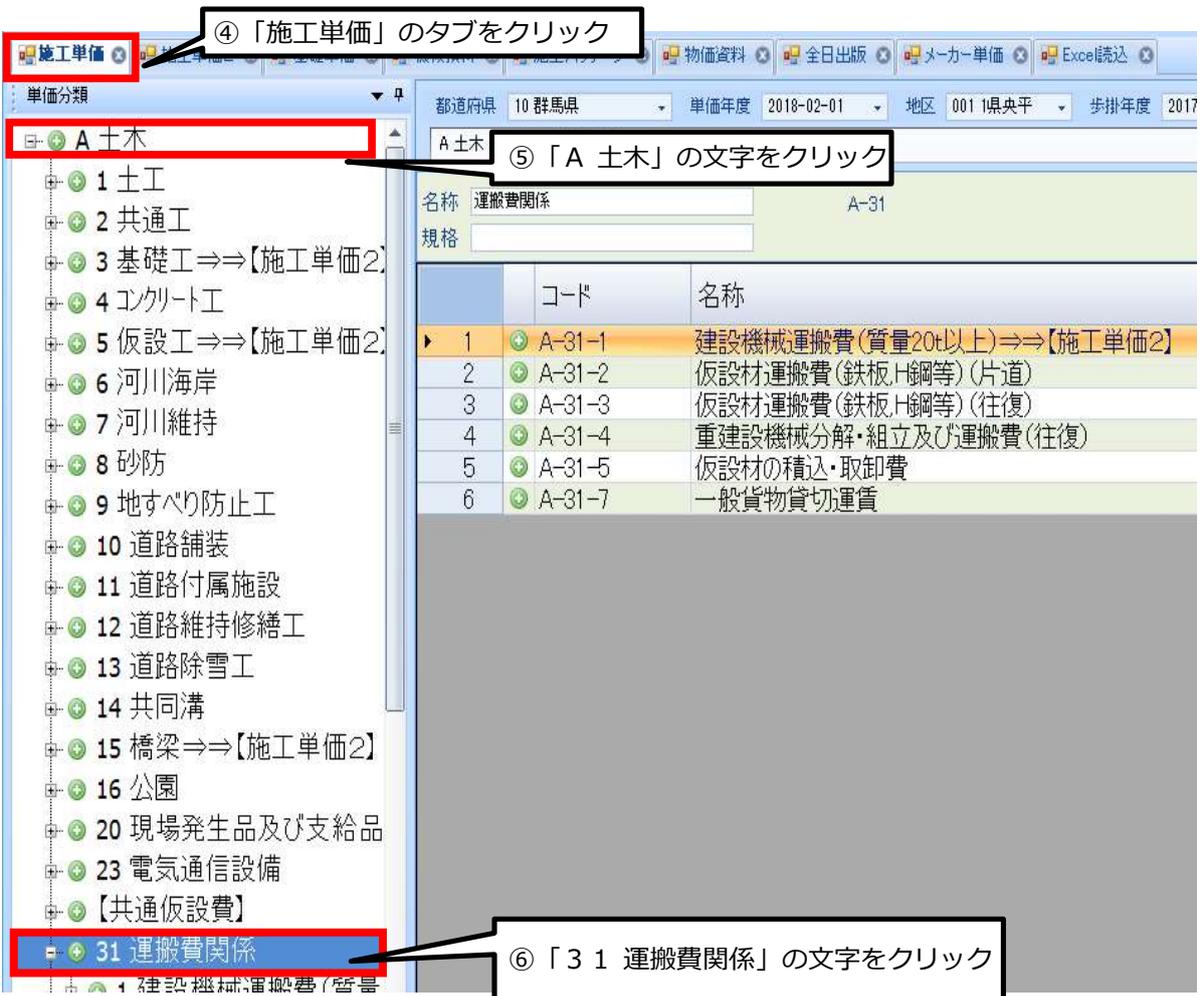
行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価
1	内	運搬費		式	1	
2	内	準備		式	1	
3	内			式	1	
4	内	事業損失防止施設費		式	1	
5	内	安全費		式	1	
6	内	役務費		式	1	
7	内	技術管理費		式	1	
8	内	宮繕費		式	1	
9	内	労務者輸送費		式	1	
10	内	現場環境改善費		式	1	

②行番号をダブルクリック

内訳書（下位表）が開きます。右クリックで操作メニューを呼び出します。



単価検索画面が開きます。



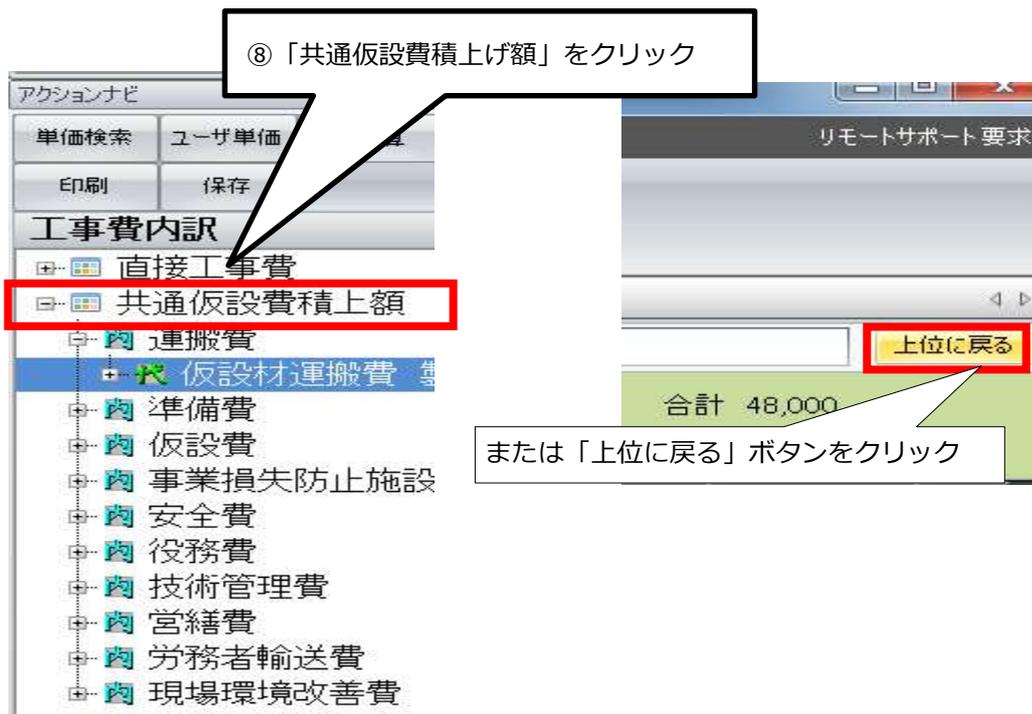
「A-3 1-3 仮設材運搬費（鉄板・H鋼等）（往復）」から条件を選択します。



内訳書（下位表）に戻り、単価が貼り付きました。



画面左の「共通仮設費積上額」の文字をクリック、または画面右上の「上位に戻る」ボタンで上位（共通仮設費積上額画面）に戻ります。



金額が入っていることを確認します。

共通仮設費積上額

共通仮設費積上額

名称 共通仮設費積上額 帳票番号 --- コード ZZZ_KYOTSUKASI 式

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
1	内	運搬費		式	1	4,800	4,800	
2	内	準備費		式	1			
3	内	仮設費		式	1			
4	内	事業損失防止施設費		式	1			
5	内	安全費		式	1			
6	内	役務費		式	1			
7	内	技術管理費		式	1			
8	内	営繕費		式	1			
9	内	労務者輸送費		式	1			
10	内	現場環境改善費		式	1			

11. 諸経費の計算



その時点での直接工事費の合計額と、それに対応する間接費の率額が自動計算され表示されます。

科目名	金額/値(当世代)	計算方法	桁数	丸め方法
A 直接工事費	2,380,000	固定値	整数1位(1円)未満	切り捨て
B 共通仮設費率額	298,000	固定値	整数4位(1千円)未満	切り捨て
C 共通仮設費対象額	2,380,000	自動計算	整数1位(1円)未満	切り捨て
D 共通仮設費率	12.53%	自動計算	小数第4位未満	四捨五入
E1 現場環境改善費率額		計算しない		
F1 現場環境改善費対象額		計算しない		
G6 現場環境改善費率		計算しない		
H 共通仮設費積上額		自動計算	整数1位(1円)未満	切り捨て
I 共通仮設費計	298,000	自動計算	整数1位(1円)未満	切り捨て
J 純工事費	2,678,000	自動計算	整数1位(1円)未満	切り捨て
K 現場管理費率額	1,125,000	自動計算	整数4位(1千円)未満	切り捨て
L 現場管理費対象額	2,678,000	自動計算	整数1位(1円)未満	切り捨て
M 現場管理費率	42.02%	自動計算	小数第4位未満	四捨五入
MG 現場管理費積上額		自動計算	整数1位(1円)未満	切り捨て
N 現場管理費計	1,125,000	自動計算	整数4位(1千円)未満	切り捨て
O 工事原価	3,803,000	自動計算	整数1位(1円)未満	切り捨て
P 一般管理費率額				
Q 一般管理費対象額	3,803,000			
R 一般管理費率				
U 契約保証費				
W1 一般管理費調整額				
W 一般管理費等計	767,000	自動計算	整数1位(1円)未満	切り捨て
ZG その他工事費用		自動計算	整数1位(1円)未満	切り捨て
X 工事価格	4,570,000	自動計算	整数5位(1万円)未満	切り捨て
Y 消費税	605,000	自動計算	整数1位(1円)未満	切り捨て
YR 消費税率	8%	自動計算	小数第2位未満	四捨五入
ZA 工事費計	4,935,600	自動計算	整数1位(1円)未満	切り捨て

工事価格は初期設定では1000円未満切り捨てになっていますが、10000円未満切り捨てや丸めなしなど自由に変更できます。

詳細設定と率の補正を以下の手順で行います。



1. 経費各種条件の確認
- ↓
2. 経費対象額詳細の確認
- ↓
3. 再計算ボタンをクリック

11-1 土木工事

アクションナビ

単価検索	ユーザ単価	再計算
印刷	保存	
各種設定		
諸経費		
経費各種条件(プリセット対象外)		
経費対象額詳細		
経費計算結果		
表紙(プリセット対象外)		
端数処理		
帳票番号		
合算/変更設計(プリセット対象外)		
その他		

①「経費各種条件」をクリック

②工事種類、工種区分を選択します。

金額/値(当世代)欄をクリックすると▼印が表示されます。

▼をクリックするとプルダウンメニューが開きます。

該当する項目を選択してください。

(ここでは工事種類を「土木工事」、工種区分を「河川工事」に設定します。)

科目名	金額/値(当世代)	方法
KS 工事種類	土木工事	
KB 工種区分	河川工事	
KY 経費年度	2019	
Z28 共通仮設費補正		補正しない
Z27 共通仮設費補正(週休)		補正しない
Z71 現場環境改善費区分		計算しない
Z56 共通仮設費補正(被災地)	1	補正しない
Z57 現場管理費補正(被災地)	1	補正しない
Z58 現場管理費補正(工事場所)		補正しない
Z63 現場管理費補正(週休)		補正しない
Z59 現場管理費補正(緊急工事)		補正しない
Z60 現場管理費補正(冬期)		補正しない
Z61 一般管	工事種類、工種区分により経費率が変わるので、	
Z62 一般管	設計書や入札公告から適切なものを選択します。	
		補正しない

③ 共通仮設費補正や一般管理費補正を入力します。
 計算方法欄をクリックすると▼印が表示されます。
 ▼をクリックするとプルダウンメニューが開きます。
 該当する項目を選択してください。

科目名	金額/値(当世代)	計算方法
KS 工事種類	土木工事	
KB 工種区分	河川工事	
KY 経費年度	2019	
Z23 共通仮設費補正		補正しない
Z27 共通仮設費補正(週休)		市街地
Z71 現場環境改善費区分		一般交通等の影響あり①
Z56 共通仮設費補正(被災地)	1	一般交通等の影響あり②
Z57 現場管理費補正(被災地)	1	山間僻地及び離島
Z58 現場管理費補正(工事場所)		大都市(1)-東京特別区、横浜市、
Z63 現場管理費補正(週休)		大都市(2)-大都市地域
Z59 現場管理費補正(緊急工)		補正しない
Z60 現場管理費補正(冬期)		固定
Z61 一般管理費補正(前払金)		補
Z62 一般管理費補正(契約保)		

間接費の率計上分の率を工事場所などに応じて補正します。
 補正には工事場所や冬期補正及び契約保証などがあり、
 正しく設定しないと工事価格が違ってきます。
 設計書や入札公告から適切なものを選択します。

補足説明

▼からプルダウンメニューを開いて条件を選択するものと、冬期補正など数値を直接入力するものがあります。

単価検索	ユーザ単価	再計算
印刷	保存	
各種設定		
諸経費		
経費各種条件(プリセット対象外)		
経費対象額詳細		
経費計算結果		
表紙(プリセット対象外)		
端数処理		
帳票番号		
合算/変更設計(プリセット対象外)		
その他		

④ 「経費対象額詳細」をクリック

ここにある項目は、間接費の率計算の対象額に影響を与える項目です。

科目名	金額/値(当世代)	計算方法
Z8 直工に含まれる処分費		自動計算
Z9 準備費に含まれる処分費		自動計算
C2 対象処分費		自動計算
C22 処分費超過額		自動計算
Z6 桁等購入費		自動計算
Z36 支給品等(桁等購入費)		自動計算
Z37 支給品等(一般材料費)		自動計算
Z38 支給品等(別途製作の制作費)		自動計算
Z39 支給品等(電力)		自動計算
Z4 無償貸付機械評価額		自動計算
Z5 事業損失防止施設費		自動計算
Z7 鋼橋門扉等工場原価		自動計算
Z40 現場発生品		自動計算
Z44 外注費(共通仮設費)		自動計算
Z42 ダム工事に含まれる支給電力料		自動計算
Z43 ダム工事に含まれる無償貸付機...		自動計算

⑤該当する項目がある場合には
金額を入力します

直接工事費や共通仮設費積上額を入力する際、集計対象を設定すると自動的に金額が表示されます。
金額欄に直接入力することもできます。

(直接入力した場合は「自動計算」が「固定金額」に変わります)

土木工事の各項目と間接費対象額との関係は下表のとおりです。

間接工事費		共通仮設費	現場管理費	一般管理費
項目	対象額	対象額	直接工事費+共通仮設費 =純工事費	純工事費+現場管理費 =工事原価
	桁等購入費		×	○
処分費等				
支給品費等	桁等購入費	×	○	×
	一般材料費	○	○	×
	別途製作の制作費	×	×	×
	電力	○	○	×
無償貸与機械評価額		○	○	×
鋼橋門扉等工場原価		×	×	○
現場発生品		×	×	×
ダム工事	支給電力料	×	×	×
	(基本料金含む)			
	無償貸与機械評価額	○	×	×

○は対象とする ×は対象としない

1. 共通仮設費対象額とは直接工事費+支給品費+無償貸与機械評価額+事業損失防止施設費です。
2. 桁等購入費とはPC 桁,簡易組立式橋梁,グレーチング床版,門扉,ポンプ,大型遊具(設計製作品),光ケーブルの購入費です。
3. 別途製作する標識柱(F型柱,WF型柱,オーバーヘッド式)の場合の扱いは、鋼橋,門扉等工場原価の取り扱いに準じます。(t当り製作単価として取扱う場合)

処分費等の取扱いは下表のとおりです

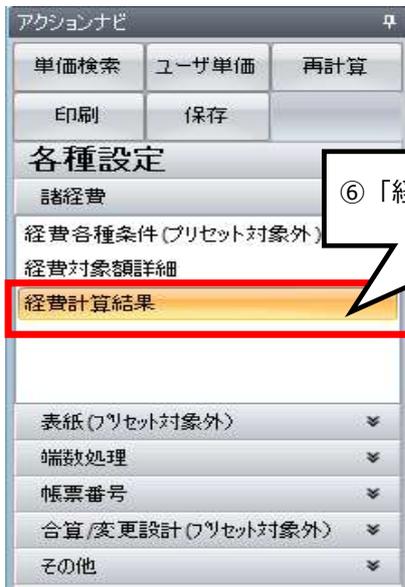
区分	処分費等が「共通仮設費対象額（P）」の3%以下で、かつ処分費等が3千万円以下の場合	処分費等が「共通仮設費対象額（P）」の3%を超える場合又は処分費等が3千万円を超える場合
共通仮設費	処分費等は 全額を率計算の対象とする。	処分費等が「共通仮設費対象額（P）」の3%の金額を率計算の対象とし、3%を超える金額は率計算の対象としない。 ただし、対象とする金額は3千万円を上限とする。
現場管理費	処分費等は 全額を率計算の対象とする	処分費等が「共通仮設費対象額（P）」の3%の金額を率計算の対象とし、3%を超える金額は率計算の対象としない。 ただし、対象とする金額は3千万円を上限とする。
一般管理費	処分費等は 全額を率計算の対象とする	処分費等が「共通仮設費対象額（P）」の3%の金額を率計算の対象とし、3%を超える金額は率計算の対象としない。 ただし、対象とする金額は3千万円を上限とする。

処分費とは下記のものとし、「処分費等」を含む工事の積算は、当該処分費等を直接工事費に計上し、間接工事費等の積算は上の表のとおりです。

1. 処分費（再資源化施設の入受費を含む）
2. 上下水道料金
3. 有料道路利用料

（注）処分費等は、準備費に含まれる処分費も含まれます。なお、準備費に含まれる処分費は伐採、徐根などに伴うものです。

経費各種条件、経費対象額詳細の入力が終わりましたら、経費計算結果を確認します。



入力した条件、金額により自動計算されています

経費計算結果画面

科目名	金額/値 (当世代)	計算方法	桁数
A 直接工事費	2,380,000	固定値	整数1位 (円) 未満
B 共通仮設費申請	298,000	固定値	整数4位 (千円) 未満
C 共通仮設費対象額	2,380,000	自動計算	整数1位 (円) 未満
D 共通仮設費率	12.53%	自動計算	小数第4位未満
E1 現場環境改善費申請		計算しない	
F1 現場環境改善費対象額		計算しない	
G6 現場環境改善費率		計算しない	
H 共通仮設費申請上額		自動計算	整数1位 (円) 未満
I 共通仮設費申請	298,000	自動計算	整数1位 (円) 未満
J 雑工事費	2,678,000	自動計算	整数1位 (円) 未満
K 現場管理費申請	1,128,000	自動計算	整数1位 (円) 未満
L 現場管理費対象額	2,678,000	自動計算	整数1位 (円) 未満
M 現場管理費率	42.92%	自動計算	整数1位 (円) 未満
MG 現場管理費申請上額		自動計算	整数1位 (円) 未満
N 現場管理費申請	1,128,000	自動計算	整数1位 (円) 未満
O 工事価格	3,884,000	自動計算	整数1位 (円) 未満
P 一般管理費申請	771,821	自動計算	整数1位 (円) 未満
Q 一般管理費対象額	3,884,000	自動計算	整数1位 (円) 未満
R 一般管理費率	20.23%	自動計算	整数1位 (円) 未満
U 別の保証費		一般管理費額に含まれる	
WI 一般管理費申請上額	-5,831	自動計算	整数1位 (円) 未満
V 一般管理費申請	765,990	自動計算	整数1位 (円) 未満
Z0 その他の費用		自動計算	整数1位 (円) 未満
X 工事価格	4,570,000	自動計算	整数5位 (万円) 未満

整数1位 (1円) 未満
 整数2位 (10円) 未満
 整数3位 (100円) 未満
 整数4位 (1千円) 未満
 整数5位 (1万円) 未満
 整数6位 (10万円) 未満
 整数7位 (100万円) 未満
 小数第1位未満
 小数第2位未満
 小数第3位未満
 小数第4位未満
 小数第5位未満
 小数第6位未満
 有効数字1桁
 有効数字2桁
 有効数字3桁
 有効数字4桁
 有効数字5桁
 有効数字6桁
 有効数字3桁 (整数丸め)
 有効数字4桁 (整数丸め)
 有効数字5桁 (整数丸め)
 特殊端数処理
 整数5位 (1万円) 未満

(2) 共通仮設費と現場管理費の率額や工事価格は1000 円未満切り捨てになっています。

有効数字や端数処理の設定を変更するには、有効数字行または端数処理行の「自動計算」などの文字をクリックして▼を出します。

▼をクリックするとプルダウンメニューから有効数字や端数処理の設定を選択できます



補足説明

- (1) 諸経費画面で設定を変更すると「再計算ボタン」が赤くなります。最後に必ず「再計算ボタン」をクリックして再計算をさせてください。
- (2) 一般管理費等計の下にある「Z G その他工事費用」は率の補正ではなく、金額で計上するときに使います。
- (3) 一般管理費調整額は工事価格を丸めるために一般管理費計の金額を切り捨てた金額です。

11-2 水道工事

水道工事は管材費の取扱いに特徴があります。

アクションナビ

単価検索	ユーザ単価	再計算
印刷	保存	
各種設定		
諸経費		
経費各種条件(プリセット対象外)		
経費対象額詳細		
経費計算結果		
表紙(プリセット対象外) ▼		
端数処理 ▼		
帳票番号 ▼		
合算/変更設計(プリセット対象外) ▼		
その他 ▼		

①「経費各種条件」をクリック

②工事種類、工種区分を選択します

金額/値(当世代)欄をクリックすると▼印が表示されます。

▼をクリックするとプルダウンメニューが開きます。

該当する項目を選択してください。

(ここでは工事種類を「**水道工事(水道実務～)**」、工種区分を「**開削工事及び～**」に設定します。)

科目名	金額/値(当世代)	計算方法
▶ KS 工事種類	水道工事(水道実務必…)	
KB 工種区分	開削工事及び小口径推…	
KY 経費年度	2018	
Z23 共通仮設費補正		補正しない
Z71 現場環境改善費区分		計算しない
Z56 共通仮設費補正(被災地)		1 補正しない
Z57 現場管理費補正(被災地)		1 補正しない
Z58 現場管理費補正(工事場所)		補正しない
Z59 現場管理費補正(緊急工事)		補正しない
Z60 現場管理費補正(冬期)		補正しない
Z61 一般管理費補正(前払金支出割合)		1 補正しない
Z62 一般管理費補正(前払金支出割合)		補正しない

工事種類、工種区分により経費率が変わるので、設計書や入札公告から適切なものを選択します。

科目名	金額	
KS 工事種類	水道	
KB 工程区分	開削	
KY 経費年度	2018	
Z23 共通仮設費補正		補正しない
Z71 現場環境改善費区分		全地域-一般交通等の影響ありの
Z56 共通仮設費補正(被災地)	1	全地域-一般交通等の影響ありの
Z57 現場管理費補正(被災地)	1	市街地-一般交通等の影響なし
Z58 現場管理費補正(工事場所)		山間僻地及び離島
Z59 現場管理費補正(緊急工事)		補正しない
Z60 現場管理費補正(冬期)		固定値
Z61 一般管理費補正		補正
Z62 一般管理費補正		

③共通仮設費補正や一般管理費補正を入力します
 計算方法欄をクリックすると▼印が表示されます。
 ▼をクリックするとプルダウンメニューが開きます。
 該当する項目を選択してください

間接費の率計上分の率を工事場所などに応じて補正します。
 補正には工事場所や冬期補正及び契約保証などがあり、正しく設定
 しないと工事価格が違ってきます。
 設計書や入札公告から適切なものを選択します。

設定の変更をすると、左上の「再計算」が赤くなりますので忘れずにクリックしてください。
 変更した経費条件で再計算されます。

アクションナビ

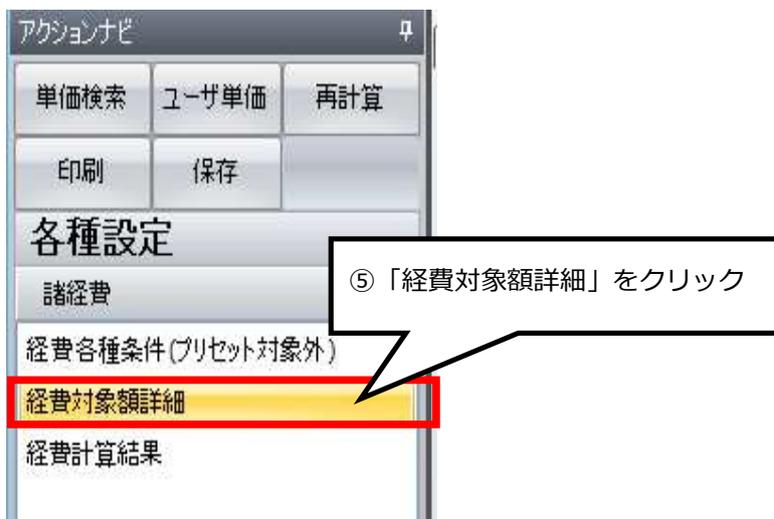
単価検索	ユーザ単価	再計算
印刷	保存	

各種設定

④【再計算】をクリック

11-2-1 管材費の設定

経費条件や各種補正の設定が終わりましたら、次に管材費や支給品などの率分の対象額に影響する項目を入力します。



	科目名	金額/値(当世代)
▶ Z1	直工に含まれる管材費	
Z2	支給品に含まれる管材費	
C1	対象管材費	
Z8	直工に含まれる処分費	
Z9	準備費に含まれる処分費	
C22	処分費超過額	
C2	対象処分費	
Z6	桁等購入費	
Z36	支給品等(桁等購入費)	
Z37	支給品等(一般材料費)	
Z38	支給品等(別途製作の制作費)	
Z39	支給品等(電力)	
Z4	無償貸付機械評価額	
Z5	事業損失防止施設費	
Z7	鋼橋門扉等工場原価	
Z40	現場発生品	
Z44	外注費(共通仮設費)	

⑥直接工事費を入力するとき「集計対象」を管材費と設定すると自動的に計上されます。もしくは管材費の合計金額を直接手入力します。

水道工事の各項目と間接費対象額との関係は下表のとおりです

間接工事費等		共通仮設費	現場管理費	一般管理費
対象額		対象額	直接工事費 + 共通仮設費 = 純工事費	純工事費 + 現場管理費 = 工事原価
項目				
管材費		○ (原則1/2の金額)	○ (原則1/2の金額)	○
桁等購入費		×	○	○
処分費等				
支給品等	管材費	○ (原則1/2の金額)	○ (原則1/2の金額)	×
	桁等購入費	×	○	×
	一般材料費	○	○	×
	別途製作の製作費	×	×	×
	電力	○	○	×
無償貸与機械評価額		○	○	×
鋼橋門扉等工場原価		×	×	○
現場発成品		×	×	×

○は対象とする ×は対象としない

1. 共通仮設費対象額とは直接工事費+支給品費+無償貸与機械評価額+事業損失防止施設費+準備費に含まれる処分費です。
2. 桁等購入費とはPC 桁,簡易組立式橋梁,グレーチング床版,門扉,ポンプの購入費です。
3. 管材費とは導水、浄水、送水、配水において水を直接輸送する管類とその接合材料、仕切弁、消火 栓、空気弁等の弁類、その他流量計等の管路付属設備の費用を言う。なお、きょう類、さや管類、外面被覆材等の費用は含まない。※管材は管等の内面が水に接する材料である。
4. 現場発成品とは、同一現場で発生した資材を物品管理法で規定する処理を行わず再使用する場合をいいます。
5. 別途製作したものを一度現場に設置した後に発成品となり再度支給する場合の扱いは、別途製作費と同じ扱いとします。

※処分費はP52の11-1（土木工事）を参考にしてください。

11-3 設備工事

アクションナビ

単価検索	ユーザ単価	再計算
印刷	保存	

各種設定

諸経費

経費各種条件(プリセット対象外)

経費対象額詳細

経費計算結果

表紙(プリセット対象外) ▼

端数処理 ▼

帳票番号 ▼

合算/変更設計(プリセット対象外) ▼

その他 ▼

①「経費各種条件」をクリック

②工事種類、工種区分を選択します。

金額/値(当世代) 欄をクリックすると▼印が表示されます。

▼をクリックするとプルダウンメニューが開きます。

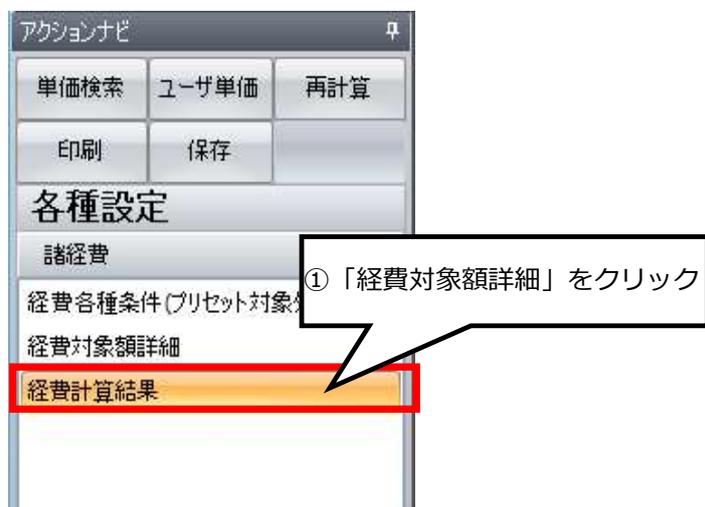
今回は工事種類を「**公共建築工事**」、工種区分を「**改修機械設備工事**」に設定します。

科目名	金額/値(当世代)	方法
▶ KS 工事種類	公共建築工事	
KB 工種区分	改修機械設備工事	
KY 経費年度	2019	
Z111 共通仮設費補正(監理事務所)		1 補正しない
Z112 共通仮設費補正(鉄骨工事)		1 補正しない
Z61 一般管理費補正(前社会事業制)		1 補正しない
Z62 一般管理費補正(前社会事業制)		1 補正しない

工事種類、工種区分により経費率が変わるので、
設計書や入札公告から適切なものを選択します。

11-3-1 処分費（発生材処分費）や工期の設定

経費条件や各種補正の設定が終わりましたら、処分費（発生材処分費）や工期などの率分の対象額に影響する項目を入力します。



②処分費（発生材処分費）や工期などの率分の対象額に影響する項目を入力します。

科目名	金額/値 (当)	計算方法
Z84 発生材処分費	<input type="text"/>	自動計算
Z40 直工に含まれる現場発生品		自動計算
Z41 現場発生品		自動計算
Z81 特定製品合計額		固定値
Z85 対象特定製品合計額		自動計算
Z83 その他工事費		固定値
▶ Z82 工期 (ヶ月)	<input type="text"/>	固定値

③工期の入力は必ず必要です。少数第1位まで入力してください。

設定の変更をすると、左上の「再計算」が赤くなりますので忘れずにクリックしてください。変更した経費条件で再計算されます。



11-4 民間工事

工事種類を「**民間工事**」に設定すると、共通仮設費・現場管理費・一般管理費に分かれている間接費を「**諸経費計**」として一本にまとめることができます。

アクションナビ

単価検索	ユーザ単価	再計算
印刷	保存	

各種設定

諸経費

経費各種条件(プリセット対象外)

経費対象額詳細

経費計算結果

表紙(プリセット対象外) ▼

端数処理 ▼

帳票番号 ▼

合算/変更設計(プリセット対象外) ▼

その他 ▼

①「経費各種条件」をクリック

②工事種類、工種区分を選択します。
金額/値(当世代)欄をクリックすると▼印が表示されます。
▼をクリックするとプルダウンメニューが開きます。
今回は工事種類を「**民間工事**」に設定します。

	科目名	金額/値(当世代)	計算方法
▶ KS	工事種類	民間工事	
KB	工種区分	民間工事	
KY	経費年度	2019	

アクションナビ

単価検索	ユーザ単価	再計算
印刷	保存	

各種設定

諸経費

経費各種条件(プリセット対象外)

経費対象額詳細

経費計算結果

表紙(プリセット対象外) ▼

端数処理 ▼

帳票番号 ▼

合算/変更設計(プリセット対象外) ▼

その他 ▼

③「経費計算結果」をクリック

プリセット: 00_デフォルト

選択 保存

科目名	金額/値(当世代)	計算方法	有効数字
M1 値引前直接工事費	1,000,000	自動計算	1円未満
M2 材料費の値引		固定値	
M3 その他の値引		固定値	
A 直接工事費	1,000,000	自動計算	1円未満
M6 諸経费率額	100,000	自動計算	1円未満
▶ M61 諸経费率	10.00%	自動計算	1円未満
M5 諸経費積上額		自動計算	1円未満
M4 諸経費計	100,000	自動計算	1円未満
M8 値引前工事価格	1,100,000	自動計算	1円未満
M9 工事価格の値引		固定値	
X 工事価格	100,000	自動計算	1000円未満
Y 消費税		自動計算	1円未満
YR 消費税			
ZA 工事費			

④「諸経費計」を確認

工事種類を民間工事に設定すると、間接費を共通仮設費や現場管理費などに分かれずに、諸経費計として一項目にまとめることができます。

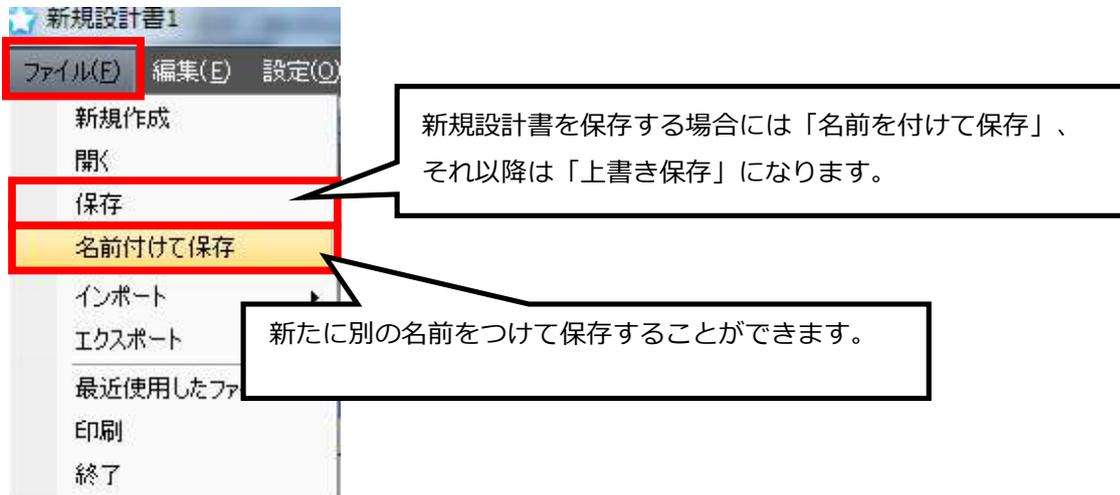
諸経费率は初期設定で10% (0.1) になっています。率を変更する場合は直接入力し再計算ボタンをクリックすると変更した率で経費計算されます。

12.頂を終了（保存）する

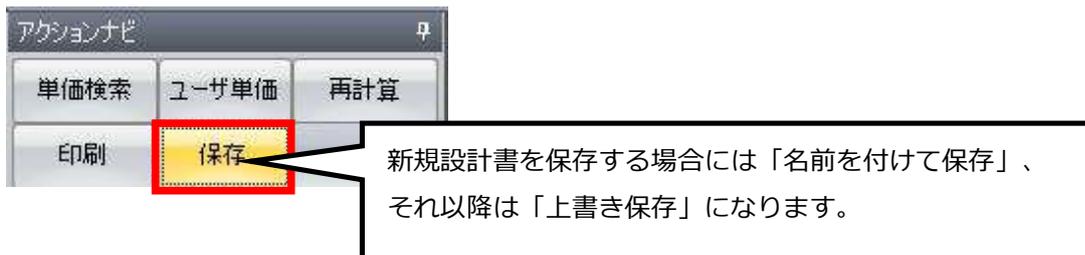
12-1 頂を保存する

注意！！自動保存ではないので必ず保存の実行が必要です。

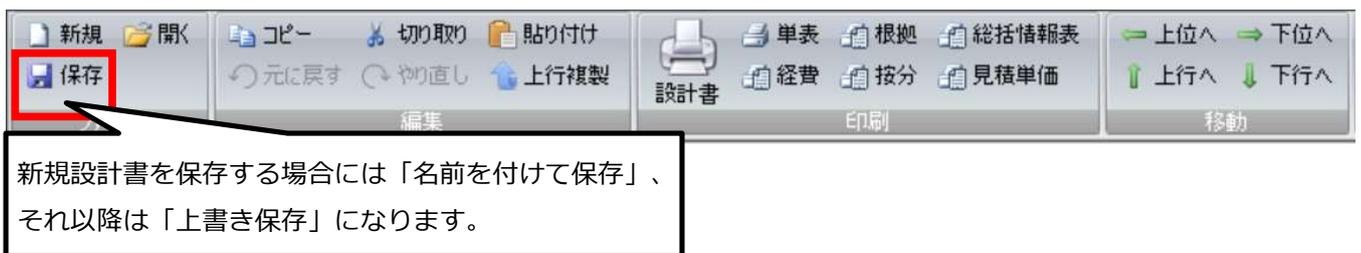
ツールバーの「ファイル」メニューから保存ができます。



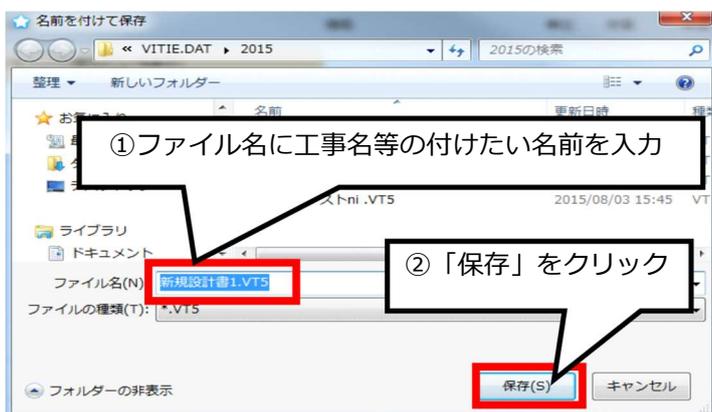
アクションナビの「保存」ボタンで保存ができます。



コマンドバーの「保存」からも保存できます。

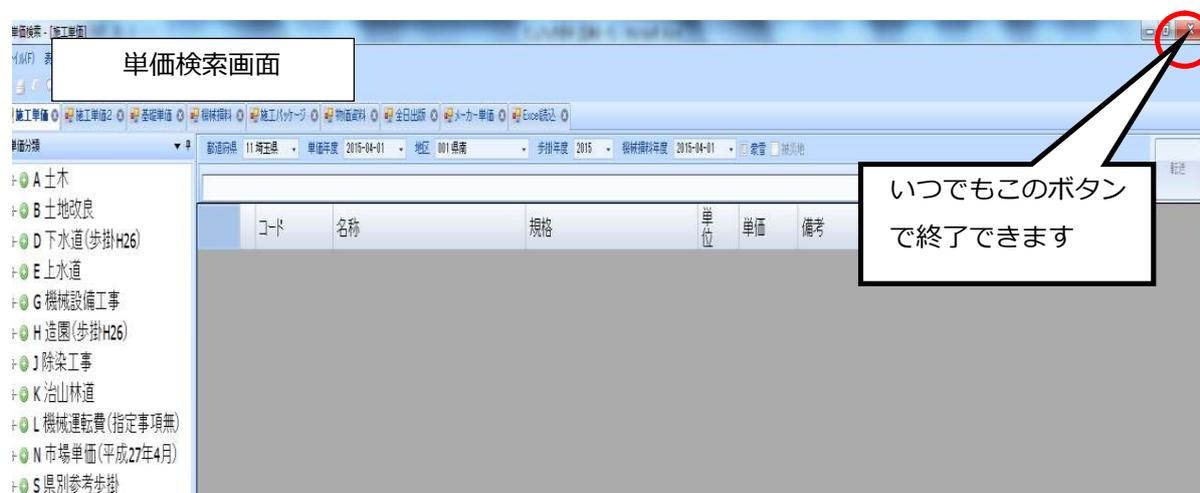


★ 新規設計書を保存する場合は「名前を付けて保存」画面が表示されます。

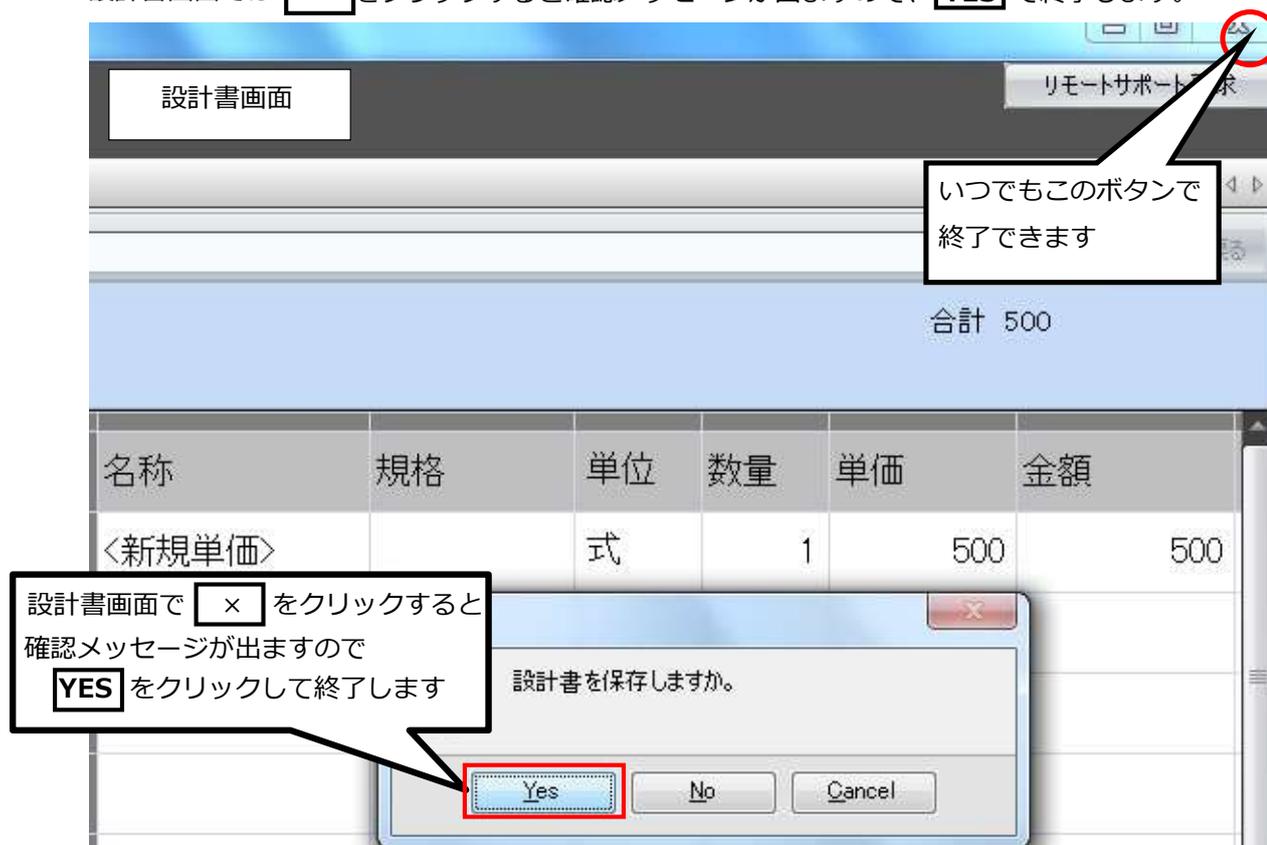


12-2 頂を終了する

単価検索画面・設計書画面のどの画面でも画面右上の **×** ボタンで終了します。



設計書画面では **×** をクリックすると確認メッセージが出ますので、**YES** で終了します。



工事価格関係

1. 工事価格を任意の額に変更する

一通り積算が終了した後、積上げた工事価格を任意の金額に変更することができます。直接工事費など実際に積上げたものも変更する場合と、積上げた金額はそのままで諸経費の間接費率計算の金額だけで調整することもできます。

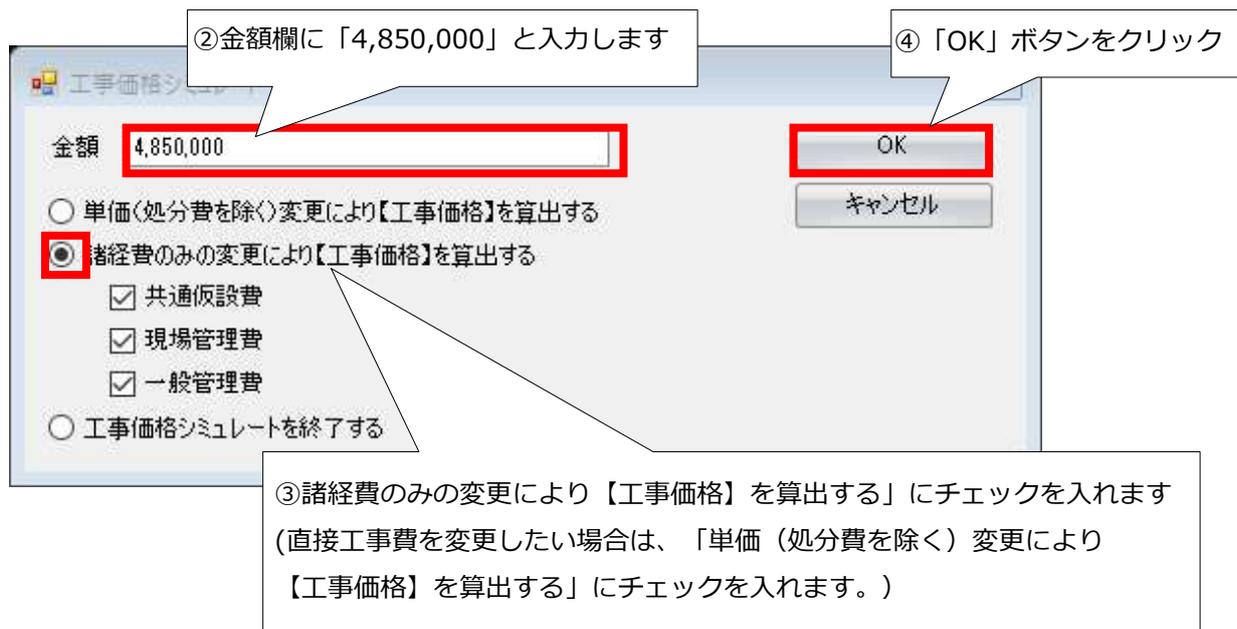
下記の例で直接工事費「2,465,960円」、工事価格「4,738,000円」で工事価格を「4,850,000円」に変更する手順を説明します。

各種設定			
プリセット: 00_デフォルト			
	科目名	金額/値(当世代)	計算方法
▶ A	直接工事費	2,465,960	固定値
B	共通仮設費率額	308,000	自動計算
C	__共通仮設費対象額	2,465,960	自動計算
D	__共通仮設費率	12.53%	自動計算
E1	現場環境改善費率額		計算しない
F1	__現場環境改善費対象額		計算しない
G6	__現場環境改善費率		計算しない
H	共通仮設費積上額		自動計算
I	共通仮設費計	308,000	自動計算
J	純工事費	2,773,960	自動計算
K	現場管理費率額	1,165,000	自動計算
L	__現場管理費対象額	2,773,960	自動計算
M	__現場管理費率	42.02%	自動計算
MG	現場管理費積上額		自動計算
N	現場管理費計	1,165,000	自動計算
O	工事原価	3,938,960	自動計算
P	一般管理費率額	799,214	自動計算
Q	__一般管理費対象額	3,938,960	自動計算
R	__一般管理費率	20.29%	自動計算
U	契約保証費		一般管理費等に含まれる
W1	一般管理費調整額	-8,174	自動計算
W	一般管理費等計	791,040	自動計算
ZG	その他工事費用		自動計算
X	工事価格	4,730,000	自動計算
Y	消費税	378,400	自動計算
YR	__消費税率	8%	自動計算
ZA	工事費計	5,108,400	自動計算



① 「工事価格シミュレート」アイコンをクリック

工事価格シミュレート画面が起動します。



⇒経費計算結果画面に戻ります。

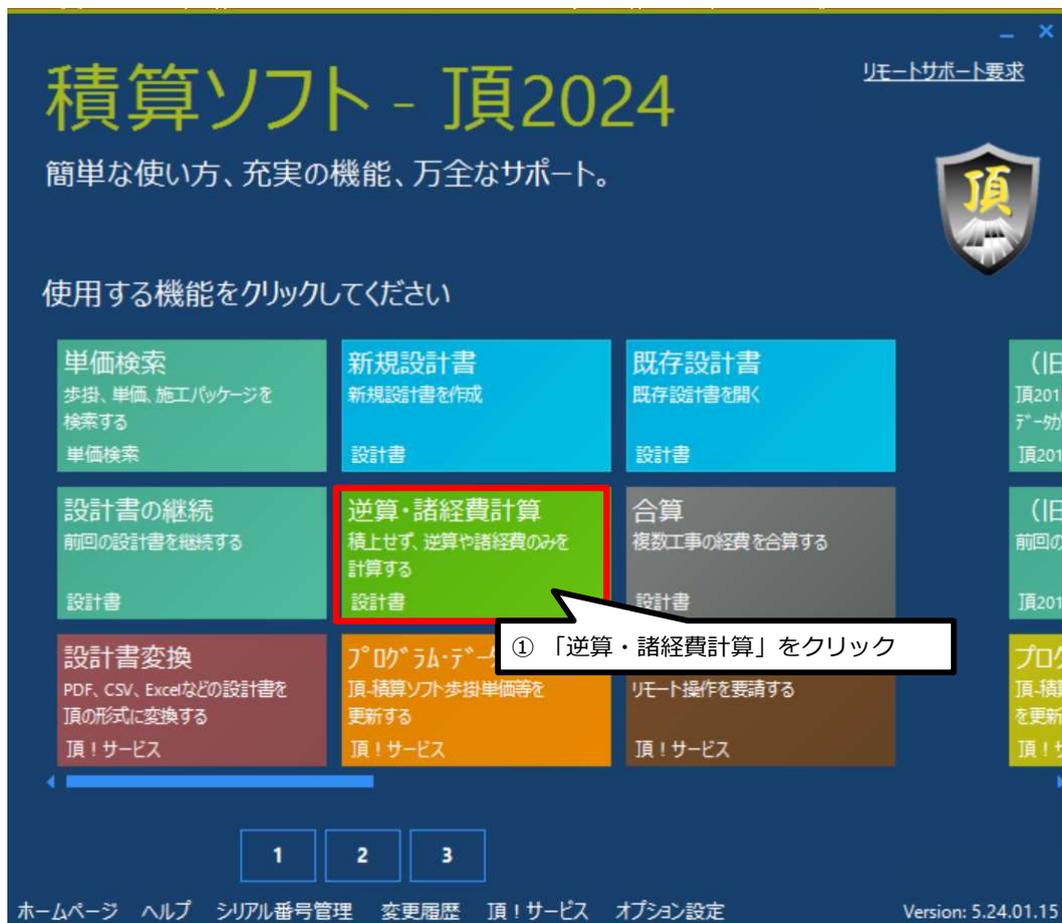
A	直接工事費	2,465,960	固定値	整数1位(1円)未満	切り捨て	
B	共通仮設費率額	321,000	自動計算	整数4位(1千円)未満	切り捨て	
C	__共通仮設費対象額	2,465,960	自動計算	整数1位(1円)未満	切り捨て	
D	__共通仮設費率	13.04%	自動計算	小数第4位未満	四捨五入	
E1	現場環境改善費率額		計算しない			
F1	__現場環境改善費対象額		計算しない			
G6	__現場環境改善費率		計算しない			
H	共通仮設費積上額		自動計算	整数1位(1円)未満	切り捨て	
I	共通仮設費計	321,000	自動計算	整数1位(1円)未満	切り捨て	
J	純工事費	2,786,960	自動計算	整数1位(1円)未満	切り捨て	
K	現場管理費率額	1,219,000	自動計算	整数4位(1千円)未満	切り捨て	
L	__現場管理費対象額	2,786,960	自動計算	整数1位(1円)未満	切り捨て	
M	__現場管理費率	43.74%	自動計算	小数第4位未満	四捨五入	
MG	現場管理費積上額		自動計算	整数1位(1円)未満	切り捨て	
N	現場管理費計	1,219,000	自動計算	整数4位(1千円)未満	切り捨て	
O	工事原価	4,005,960	自動計算	整数1位(1円)未満	切り捨て	
P	一般管理費率額	846,058	自動計算	整数1位(1円)未満	切り捨て	
Q	__一般管理費対象額	4,005,960	自動計算	整数1位(1円)未満	切り捨て	
R	__一般管理費率	21.12%	自動計算	小数第4位未満	四捨五入	
U	契約保証費		一般管理費等に含まれる	整数1位(1円)未満	切り捨て	
WI	一般管理費調整額	-2,018	自動計算	整数1位(1円)未満	切り捨て	
W	一般管理費等計	844,040	自動計算	整数1位(1円)未満	切り捨て	
ZG	その他工事費用		自動計算	整数1位(1円)未満	切り捨て	
X	工事価格	4,850,000	自動計算	整数5位(1万円)未満	切り捨て	<シミュレート値>
Y	消費税	388,000	自動計算	整数1位(1円)未満	切り捨て	
YR	__消費税率	8%	自動計算	小数第2位未満	四捨五入	
ZA	工事費計	5,238,000	自動計算	整数1位(1円)未満	切り捨て	

直接工事費は「2,465,960円」のまま、共通仮設費・現場管理費の率金額と一般管理費が変更され、工事価格が「4,850,000円」になりました。シミュレート結果であることを表す「シミュレート値」という文字が表示されています。

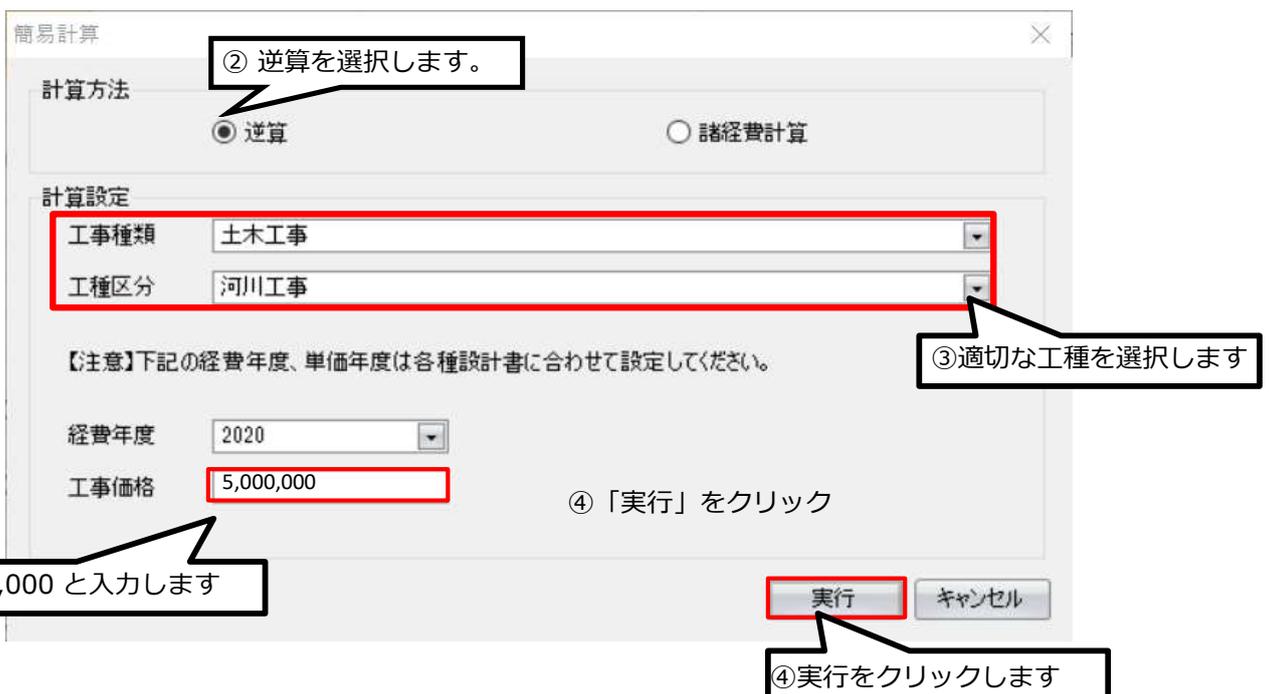
元に戻すには「工事価格シミュレートを終了する」にチェックをし、「OK」ボタンをクリックします。

2. 工事価格から諸経費を逆算する

事前公表された工事価格から直接工事費や、基準書通りの率で計算した間接費を逆算できます。



工事種類や工種区分を選択し、工事価格を入力します。



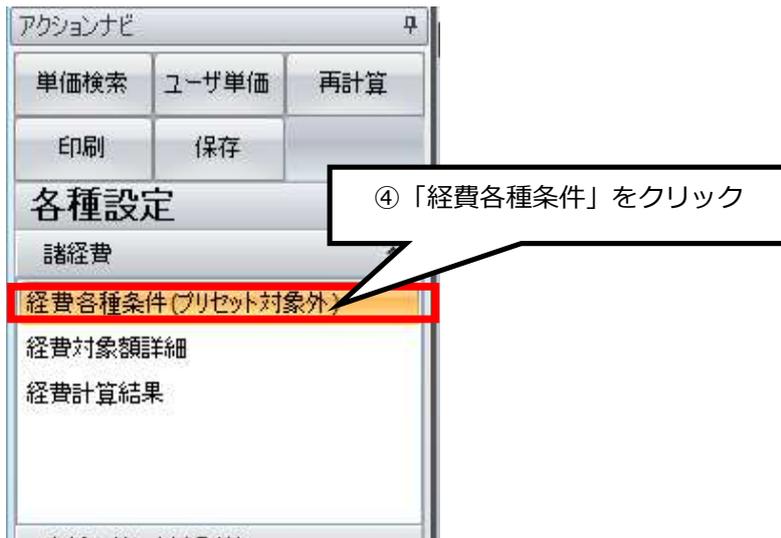
諸経費画面が開き、逆算の結果が表示されます。

科目名	金額/値(当世代)	計算方法
A 直接工事費	2,525,316	固定値
B 共通仮設費率額	316,000	自動計算
C __共通仮設費対象額	2,525,316	自動計算
D __共通仮設費率	12.53%	自動計算
E1 現場環境改善費率額		計算しない
F1 __現場環境改善費対象額		計算しない
G6 __現場環境改善費率		計算しない
H 共通仮設費積上額		自動計算
I 共通仮設費計	316,000	自動計算
J 純工事費	2,841,316	自動計算
K 現場管理費率額	1,233,000	自動計算
L __現場管理費対象額	2,841,316	自動計算
M __現場管理費率	43.43%	自動計算
MG 現場管理費積上額		自動計算
N 現場管理費計	1,233,000	自動計算
O 工事原価	4,074,316	自動計算
P 一般管理費率額	925,684	自動計算
Q __一般管理費対象額	4,074,316	自動計算
R __一般管理費率	22.72%	自動計算
U 契約保証費		一般管理費等
W1 一般管理費調整額		固定値
W 一般管理費等計	925,684	自動計算
工事価格(逆算) 5,000,000	(直接工事費 2,525,316)	

補足説明

- (1) 工事価格が「5,000,000」になっています。
- (2) 直接工事費が「2,601,755」で「固定金額」になっています。
(積上げた金額ではないということを示しています。)
- (3) 経費各種条件画面で共通仮設費の施工場所による補正等、各種補正も設定を行います
(詳細は50ページをご覧ください)
- (4) 経費対象額詳細画面で支給品や処分費、水道工事なら管材料費なども入力し、交通誘導員などの共通仮設費の積上げ金額も入力する必要があります。
- (5) 上記(3)、(4)を入力し設定することで正しい直接工事費や経費の金額が計算されます。
(詳細は70ページをご覧ください)

経費各種条件を設定方法



経費各種条件画面

科目名	金額/値(当世代)	計算方法
KS 工事種類	土木工事	
KB 工種区分	河川工事	
KY 経費年度	2019	
Z23 共通仮設費補正		補正しない
Z27 共通仮設費補正(週休)		市街地 一般交通等の影響あり① 一般交通等の影響あり② 山間僻地及び離島
Z71 現場環境改善費区分		1 大都市(1)-東京特別区、横浜市、 1 大都市(2)-大都市地域
Z56 共通仮設費補正(被災地)		補正しない
Z57 現場管理費補正(被災地)		固定値
Z58 現場管理費補正(工事現場)		補正しない
Z63 ⑤共通仮設費の補正を選択		補正しない
Z59		補正しない
Z60		補正しない
Z61		1 補正しない
Z62		補正しない

⑤共通仮設費の補正を選択
 計算方法欄をクリックすると▼印が表示されます。
 ▼をクリックすると補正方法が表示されますので、
 設計書や入札公告から適切なものを選択します。

「経費対象額詳細」を入力します。

アクションナビ

単価検索	ユーザ単価	再計算
印刷	保存	

各種設定

諸経費

経費各種条件(プリセット対象外)

経費対象額詳細

経費計算結果

⑥「経費対象額詳細」をクリック

経費対象額詳細画面

⑦処分費などを入力

科目名	金額/値(当世代)	計算方法
▶ Z8 直工に含まれる処分費		自動計算
Z9 準備費に含まれる処分費		自動計算
C2 対象処分費		自動計算
C22 処分費超過額		自動計算
Z6 桁等購入費		自動計算
Z36 支給品等(桁等購入費)		自動計算
Z37 支給品等(一般材料費)		自動計算
Z38 支給品等(別途製作の制作費)		自動計算
Z39 支給品等(電力)		自動計算
Z4 無償貸付機械評価額		自動計算
Z5 事業損失防止施設費		自動計算
Z7 鋼橋門扉等工場原価		自動計算
Z40 現場発生品		自動計算
Z44 外注費(共通仮設費)		自動計算
Z42 ダム工事に含まれる支給電力料		自動計算
Z43 ダム工事に含まれる無償貸付機...		自動計算

「再計算」ボタンをクリックします

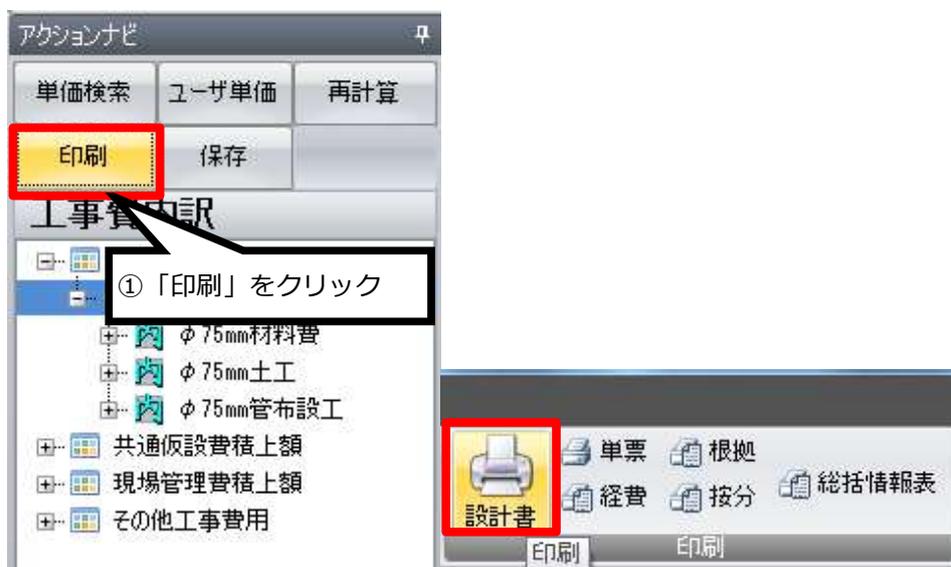
アクションナビ

単価検索	ユーザ単価	再計算 (逆算)
印刷	保存	

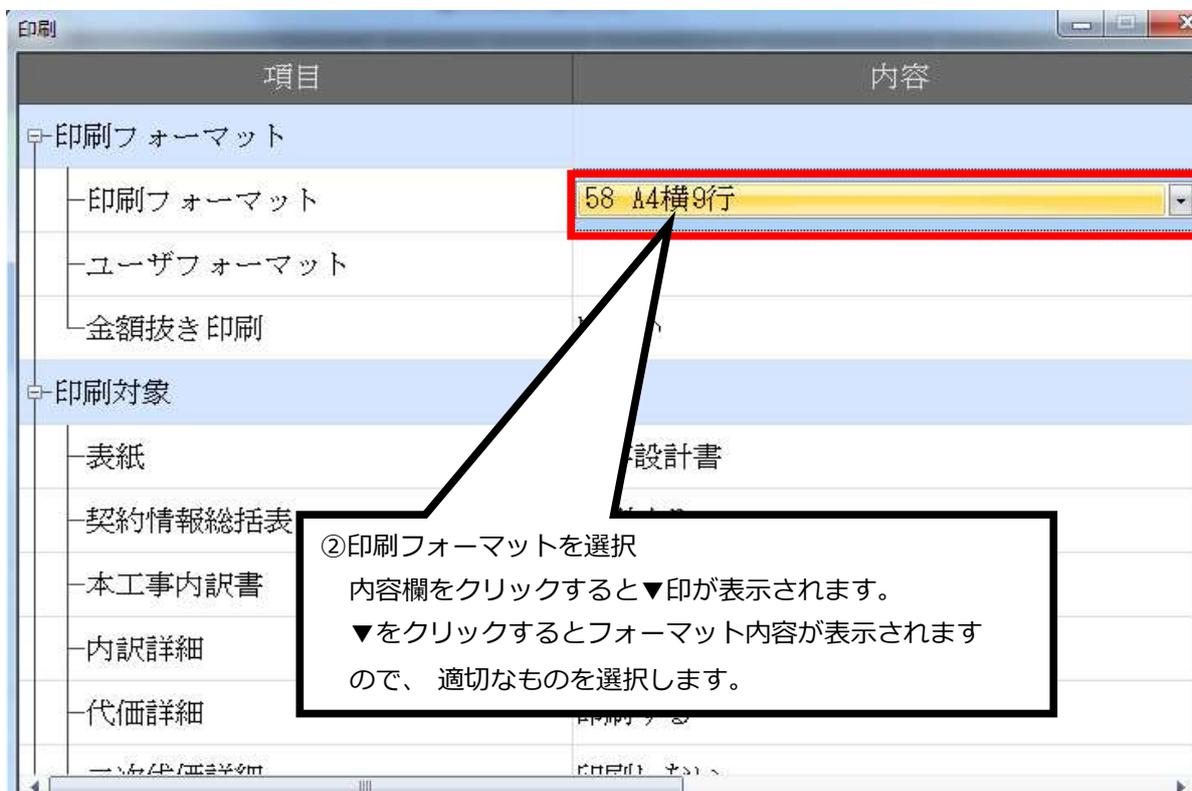
⑧「再計算」をクリック

印刷関係

画面左の「印刷」、または画面上部のアイコンをクリックすると印刷設定画面へ移動します。



文字をクリックしますと設定一覧表が呼び出されます。



1.印刷フォーマットの各設定の説明



- ・ 名称規格別列

名称と規格をそれぞれ別列に表示します。

- ・ 左右・変更設計

当初設計を左列に、変更設計を右列に表示します。

- ・ 県入札用

一般的な入札金額内訳書に、頂で作成したデータ（各工種、経費）を表示します。

- ・ 入札用（ユーザフォーマットExcel 専用）

データを取り込んだ各市町村の入札金額内訳書に、頂で作成したデータ（各工種、経費）を表示します。※積算する各市町村の入札金額内訳書データ（Excel 形式）を事前に弊社までお送りください。

ただし、一部取り込むことが出来ないデータがあります。

2.印刷対象の設定

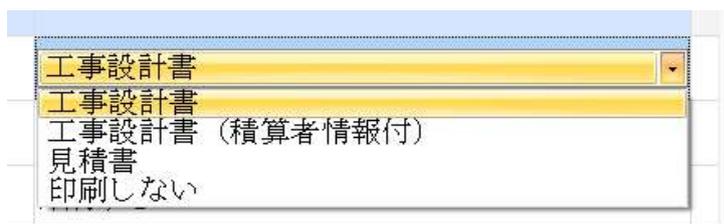
印刷対象「表紙」の設定をします。「工事設計書」をクリックします。

項目	内容
印刷フォーマット	
印刷フォーマット	58 A4横9行
ユーザフォーマット	
金額抜き印刷	する
印刷対象	
表紙	工事設計書
総括情報表	印刷しない
契約情報表	印刷しない

▼印が出ますのでクリックします。表紙の設定一覧表が呼び出されます。

項目	内容
印刷フォーマット	
印刷フォーマット	58 A4横9行
ユーザフォーマット	
金額抜き印刷	する
印刷対象	
表紙	工事設計書
総括情報表	工事設計書 工事設計書(積算者情報付)
契約情報表	見積書
本工事内訳書	印刷しない

3.表紙の各設定についての説明



- 工事設計書
各市町村でよく使われている表紙フォーマットで印刷します。
(Excel で出力することで文字の配置など自由に編集出来ます)
- 工事設計書 (積算者情報付)
入力した積算者情報を表紙に印刷します。(積算者情報の入力方法はマニュアル10ページ参照)
- 見積書
民間工事などで見積書が必要なときに設定してください。御見積書として表紙が印刷されます。
入力した見積情報を表紙に印刷します。(見積情報の入力方法はマニュアル12ページ参照)
- 印刷しない
表紙が必要無ければ印刷しないに設定します。

4.単価表の設定

・4-1 出典を印刷

本工事内訳書、施工内訳書に出典が存在する場合は備考欄に表示されます。施工代価表に出典が存在する場合は備考欄及び印刷物右上に表示されます。「出典を印刷」の設定を「しない」にすると、全ての出典が印刷されません。

項目	内容
代価表は新規代価のみ	印刷する
代価表は変更後の項目のみ	印刷しない
合算の印刷対象	全体
☐ 単価表の設定	
出典を印刷	する
備考欄を印刷	する
金額が 0 の行を印字	する
金額が 0 の諸雑費計算行を印字	する

・4-2 備考欄を印刷

備考欄に表示される項目は5つあります。

- ① 設計書作成時に入力した摘要項目
- ② 備考欄に表示される出典項目
- ③ 帳票番号
- ④ 経費の対象額と率
- ⑤ 各種集計対象の集計値

初期設定では備考欄を印刷「する」に設定されています。印刷を「しない」に設定すると摘要項目（①）、出典項目（②）を非表示にし、印刷しないように出来ます。帳票番号（③）、経費の対象額と率（④）、各種集計対象の集計値（⑤）を非表示にするためには別の項目で設定する必要があります。

4-3 帳票番号の印刷設定

単価表の設定	
出典を印刷	する
備考欄を印刷	する
金額が 0 の行を印字	しない
金額が 0 の諸雑費計算行を印字	する
帳票番号を印刷	しない
「名称」の列名	名 称

初期設定では帳票番号を印刷「する」に設定されています。印刷を「しない」に設定すると帳票番号
(③) を非表示にし、印刷しないように出来ます。

4-4 変更後のみを印刷する

「備考」の列名	備 考
当世代（最新設計）の列名	変更設計
前世代（一個前の設計）の列名	当初設計
前世代の単価・数量・金額を印刷	しない

前世代の単価・数量・金額を印刷「しない」に設定します。印刷フォーマットを 50番、51番、58番のいずれかに設定します。

5.その他

5-1 経費の対象額と率の印刷設定

④-その他	
— 労務費の数量	印刷しない
— 機械賃料の数量	印刷しない
— 油脂類単価の数量	印刷する
— 経費の率額の備考に対象額と率	印刷しない
— 調整前工事価格を印刷する	印刷しない
— 備考欄に各種集計対象の集計値	印刷する

初期設定では経費の率額の備考に対象額と率を印刷「する」に設定されています。印刷を「しない」に設定すると経費の対象額と率（④）を非表示にし、印刷しないように出来ます。

5-2 各種集計対象の集計値の印刷設定

④-その他	
— 労務費の数量	印刷しない
— 機械賃料の数量	印刷しない
— 油脂類単価の数量	印刷する
— 経費の率額の備考に対象額と率	印刷しない
— 調整前工事価格を印刷する	印刷しない
— 備考欄に各種集計対象の集計値	印刷する

初期設定では経費の率額の備考に対象額と率を印刷「する」に設定されています。印刷を「しない」に設定すると経費の対象額と率（④）を非表示にし、印刷しないように出来ます。

以上4項目を「印刷しない」に設定していただくと備考欄を全て非表示で印刷出来ます。

6.印刷設定の保存 ・ PDF ・ Excel 出力 ・ 出力したファイルの保存

項目	内容
単価調書のタイトル	単価調書
その他	
労務費の数量	印刷しない
機械賃料の数量	印刷しない
油脂類単価の数量	印刷する
経費の率額の備考に対象額と率	印刷しない
調整前工事価格を印刷する	印刷しない
備考欄に各種集計対象の集計値	印刷する
施工パッケージの計算式のページ	印刷しない
施工パッケージの区分に単価地区名	印刷しない
施工パッケージの積算単価業に単価地区	印刷する
ページ番号	印刷する
両面印刷時偶数ページをトップマー...	しない
階層字下げ文字	
フォントサイズ	
本工事内訳書に諸経	
工事設計書の表紙に	
工事設計書の表紙に	
経費条件に工事種類	
変更設計の変更のある部分を赤	
合算時、全ての設計書の内容	

「印刷設定を保存」ボタンをクリックすると、
現在設定した状態を保存できます。
次回からは、設定した状態が呼び出されます。

印刷設定を保存

出力したファイルを保存する

PDF出力

Excel出力

閉じる

「出力したファイルを保存する」にチェックをいれると、「PDF 出力」「Excel 出力」する際に、名前を付けて保存することができます

③ 「PDF 出力」または「Excel 出力」をクリックするとプレビュー画面が表示されます。

プレビュー画面が表示されました。（ここではPDF 出力をしています）

④ 「印刷」ボタンをクリック
印刷前に設計書の内容をご確認ください

印刷前に設計書の内容をご確認ください

印刷

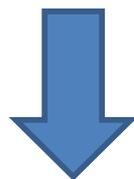
印刷ボタンをクリックすると、お使いのプリンターとつながります。
プリンター画面に従って印刷してください。

その他

1.前年度単価で作成した設計書を新年度単価、または別地区に更新する

単価を更新したい既存設計書を開き、単価一覧をクリックします。

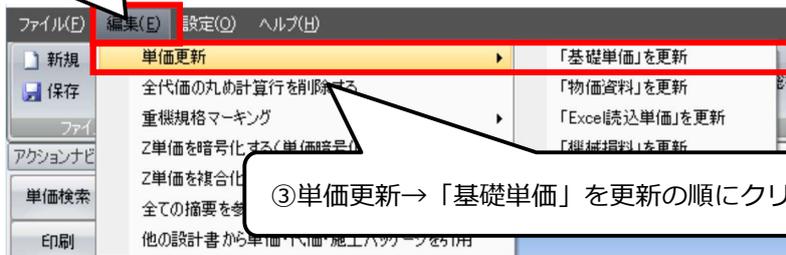
行番	種別	名称	規格
1	①	開削工事及び小口径推進工事	
2	内	・配水管布設工	
3	内	・土工事	
4	内	・路面復旧工	
5	②	・安全費	
6	単	・交通誘導警備員B	実働0時間(交替要員なし)



単価一覧の画面に切り替わります。

行番	名称	規格	単位	数量	単価
1	【労務費】				
2	交通誘導警備員B	実働0時間(交替要員なし)	人	220	11,800
3	土木一般世話役		人	1.129	23,800
4	普通作業員		人	1.324	20,900
5	特殊作業員		人	1.489	22,000
6	運転手(特殊)		人	0.488	22,500
7	【損料・賃料】				
8	コンクリートポンプ車[ガキニ式・湿式]	切削径20cm級 フレート径56cm	供用日	1.466	5,460

②編集をクリックします



③単価更新→「基礎単価」を更新の順にクリックします。

更新単価一覧画面に切り替わります。



④更新したい単価年度や地区を設定します。

⑤転送をクリックします

水色になっている行が更新対象となります。

白色の行は名称等が一致しなかったため、更新の対象外です。

行番	名称	規格	単位	数量	単価	金額
31	バックホウ運転費(クレーン機能付2.9 t吊)	クローラ型 山積0.45m3(平積0.35)	時間	9.225	7,003	6
32	バックホウ運転費(クレーン機能付2.9 t吊)	クローラ型 山積0.45m3(平積0.35)	時間	5.975	7,003	4
33	パッキン(上水用) 砲金製	φ20mm×φ13mm シールパッキン1枚含	個	2	840	
34	パッキン(上水用) 砲金製	φ25mm×φ13mm シールパッキン1枚含	個	1	1,980	
35	フランジ接合部品(GF) 7.5K SUS	φ75mm GFカスケット、B/N含む	組	5	2,680	1
36	ルネックスルーフシート型	φ20mm×800mm シールパッキン1枚含	本	2	25,600	5
37	ルネックスルーフシート型	φ25mm×800mm シールパッキン1枚含	本	1	30,100	3
38	ホリドリパイプ	φ 75mm	m	399.713	304	12

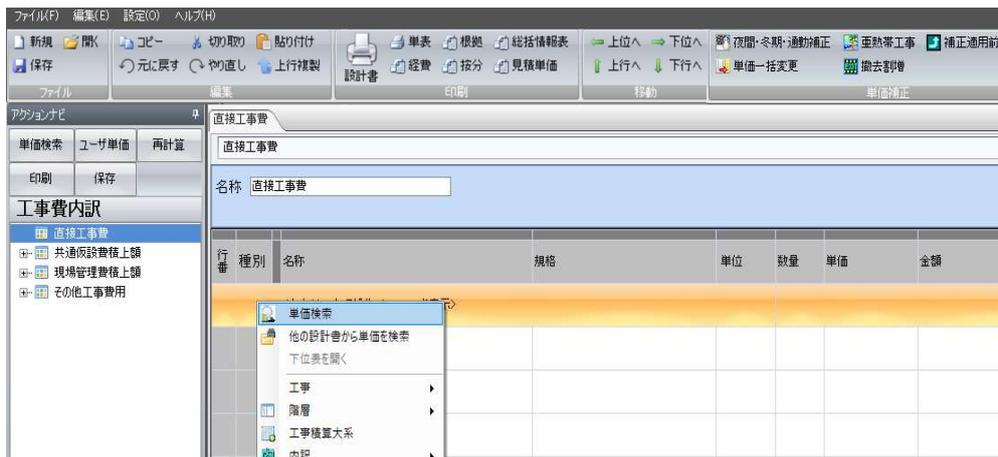
単価が更新されました！

青くなっている行が今回更新された単価です。

※注意※

- 更新の対象は、「労務単価」「材料単価」「市場単価」「処分費」です。「機械損料」は更新されません。機械損料の更新につきましては、メニューバーの「編集」をクリックし「単価更新」のプルダウンメニューから「機械損料を更新…」を選択し、更新してください。
- 単価が更新されるのは、単価の「名称」「規格」「単位」が頂の単価検索システム内のデータと一致する場合のみです。
- 一度更新した単価は元に戻すことはできません。
- Excel読み込み単価の更新を行う場合は、「編集」をクリックし「単価更新」のプルダウンメニューから「単価をExcel読み込み単価で更新」をクリックし転送で更新できます。
- 青いフラグを消すには、メニューバーの「編集」から「単価更新」のプルダウンメニューから「単価更新フラグをクリアする」を選択してください。

直接工事費画面に移動しました。
使用する施工パッケージを「単価検索」から転送します。



ここでは、例として基礎碎石を転送しました。



下位表へ移動しました。

代表機材規格(現地)	単位(現地)	構成比	単価(現地)	補正
K 機械	-	5.31		
K1 ハックル付貨料[加-型・排対型(1~3次)](長期割...	日	5.28	8,800	
R 労務	-	83.56		
R1 普通作業員	人	43.7	18,400	
R2 特殊作業員	人	18.98	19,900	
R3 土木一般世話役	人	10.48	21,900	
R4 運転手(特殊)	人	9.82	19,900	
Z 材料	-	11.13		
Z1 再生骨材 再生碎石 RC-40	m ³	8.62	2,650	
Z2 軽油 ハトル給油	L	2.5	109	

コマンドバーの「夜間・冬期・通勤補正」をクリックし、設定画面を開きます。



2-1.夜間補正の場合

夜間・冬期・通勤補正

夜間補正

適用する 補正率 + × 賃金比
 名称の末尾に追加する文字列

冬期補正

適用する 補正率 + %
 名称の末尾に追加する文字列

通勤補正

適用する 補正率 + %
 名称の末尾に追加する文字列

下位表も再帰的に補正する
 補正前単価の有効桁数を維持する

- ① 夜間補正の適用するにチェックを入れます。
- ② 補正率を入力します。
 (例) 150%の場合は1.5と入力します。
- ③ 名称の末尾に追加する文字列は自由に変更できます。
 今回は初期設定の(夜間)にしました。
- ④ 適用をクリックすると入力した補正率で労務単価が補正されます。

規格 7.5cm以下,再生クラックラン 40~0 条件変更 単位 m2

代表機材規格(現地)	単位(現地)	構成比	単価(現地)	補正
K 機械	-	5.31		
K1 ハック材の賃料[クロー型・排対型(1~3次)](長期割引) 山積0.8m3[平積0.6] ...	日	5.28	10,700	
R 労務	-	83.56		
R1 普通作業員(夜間)	人	43.7	22,950	
R2 特殊作業員(夜間)	人	18.98	26,700	
R3 土木一般世話役(夜間)	人	10.48	28,050	
R4 運転手(特殊)(夜間)	人	9.92	26,700	
Z 材料				
Z1 再生クラックラン 40~0mm			3,300	
Z2 軽油 ハンドル給油,2~4L積載車用	リ	2.9	118	

普通作業員などの労務単価を冬期補正しました。
 補正された労務単価の名称の末尾に(夜間)と入りました。

2-2.通勤補正の場合

夜間・冬期・通勤補正

夜間補正

適用する 補正率 + × 賃金比
 名称の末尾に追加する文字列

冬期補正

適用する 補正率 + %
 名称の末尾に追加する文字列

通勤補正

適用する 補正率 + %
 名称の末尾に追加する文字列

下位表も再帰的に補正する
 補正前単価の有効桁数を維持する

- ① 通勤補正の適用するにチェックを入れます。
- ② 補正率を入力します。ここでは5%と入力します。
- ③ 名称の末尾に追加する文字列は自由に変更できます。今回は初期設定の(通勤補正5%)にしました。
- ③ 適用をクリックすると入力した補正率で労務単価が補正されます

直接工事費 ▶ 基礎碎石

名称 基礎碎石(通勤補正5%) 帳票番号 施工第1号 コード UMX&U1-SAP033_

規格 7.5cm以下再生クワッチャラ 40~0 条件変更 単位 m2

代表機材規格(現地)	単位(現地)	構成比	単価(現地)	補正式
▶ K 機械	-	5.31		
K1 トラックの貨物[箱型・排付型(1~3次)](長期割引) 山積0.8m3[平積0.6] ...	日	5.28	10,700	
R 労務	-	83.56		
R1 普通作業員(通勤補正5%)	人	43.7	16,065	
R2 特殊作業員(通勤補正5%)	人	18.98	18,630	
R3 土木一般世話役(通勤補正5%)	人	10.48	19,635	
R4 運転手(特殊)(通勤補正5%)	人	9.82	18,630	
Z 材料	-	11.13		
Z1 再生クワッチャラ 40~0mm	m3	8.62	3,300	
Z2 軽油 H10-給油,2~4KL積載車給油	L	2.5	118	

普通作業員などの労務単価を通勤補正しました。
 補正された労務単価の名称の末尾に(通勤補正5%)と入りました。

2-3.冬期補正の場合

夜間・冬期・通勤補正

夜間補正
 適用する 補正率 1.5 + 0.00 × 賃金比
 名称の末尾に追加する文字列 (夜間)

冬期補正
 適用する 補正率 + 3.0 %
 名称の末尾に追加する文字列 (冬期補正3%)
 下位表も再帰的に補正する
 補正前単価の有効桁数を維持する

通勤補正
 適用する 補正率 + 5.0 %
 名称の末尾に追加する文字列 (通勤補正3%)

- ① 冬期補正の適用するにチェックを入れます。
- ② 補正率を入力します。(例) 3%の場合は3と入力します。
- ③ 名称の末尾に追加する文字列は自由に変更できます。今回は初期設定の(冬期補正3%)にしました。
- ④ 適用をクリックすると入力した補正率で労務単価が補正されます。
 ※運転手(特殊・一般)及び助手は補正の対象外です。

直接工事費 ▶ 基礎砕石					
名称 基礎砕石(冬期補正3%) 帳票番号 施工第1号 コード UMXkU1-SAP033_					
規格 7.5cm以下再生クラッシャー 40~0 条件変更 単位 m2					
	代表機材規格(現地)	単位(現地)	構成比	単価(現地)	補正式
K	機械	-	5.31		
K1	バックホウ賃料[加圧型・排対型(1~3次)](長期割引) 山積0.8m ³ [平積0.6] ...	日	5.28	10,700	
R	労務	-	83.56		
R1	普通作業員(冬期補正3%)	人	43.7	15,759	
R2	特殊作業員(冬期補正3%)	人	18.98	18,334	
R3	土木一般世話役(冬期補正3%)	人	10.48	19,261	
R4	運転手(特殊)	人	9.82	17,800	
Z	材料	-	11.18		
Z1	再生クラッシャー 40~0mm	m ³	8.62	3,300	
Z2	軽油 H ¹⁰ -II給油,2~4KL積載車給油	L	2.5	118	

普通作業員などの労務単価を冬期補正しました。
 補正された労務単価の名称の末尾に(冬期補正3%)と入りました。
 運転手は対象外ですので補正されていません。

2-4.二つの補正を同時に行う場合

- ① 冬期補正、通勤補正にチェックを入れます。
- ② それぞれの補正率を入力します。
- ③ 名称の末尾に追加する文字列を編集します。今回は(冬期補正3%)、(通勤補正5パーセント)としました。
- ④ 適用をクリックすると入力した補正率で労務単価が補正されます。

	代表機労材規格(現地)	単位(現地)	構成比	単価(現地)	補正式
K	機械	-	5.31		
K1	バックホウ賃料[加型・排対型(1~3次)](長期割引) 山積0.8m3[平積0.6] ...	日	5.28	10,700	
R	労務	-	83.56		
R1	普通作業員(冬期補正3%)(通勤補正5%)	人	43.7	16,524	
R2	特殊作業員(冬期補正3%)(通勤補正5%)	人	18.98	19,224	
R3	土木一般世話役(冬期補正3%)(通勤補正5%)	人	10.48	20,196	
R4	運転手(特殊)(通勤補正5%)	人	9.82	18,690	
Z	材料	-	11.13		
Z1	再生クラツヤラ 40~0mm	m3	8.82	3,300	
Z2	軽油 バトル給油,2~4KL積載車給油	L	2.5	118	

労務単価をそれぞれ冬期、通勤補正しました。
補正された労務単価には(冬期補正3%)、(通勤補正5%)が名称の末尾に追加されます。
運転手は冬期補正の対象外ですので補正されず名称にも(通勤)だけ追加されます。

2-5.冬期補正（現場管理費の補正）の場合

積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合、
寒冷地手当を支給する為に現場管理費を補正しています。

（1）積雪寒冷地の施工期間

施工期間	適用地域	備考
11月1日～3月31日	北海道、青森県、秋田県	積雪地特性を11月中の降雪が5日以上ある事
12月1日～3月31日	上記以外の地域	

（2）工場製作工事及び冬期条件下で施工することが前提となっている除排雪工事等は適用しない。

（3）補正の計算式

$$\text{積雪寒冷地域補正率（\%）} = \boxed{\text{冬期率}} \times \boxed{\text{補正係数}} \rightarrow$$



$$\text{冬期率} = \frac{\text{12月1日～3月31日(11月1日～3月31日)までの工事期間}}{\text{工期}}$$

積雪寒冷地域の区分	補正係数
1級地	1.8
2級地	1.6
3級地	1.4
4級地	1.2

（4）補正の計算例

場所：4級地 → 補正係数 1.20
 工事期間：10月1日～3月31日 計123日
 冬期工事期間：12月1日～3月31日 計62日 の場合

① まず、冬期率を算出します。

$$\text{冬期率} = \frac{\text{12月1日～1月31日までの工事期間}}{\text{工期}} = \frac{62 \text{ 日}}{123 \text{ 日}} = 0.504 \div 0.50$$

② 積雪寒冷地域補正率を算出します。

$$\text{積雪寒冷地域補正率} = 0.50 \text{（冬期率）} \times 1.20 \text{（補正係数）} = \mathbf{0.60\%} \text{ となります。}$$

※頂に入力する際には、計算結果を100で割った数字を入力してください。
 （ここでは0.6÷100=0.006になります。）



① 諸経費→諸経費各種条件の順にクリックします。

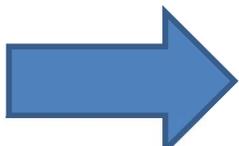
② 計算した補正率を入力します。

③ 再計算をクリックします。

科目名	金額/値(当世代)
KS	工事種類 土木工事
KB	工程区分 河川工事
KY	経費年度 2017
Z28	共通仮設費補正
Z71	イメージアップ経費補正
Z66	共通仮設費補正(撤)
Z67	現場管理費補正(撤)
Z58	現場管理費補正(工)
Z59	現場管理費補正(緊急工事)
Z60	現場管理費補正(冬期) 0.006
Z61	一般管理費補正(前払金支出割合) 1
Z62	一般管理費補正(契約保証)

④ 諸経費→経費計算結果をクリックし補正結果を確認します。
現場管理費率をご確認ください。積雪寒冷地域補正率の0.6%が補正されています。

科目名	金額/値(当世代)
純工事費	11,138,000
現場管理费率額	4,243,000
現場管理費対象額	11,138,000
現場管理费率	38.1%
現場管理費積上額	
現場管理費計	4,243,000
工事原価	15,381,000
一般管理费率額	2,771,653
一般管理費対象額	15,381,000
一般管理费率	18.02%
契約保証費	
一般管理費調整額	-2,653



38.1%から38.7%に0.6%補正されました。

科目名	金額/値(当世代)
純工事費	11,138,000
現場管理费率額	4,310,000
現場管理費対象額	11,138,000
現場管理费率	38.7%
現場管理費積上額	
現場管理費計	4,310,000
工事原価	15,448,000
一般管理费率額	2,783,729
一般管理費対象額	15,448,000
一般管理费率	18.02%
契約保証費	
一般管理費調整額	-1,729

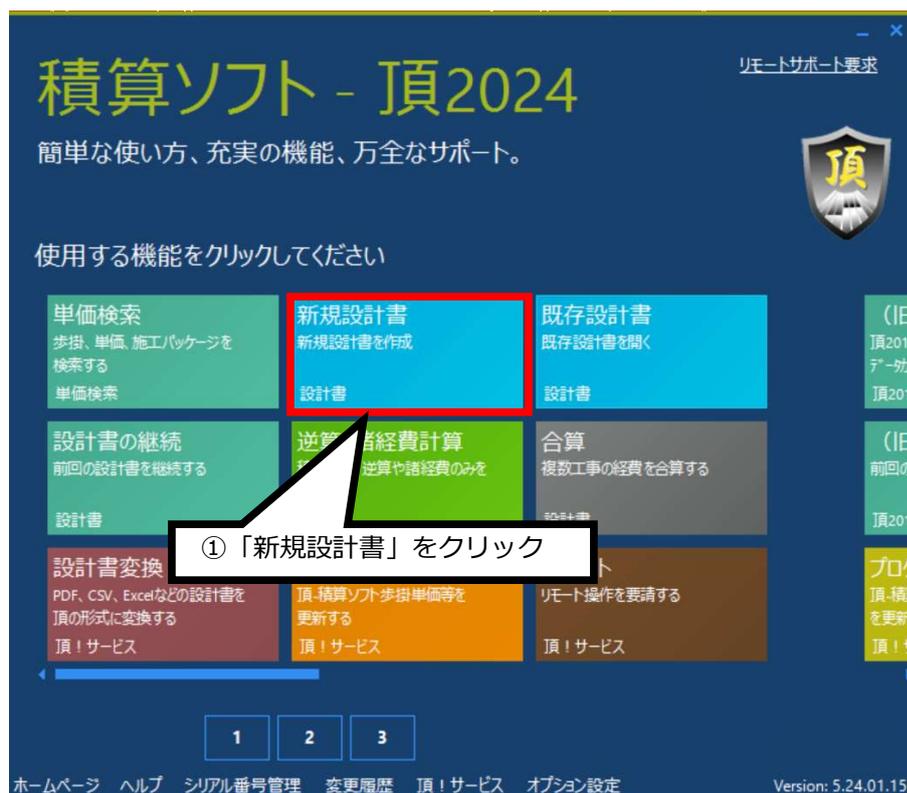
3. ユーザ単価

3-1 ユーザ単価の作成

設計書の中には地域独自の歩掛がいくつか存在します。

独自の歩掛は「ユーザ単価」で一度作成すれば、次回から作成する手間が省けます

新規設計書を開きます。



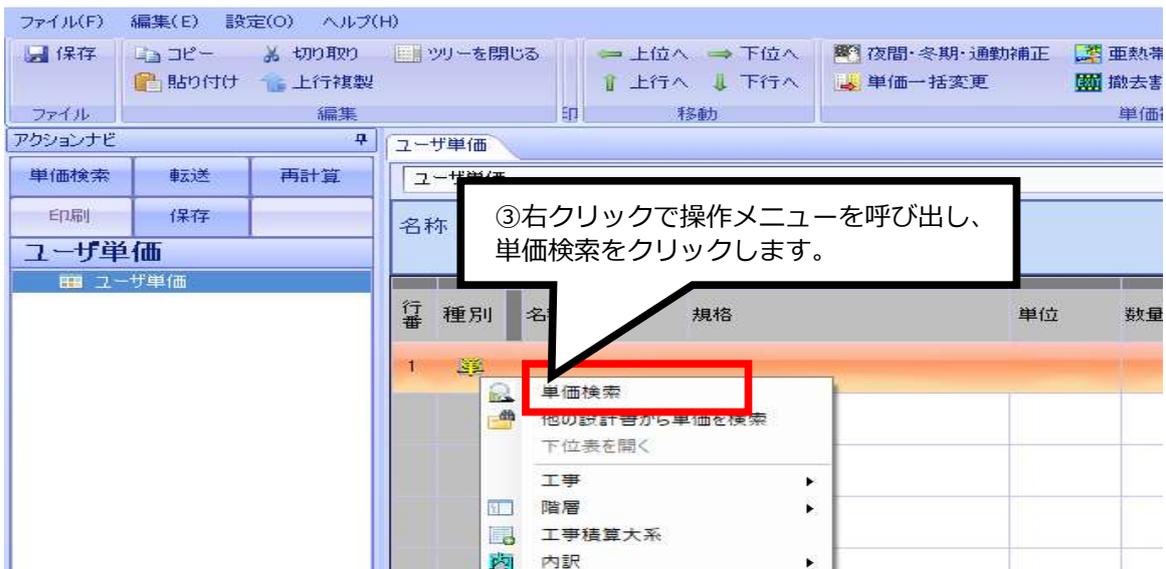
新規設計書画面が開いたら、ユーザ単価画面を開きます。



ここでは「管路埋戻（洗砂）」をユーザ単価として作成し登録します。

洗砂の使用が独自の部分です。

青色の画面（ユーザ単価画面）に移動します。

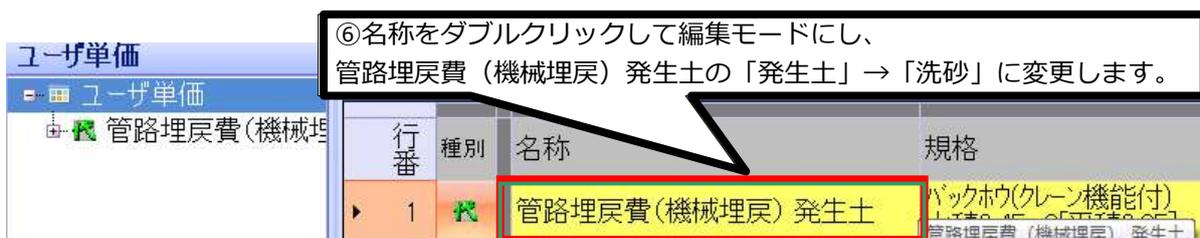


単価検索画面に移動します。

「E 上水道」 → 「E-1 上水道管路土工」 → 「E-1-2 管路埋戻」 → 「1 機械埋戻 (水道・標準)」 「E-1-2-1-0 1 発生土」 → 「E-1-2-1-0 1-4 管路埋戻費 (機械埋戻) 発生土」を選択し 転送します。



ユーザー単価画面に戻ります



名称	ユーザ単価		
行番	種別	規格	単位
1	代	管路埋戻費(機械埋戻) 洗砂	バックホウ(クレーン機能付)山積0.45m3[平積0.35]

⑦行番をダブルクリックし
下位表（代価表）の画面へ移動します。

下位表（代価表）が表示されました。

行番	種別	名称	規格	単位	数量
1	単	土木一般世話役		人	2.1
2	単	普通作業員		人	5.9
3	代	バックホウ運転費[標準型・クレーン機能付・排対型(1次)]	山積0.45m3[平0.35]2.9t吊	h	4.2
4	代	タンバ運転(賃料)	60~80kg	日	3
5	冊	諸雑費		式	1

- 単価検索
- 内訳
- 代価
- 単価

⑧下位表に移動し、諸雑費の下で行で右クリックし
単価検索をクリックします。

単価検索画面に移動しました。

単価検索から「洗砂」選択し転送します。

ファイル(F) 表示(V) 設定 ヘルプ

施工単価 施工単価2 基礎単価 機械損料

単価分類

- A 労務単価
- D 土木施工単価
- P 県発表データ
- S 積算資料
- X 参考単価

⑨「基礎単価」のタブをクリック 洗砂などの資材単価データは「基礎単価」として搭載されています。

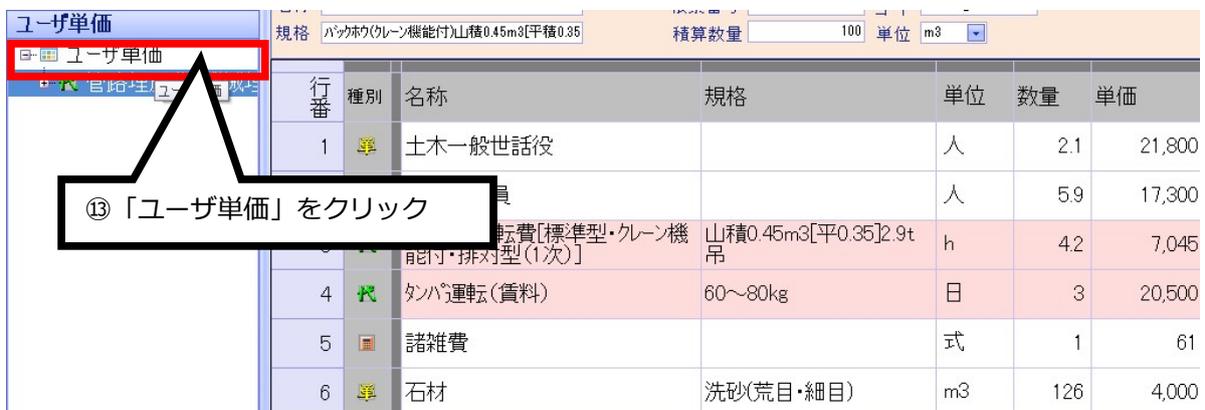
基礎単価のタブ内から洗砂(粗目・細目)を選択し、転送します。



下位表(代価表)画面に移動しました。
諸雑費の下行に転送されました。

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価
1	準	土木一般世話役		人	2.1	21,800
2	準	普通作業員		人	5.9	17,300
3	代	バックホウ運転費[標準型・クレーン機能付・排対型(1次)]	山積0.45m3[平0.35]2.9t吊	h	4.2	7,045
4	代	タンパ運転(賃料)	60~80kg	日	3	20,500
5	目	諸雑費		式	1	61
▶ 6	準	石材	洗砂(荒目・細目)	m3	126	4,000

数量の入力を終え完成しました。左のユーザ単価をクリックし上の画面へ戻ります。



管路埋戻費（洗砂）の作成が完了しました。

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価
1		管路埋戻費(機械埋戻) 洗砂	バックホウ(クレーン機能付)山積0.45m3[平積0.35]	m3	0	7,430

★ユーザ単価の保存

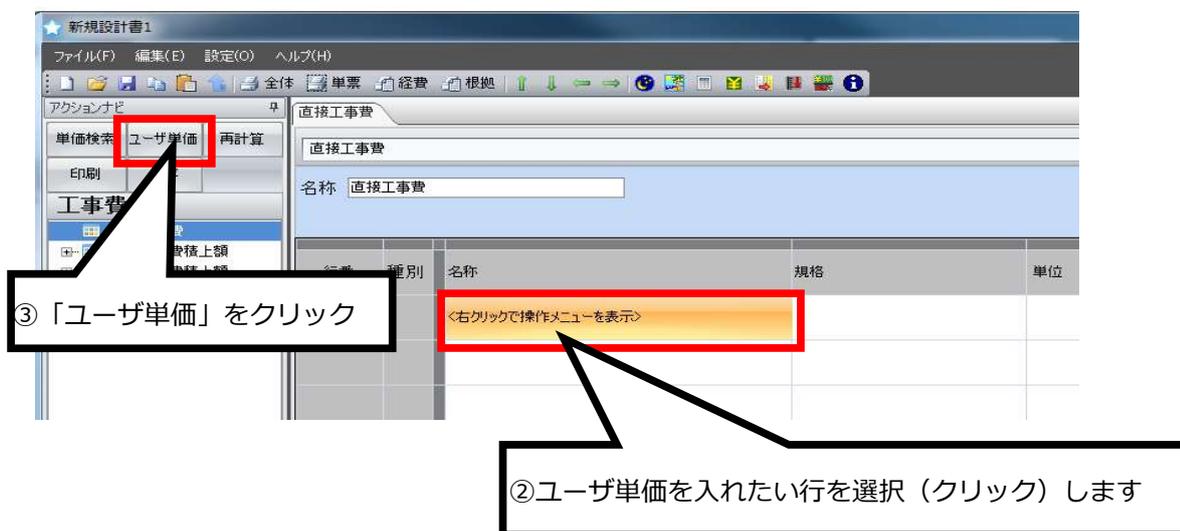
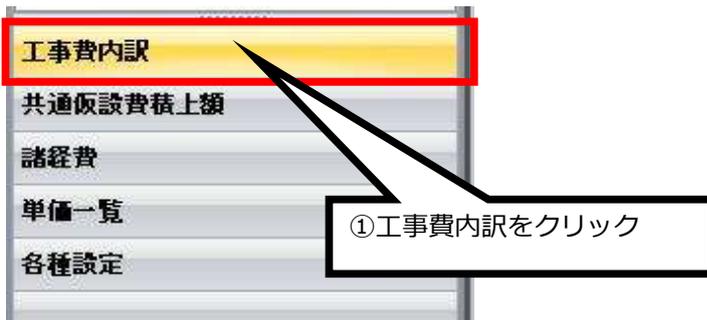
「保存」ボタンで作成したユーザ単価を保存できます。

⑬「保存」をクリック

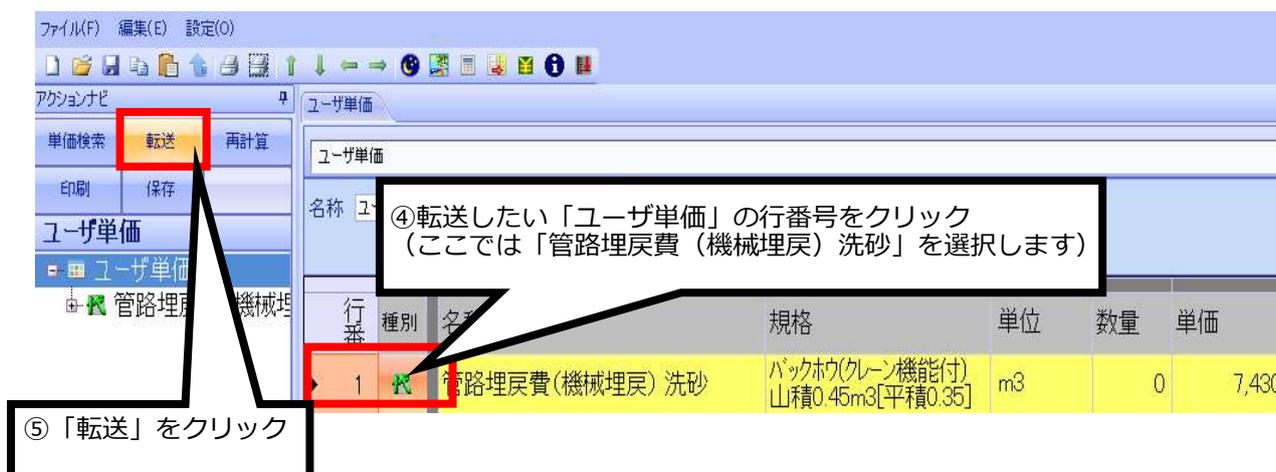
行番	種別	名称	規格	単位
1		管路埋戻費(機械埋戻) 洗砂	バックホウ(クレーン機能付)山積0.45m3[平積0.35]	m3

3-2 ユーザ単価の転送

設計書画面から工事費内訳画面を開きます。



ユーザー単価画面が表示されます



設計書画面に戻り、ユーザ単価が転送されました。

新規設計書1

ファイル(F) 編集(E) 設定(O) ヘルプ(H)

アクションナビ

単価検索 ユーザ単価 再計算

印刷 保存

工事費内訳

直接工事費

管路埋戻費<機械埋戻>

共通仮設費積上額

現場管理費積上額

その他工事費用

直接工事費

名称 直接工事費

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価
1		管路埋戻費<機械埋戻> 洗砂	バックホウ(クレーン機能付)土積0.45m3[平積0.35]	m3	0	7.429

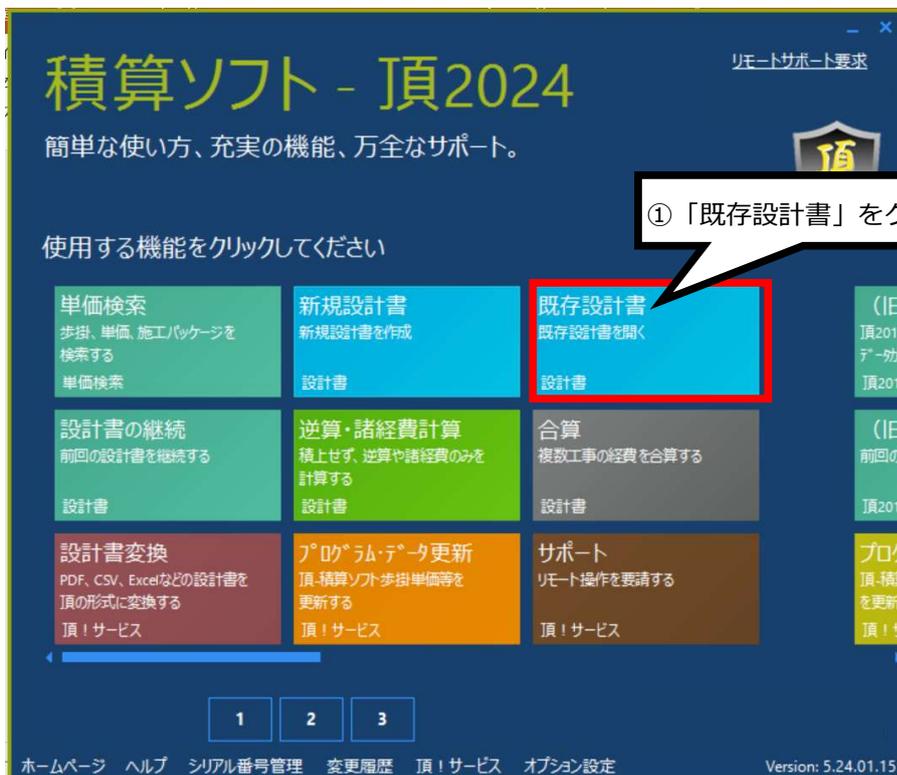
⑥数量を入力します

4.変更設計について

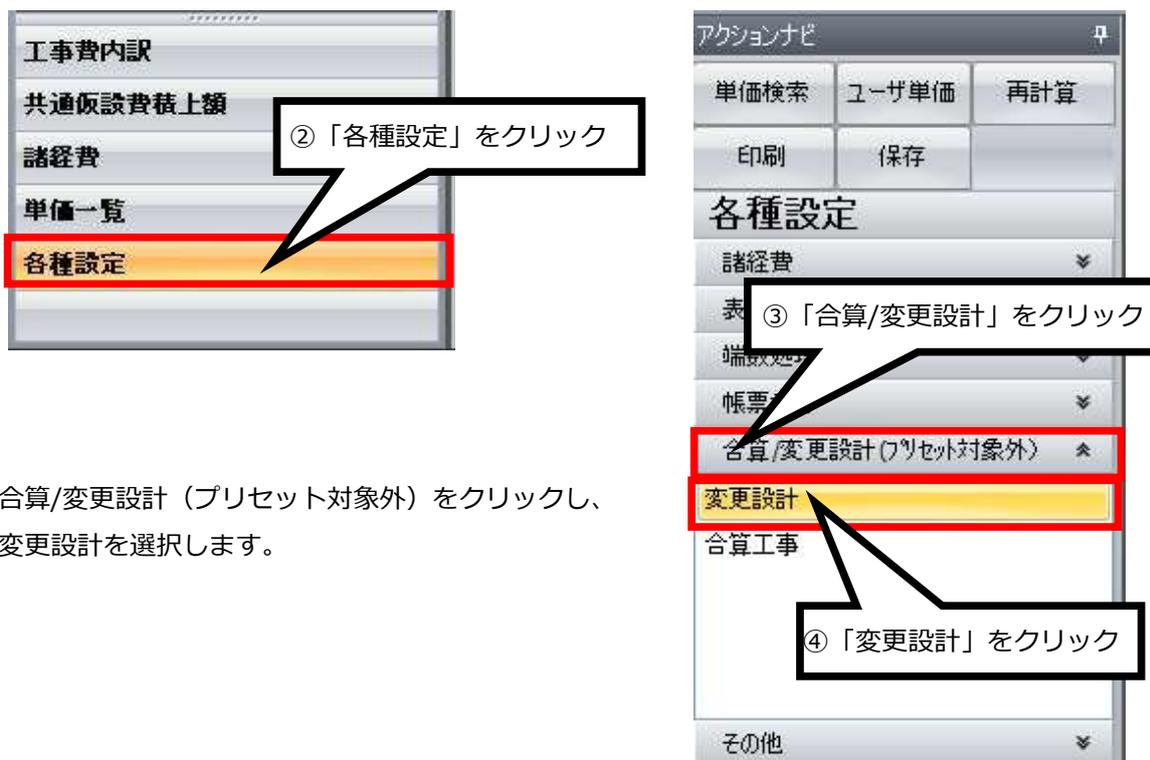
4-1 変更設計書の作成

注意 当初設計書をコピーした設計書ファイルで変更設計を作成してください。

既存設計書から変更したい設計書を選択し開きます。

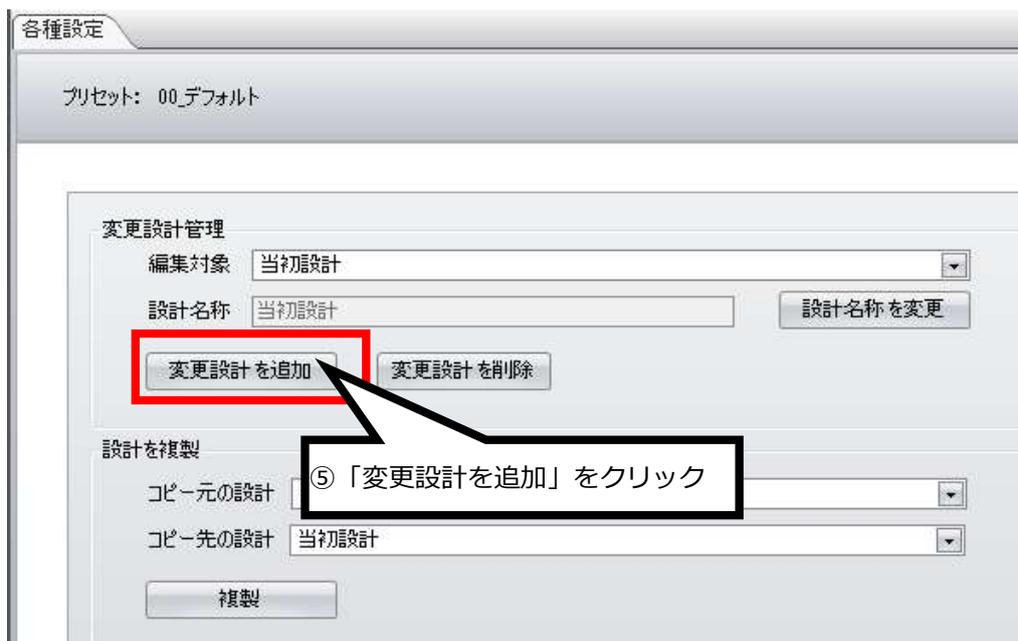


各種設定をクリックすると下記メニューが表示されます。



合算/変更設計 (プリセット対象外) をクリックし、
変更設計を選択します。

変更設計画面が開きました。



変更設計が追加され編集対象の欄が変更設計 1 に変わりました。



工事費内訳の画面に移動します。



変更前が表示された画面になります

種別	名称	規格	単位	変更前数量	変更前単価	変更前金額	数量	単価	金額	摘要
①	φ150mm布設工事		式	1		3,310,234	1		3,310,234	
内	・φ150mm材料費		式	1	1,109,141	1,109,141	1	1,109,141	1,109,141	
内	・φ150mm土工		式	1	190,167	190,167	1	190,167	190,167	
内	・φ150mm管布設工		式	1	1,484,014	1,484,014	1	1,484,014	1,484,014	
内	・φ150mm井類設置工		式	1	163,717	163,717	1	163,717	163,717	
内	・φ150mm仮設工		式	1	362,645	362,645	1	362,645	362,645	
②	・直接経費		式	1		550	1		550	
内	・・排水費		式	1	550	550	1	550	550	550

元設計と同じものがコピーされています

⑦ 数量など変更内容を入力します。
 代価や内訳の変更は必ず下位表を開いて、下位表（明細表）で修正してください。

数量や単価、金額の変更が発生した部分は数字が赤色に変わります。

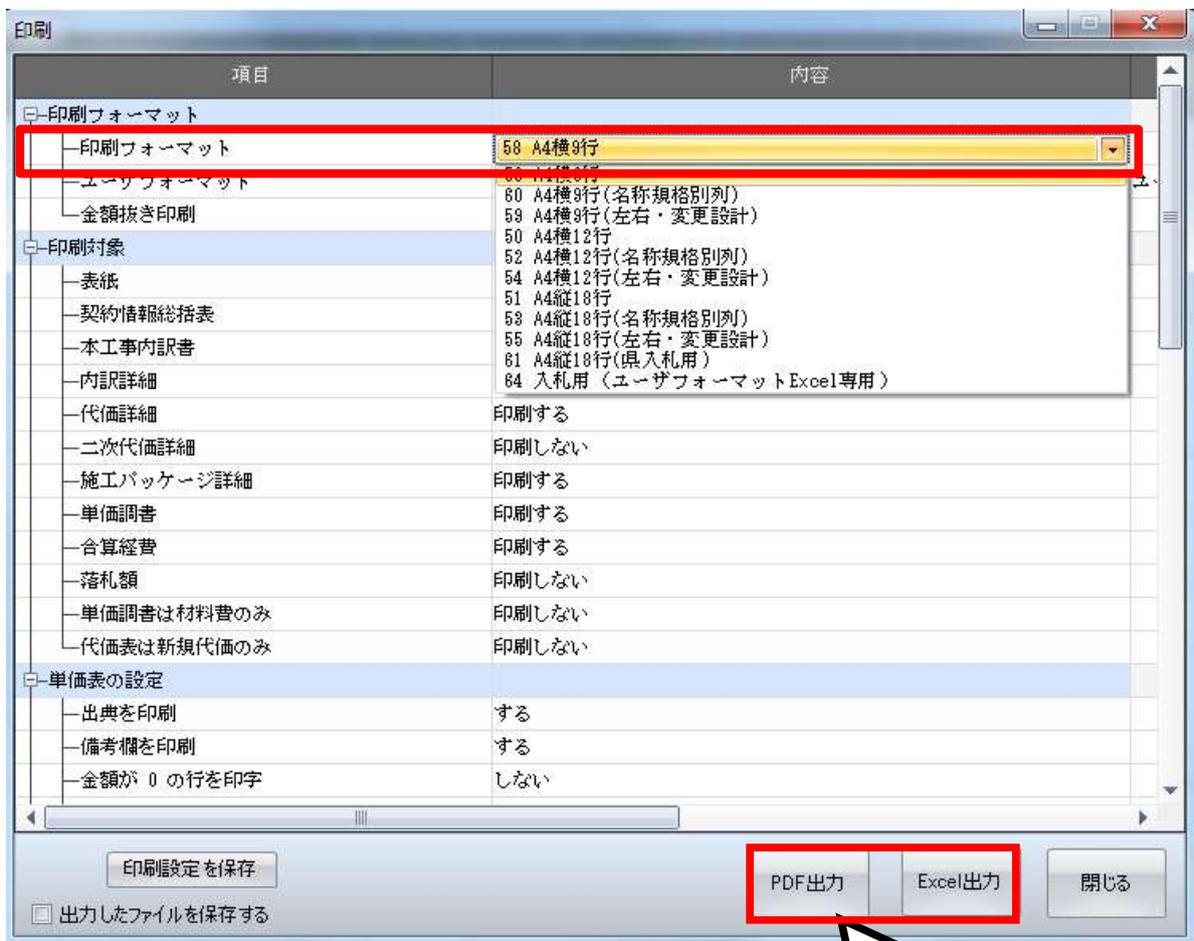
種別	名称	規格	単位	変更前数量	変更前単価	変更前金額	数量	単価	金額	摘要
①	φ150mm布設工事		式	1		3,310,234	1		4,494,634	
内	・φ150mm材料費		式	1	1,109,141	1,109,141	1	2,293,541	2,293,541	
内	・φ150mm土工		式	1	190,167	190,167	1	190,167	190,167	
内	・φ150mm管布設工		式	1	1,484,014	1,484,014	1	1,484,014	1,484,014	
内	・φ150mm井類設置工		式	1	163,717	163,717	1	163,717	163,717	
内	・φ150mm仮設工		式	1	362,645	362,645	1	362,645	362,645	
②	・直接経費		式	1		550	1		550	
内	・・排水費		式	1	550	550	1	550	550	

4-2 変更設計書の印刷

変更設計書を作成し、印刷ボタンをクリックします。



まず、初期設定（58A4 横9 行）の印刷フォーマットで印刷してみます。



「PDF 出力」または「Excel 出力」をクリック

印刷の初期設定では上下段表示になります。

変更があった部分は上段が変更前、下段が変更後です。

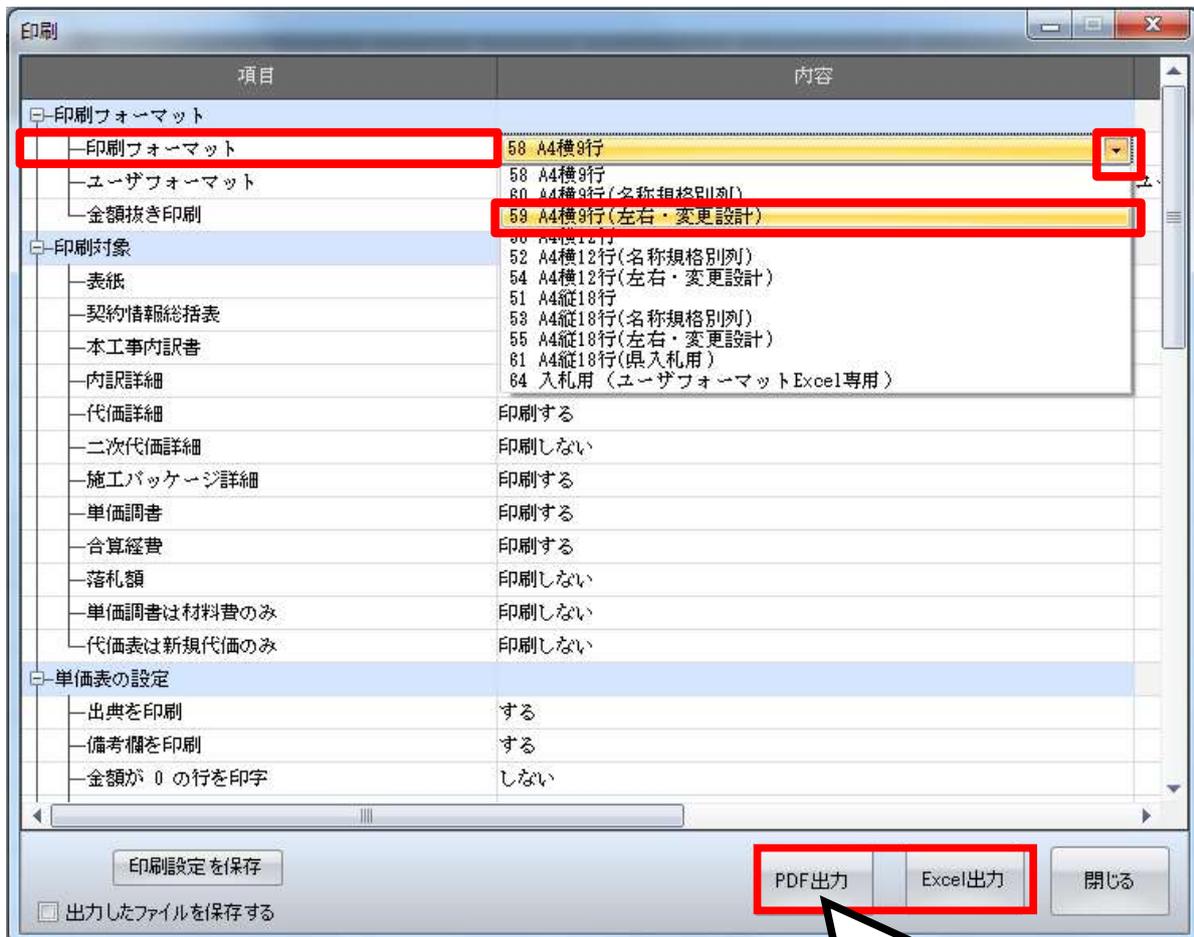
本工事費内訳書

頁0002

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	備考
Φ150mm布設工事	1	式		(3,310,234)	
Φ150mm材料費	1	式		4,494,634	(管:1861423/処:550) 管:3045823/処:550
Φ150mm土工	1	式		(1,109,141)	内訳第1号
Φ150mm管布設工	1	式		2,293,541	(管:1109141) 管:2222211
Φ150mm弁類設置工	1	式		190,167	内訳第2号
Φ150mm弁類設置工	1	式		1,484,014	内訳第3号 (管:752282) 管:752282
Φ150mm弁類設置工	1	式		163,717	内訳第4号
Φ150mm弁類設置工				362,645	内訳第5号
直接				(変更前→ 3,310,234)	(管:1 管:30)
				変更後→ 4,494,634	
Φ100				(変更前→ 1,109,141)	内訳第6号 (管:1 管:22)
				変更後→ 2,293,541	
				6,977,049	(管:4114827/処:550) 管:4114827/処:550

左右表示することも可能です。

印刷フォーマットで 59、または54、55（左右・変更設計）を選択すると左右表示されます。



「PDF 出力」または「Excel 出力」をクリック

左側に変更前、右側に変更後が表示されます。
金額が変更されている部分は赤字で表示されます。

本工事費内訳書 頁0002

費目・工種・種別・細目	単 位	当初設計			変更設計			備 考
		数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
Φ150mm布設工事	式	1		3,310,234	1		4,494,634	(管:Φ1423/処:550) 管:305823/処:550
Φ150mm材料費	式	1		1,109,141	1		2,293,541	内訳 1号 (管:Φ109141) 管:223541
Φ150mm土工	式	1		190,167	1		190,167	内訳 2号
Φ150mm管布設工	式	1		1,484,014	1		1,484,014	内訳 3号 (管:Φ2282) 管:72282
Φ150mm弁類設置工	式	1		163,717	1		163,717	内訳 4号
Φ150mm仮設工	式	1		362,645	1		362,645	内訳 5号
直接経費	式	1		550	1		550	(処:550) 処:550
排水	式	1		550	1		550	内訳 6号 (処:550) 処:550
Φ100mm布設	式	1		6,977,049	1		6,977,049	(管:Φ114827/処:550) 管:4114827/処:550

変更前



変更後



位	当初設計			変更設計			
	数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	1		3,310,234	1		4,494,634	(管: 管:3
	1		1,109,141	1		2,293,541	内訳 (管: 管:2

補足説明

(1) 左右表示で印刷する際、初期設定では列名が当初設計、変更設計となっていますが、自由に変更することができます。PDF、Excel 出力する前に、印刷設定の当世代（最新設計）の列名、前世代（一個前の設計）の列名を変更してください。

□ 単価表の設定	
— 出典を印刷	する
— 備考欄を印刷	する
— 金額が 0 の行を印字	しない
— 金額が 0 の諸雑費計算行を印字	する
— 帳票番号を印刷	する
— 「名称」の列名	
— 「規格」の列名	規 格
— 「名称・規格」（本工事費内訳書）の列名	費目・工種・種 目
— 「名称・規格」（内訳、代価表など）の列名	名 称 ・ 規 格
— 「備考」の列名	備 考
— 当世代（最新設計）の列名	変更設計
— 前世代（一個前の設計）の列名	当初設計
— 前世代の単価・数量・金額を印刷	する

印刷設定内で列名を編集してください

当世代（最新設計）の列名
 前世代（一個前の設計）の列名

位	当初設計			変更設計		
	数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額
;	1		3,310,234	1		4,494,634 (管:3)
;	1		1,109,141	1		2,293,541 (内訳:管:2)

位	変更前			変更後		
	数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額
;	1		3,310,234	1		4,494,634 (管)
;	1		1,109,141	1		2,293,541 (管)

列名が変更されます

(2) 各種設定の変更設計画面で「変更設計を削除」をクリックすると、変更設計が削除され 当初設計書の状態に戻ります。

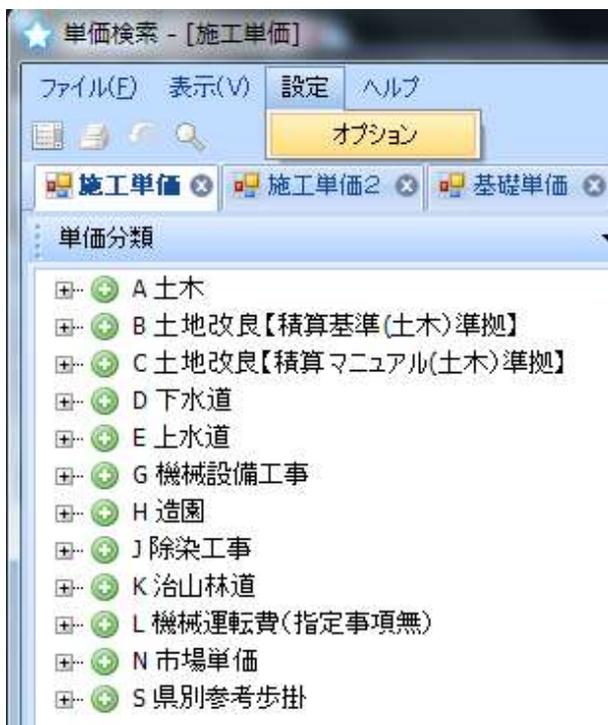


注意 変更設計に亜熱帯・夜間工事がある場合、【変更設計を削除】しても、当初設計書の状態には戻りません。

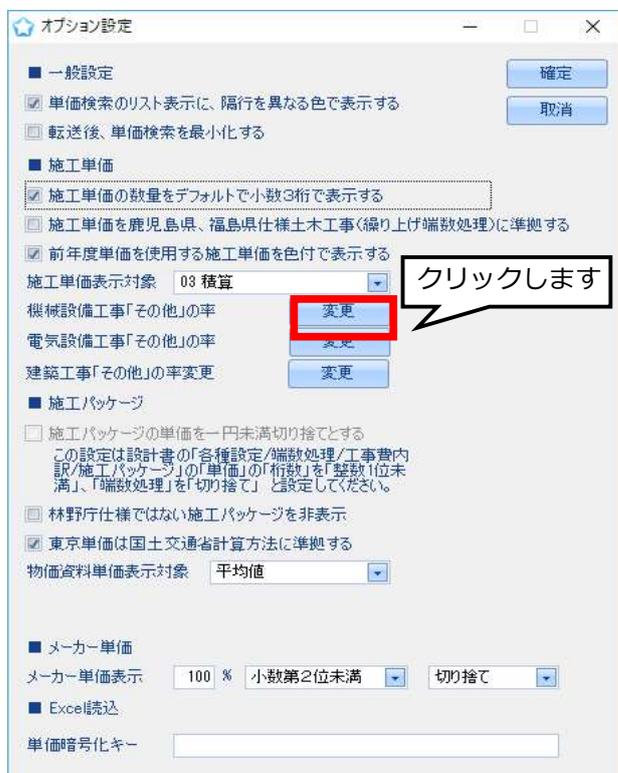
5.機械設備歩掛 その他の率の変更方法

単価検索を起動します。

次に設定のオプションをクリックします。



機械設備工事「その他」の率 変更をクリックする。



初期設定ではその他の率は最大に設定されています。(国交省が最大と定めている為)
ここでは一括して率を変更することも、工種ごとに率を変更することも可能です。

5-1 一括して率を変更する場合

① 「独自の率を利用する」をクリックします

③ 任意の設定に変更した後、「設定を保存」をクリックします。

② 最大、平均、最小をクリックすることで、すべての工種の率を一括で変更します。

○ 規定値を利用する
 独自の率を利用する

2017以降

設定を保存 設定を削除

コード	工種	採用率 (%)	「その他」の標準率
G1	各種配管工事	20	(労) X (20~30%)
G2	配管付属品	18	(労) X (19~27%)
G3	保温工事	20	(材+労+雑) X (18~26%)
G4	塗装工事	18	(材+労+雑) X (18~26%)
G5	機器搬入	20	(労+雑) X (20~30%)
G6	総合調整	20	(労) X (20~30%)
G7	空気調和機器	18	(労) X (19~27%)
G8	ダクト工事	15	(材+労+雑) X (16~24%)
G9	ダクト付属品	19	(労) X (19~27%)
G20	ダクト付属品(たわみ継ぎ手)	26	(労) X (18~26%)
G10	自動制御装置	18	(材+労) X (19~27%)
G11	衛生器具	20	(労) X (20~30%)
G12	衛生機器	19	(労) X (19~27%)
G13	柵	18	(労) X (19~27%)

ボイラ・冷凍機・空気調和機・ポン...
 吹出口・吸込口・ダンパー類等
 労務費には自動制御機器調整費を含む
 タンク・ポンプ・厨房器具・湯沸器...
 ため柵・インバード柵・弁柵類等

○ 最大 ○ 平均 ○ 最小

閉じる

「設定を保存」をクリックすると下の画面に移動します。
 保存するファイル名を入力しOKをクリックします。



最後に確定をクリックします。変更した率が反映されます。

オプション設定

- 一般設定
 - 単価検索のリスト表示に、隔行を異なる色で表示する
 - 転送後、単価検索を最小化する
- 施工単価
 - 施工単価の数量をデフォルトで小数3桁で表示する
 - 施工単価を鹿児島県、福島県仕様土木工事(繰り上げ端数処理)に準拠する
 - 前年度単価を使用する施工単価を色付で表示する
 - 施工単価表示対象: 03 積算
 - 機械設備工事「その他」の率: 変更
 - 電気設備工事「その他」の率: 変更
 - 建築工事「その他」の率変更: 変更
- 施工パッケージ
 - 施工パッケージの単価を一円未満切り捨てとする
この設定は設計書の「各種設定/端数処理/工事費内訳/施工パッケージ」の「単価」の「桁数」を「整数1位未満」、「端数処理」を「切り捨て」と設定してください。
 - 林野庁仕様ではない施工パッケージを非表示
 - 東京単価は国土交通省計算方法に準拠する
 - 物価資料単価表示対象: 平均値
- メーカー単価
 - メーカー単価表示: 100 % 小数第2位未満 切り捨て
- Excel読込
 - 単価暗号化キー:

その他の率が最大（20%）から平均（15%）に変更されました。

	コード	名称	規格	単位	数量	単価	金額	記	計算式
1	Y00000008...	水道用ホリエレン粉体ライン鋼管 外...	SGP-P...	m	1.1	442	486	F	
2	Y00000011...	継手		式	1	331	331	A	F/1.1*0.75
3	Y00000011...	接合材等		式	1	22	22	A	F/1.1*0.05
4	Y00000011...	支持金物		式	1	66	66	A	F/1.1*0.15
5	Y00000016...	配管工		人	0.089	19,300	1717	B	{FQ:#&D3}
6	Y00000010...	仕入れ補修		式	1	137	137	H	B*0.08
▶ 7	Y00000010...	その他		式	1	278	278	X	(B+H)*0.15

5-2 工種ごとに率を変更する場合

① 「独自の率を利用する」をクリックします

コード	工種	採用率 (%)	「その他」の標準率	備考
G1	各種配管工事	19	(労) X (10~20%)	労務費にのみ補修費を...
G2	配管付属品	18	(労) X (10~18%)	弁・伸縮継手・変換...
G3	保温工事	20	(材+労+)	
G4	塗装工事	18	(材+労+)	
G5	機器搬入	20	(労) X	
G6	総合調整	20	(労) X (10~20%)	
G7	空調調和機器	18	(労) X (10~18%)	ボイラ・冷凍機・空調調和機・ポン...
G8	ダクト工事	15	(材+労+雑) X (8~15%)	
G9	ダクト付属品	18	(労) X (10~18%)	吹出口・吸込口・ダンパー類等
G10	自動制御設備	18	(材+労) X (10~18%)	労務費には自動制御機器調整費を含む
G11	衛生器具	20	(労) X (12~20%)	
G12	衛生機器	18	(労) X (10~18%)	タンク・ポンプ・厨房器具・湯沸器...
G13	柵	18	(労) X (10~18%)	ため柵・インバード柵・井柵類等
G14	撤去	20	(労) X (10~20%)	

③ 「設定を保存」をクリックします。

② 率を変更したい工種の採用率 (%) 欄をクリックし、直接入力します。ここでは各種配管工事の採用率に 19%を入力しました。

「設定を保存」をクリックすると下の画面に移動します。
保存するファイル名を入力しOKをクリックします。

VITIES

保存するファイル名を入力してください。

OK キャンセル

最後に確定をクリックします。変更した率が反映されます。

オプション設定

■ 一般設定

単価検索のリスト表示に、隔行を異なる色で表示する

転送後、単価検索を最小化する

■ 施工単価

施工単価の数量をデフォルトで小数3桁で表示する

施工単価を鹿児島県、福島県仕様土木工事(繰り上げ端数処理)に準拠する

前年度単価を使用する施工単価を色付で表示する

施工単価表示対象 03 積算

機械設備工事「その他」の率

電気設備工事「その他」の率

建築工事「その他」の率変更

■ 施工パッケージ

施工パッケージの単価を一円未満切り捨てとする
この設定は設計書の「各種設定/端数処理/工事費内訳/施工パッケージ」の「単価」の「桁数」を「整数1位未満」、「端数処理」を「切り捨て」と設定してください。

林野庁仕様ではない施工パッケージを非表示

東京単価は国土交通省計算方法に準拠する

物価資料単価表示対象 平均値

■ メーカー単価

メーカー単価表示 100 % 小数第2位未満 切り捨て

■ Excel読込

単価暗号化キー

その他の率が19%に変更されました。

	コード	名称	規格	単位	数量	単価	金額	記	計算式
1	Y00000008...	水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 外...	SGP-P...	m	1.1	442	486	F	
2	Y00000011...	継手		式	1	331	331	A	F/1.1*0.75
3	Y00000011...	接合材等		式	1	22	22	A	F/1.1*0.05
4	Y00000011...	支持金物		式	1	66	66	A	F/1.1*0.15
5	Y00000016...	配管工		人	0.089	19,300	1717	B	{FQ:#3:D3}
6	Y00000010...	はかり補修		式	1	137	137	H	B*0.08
▶ 7	Y00000010...	その他		式	1	352	352	X	(B+H)*0.19

6.工事落札額

積算が終了し工事落札額が決定しましたら、「Z B 工事落札額」に落札額を入力します。

X	工事価格	6,490,000	自動計算
Y	消費税	519,200	自動計算
YR	__消費税率		
ZA	工事費計		
▶ ZB	工事落札額	6,000,000	固定値
ZE	請負比率		自動計算
ZC	落札額消費税		自動計算
ZD	工事請負額		自動計算

① 「Z B 工事落札額」に金額を入力します。
ここでは、6,000,000 と入力しました。



「Z E 請負比率」、「Z C 落札額消費税」、「Z D 工事請負額」が自動計算されます。

X	工事価格	6,490,000	自動計算
Y	消費税	519,200	自動計算
YR	__消費税率	8%	自動計算
ZA	工事費計	7,009,200	自動計算
▶ ZB	工事落札額	6,000,000	固定値
ZE	請負比率	92.4499%	自動計算
ZC	落札額消費税	480,000	自動計算
ZD	工事請負額	6,480,000	自動計算

印刷対象		
表紙		工事設計書 (積算者情報付)
契約情報総括表		印刷する
本工事内訳書		印刷する
内訳詳細		印刷

③印刷対象の契約情報総括表を「印刷する」に設定すると契約情報総括表が印刷され、工事落札額や請負比率が表示されます。

契約情報総括表

		当初	第1回変更(増・減)	第2回変更(増・減)	第3回変更(増・減)
積算段階	A 積算工事価格	6490000			
	B 消費税相当額	519200			
	C 積算額	7009200			
契約段階	D 工事価格	6000000			
	E 消費税相当額	480000			
	F 契約額	6480000			
	G 増減				
請負比率	0.924499	B=A×0.08 C=A+B D=Aに対する応礼額 E=D×0.08 F=D+E	B=A×0.08 C=A+B D=Aに対する応礼額 E=D×0.08 F=D+E	B=A×0.08 C=A+B D=Aに対する応礼額 E=D×0.08 F=D+E	B=A×0.08 C=A+B D=Aに対する応礼額 E=D×0.08 F=D+E
注)			D 1 算出 = A1×H = 0.924499 × =	D 2 算出 = A2×H = 0.924499 × =	D 3 算出 = A3×H = 0.924499 × =

株式会社エージェンシーソフト

6-1 設計変更後の工事落札額を計算

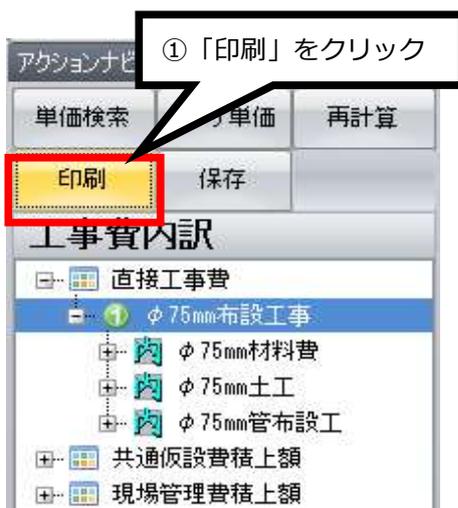
当初の設計書に工事落札額を入力します。（先ほどと同じように6,000,000 を入力します）続いて変更設計書を作成します。（変更設計書の作成方法はマニュアル96ページ参照）

	科目名	金額/値 (前世代)	金額/値 (当世代)
X	工事価格	6,490,000	8,110,000
Y	消費税	519,200	648,800
YR	__消費税率	8%	8%
ZA	工事費計	7,009,200	8,758,800
▶ ZB	工事落札額	6,000,000	7,497,686
ZE	請負比率	92.4499%	92.4499%
ZC	落札額消費税	480,000	599,814
ZD	工事請負額	6,480,000	8,097,500

材料数量を変更し工事価格が1,620,000 円増額され8,110,000 に変わりました。「Z E 請負比率」は当初設計のまま、変更後の工事落札額が計算されます。

6-1-1 設計変更後の工事落札額の印刷

画面左の「印刷」、または画面上部のアイコンをクリックすると印刷設定画面へ移動します。



印刷対象	
表紙	工事設計書 (積算者情報付)
契約情報総括表	印刷する
本工事内訳書	印刷する
内訳詳細	印刷する

②印刷対象の契約情報総括表を「印刷する」に設定すると契約情報総括表が印刷され、工事落札額や請負比率が表示されます。

契約情報総括表

		当初	第1回変更(増・減)	第2回変更(増・減)	第3回変更(増・減)
積算段階	A 積算工事価格	6490000	8110000		
	B 消費税相当額	519200	648800		
	C 積算額	7009200	8758800		
契約段階	D 工事価格	6000000	7497686		
	E 消費税相当額	480000	599814		
	F 契約額	6480000	8097500		
	G 増減		1617500		
請負比率	0.924499	B=A×0.08 C=A+B D=Aに対する応礼額 E=D×0.08 F=D+E	B=A×0.08 C=A+B D=Aに対する応礼額 E=D×0.08 F=D+E	B=A×0.08 C=A+B D=Aに対する応礼額 E=D×0.08 F=D+E	B=A×0.08 C=A+B D=Aに対する応礼額 E=D×0.08 F=D+E
注)			D 1 算出 = A1×H = 0.924499 × 7497686 = 8097500	D 2 算出 = A2×H = 0.924499 × =	D 3 算出 = A3×H = 0.924499 × =

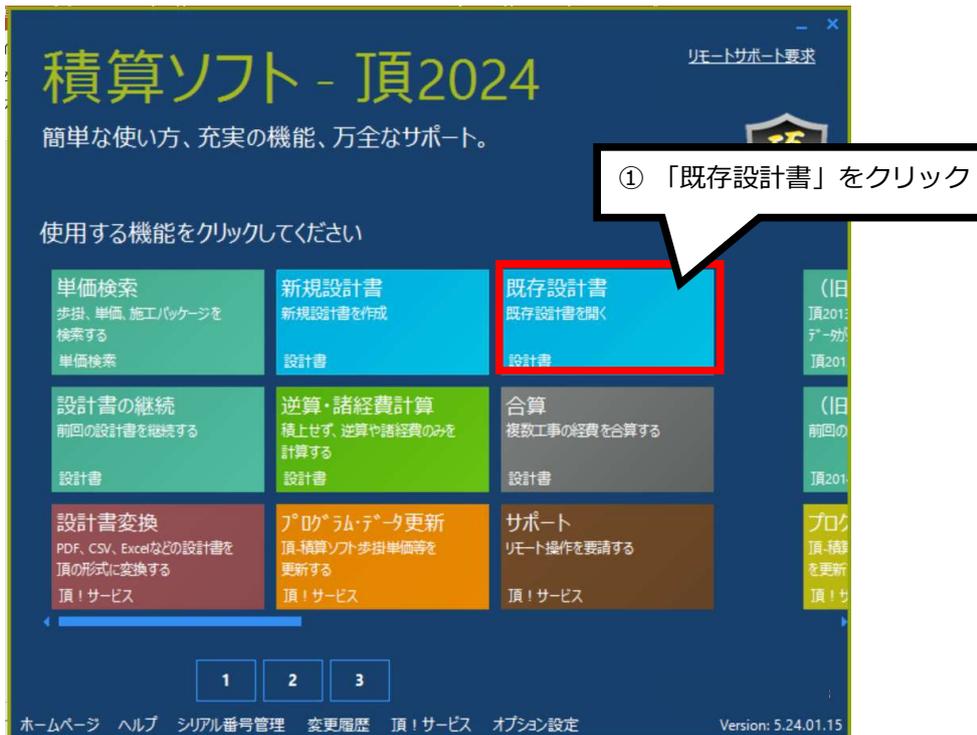
株式会社エージェンシーソフト

7.CSV ファイルのインポート

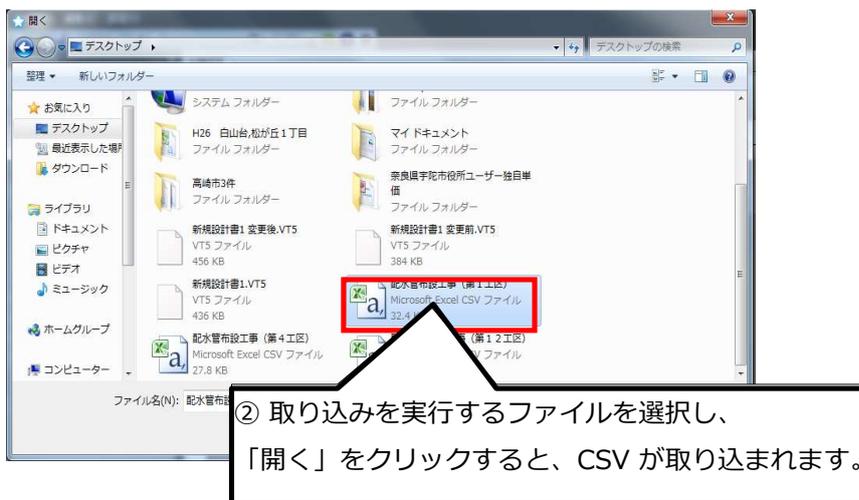
※Excel・PDF 変換サービス（弊社のお客様の向けWEBサイト「頂！サービス」）にて変換したCSV ファイルのみ取り込み可能です。

7-1. CSV ファイルのインポート方法

スタート画面より「既存設計書」を開きます。



取り込みを実行するファイル（頂！サービスで変換されたもの）を選択します。



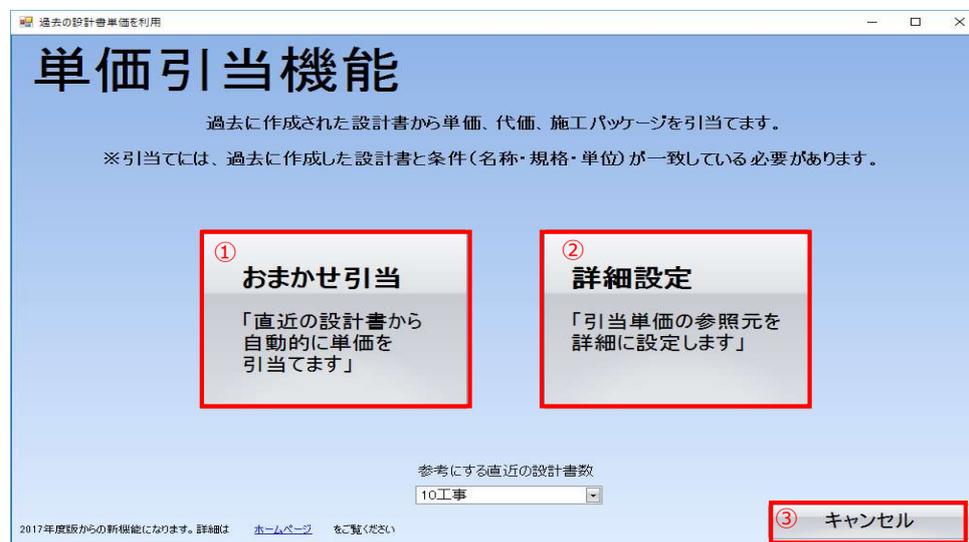
CSV ファイルが取り込まれると「学習機能」画面に移動します。

7-2. 学習機能について

学習機能とは過去に作成した設計書から歩掛・単価・施工パッケージを探し出し、現在作成中の設計書へ引き当てて金額を自動的に埋めていく機能です。

※ 「過去に作成した設計書」と「現在作成中の設計書」において、名称・規格・単位が一致したものに適用されます。

< 「学習機能」画面 >



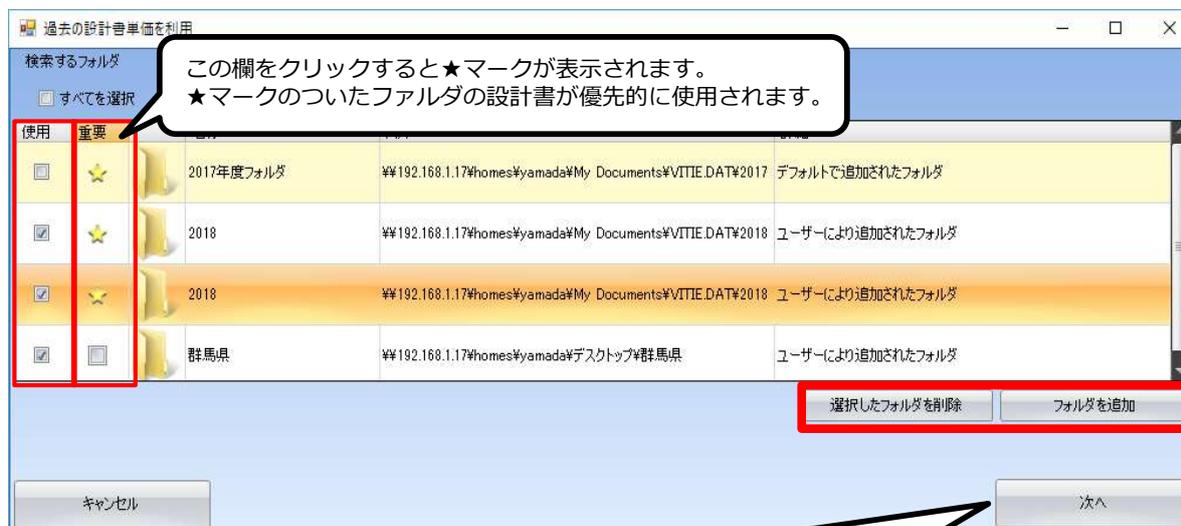
- ① おまかせ引き当て…歩掛・単価・施工パッケージを過去の設計書から自動的に引き当てます
- ② 詳細設定…学習機能に使用する過去設計書のデータを細かく設定し引き当てます
(詳しくはP116へ)
- ③ キャンセル…直接工事費画面に移動します

7-3. 学習機能（詳細設定）を使用する場合

引用に使用する「フォルダ」を選択します。

※初期設定では全ての設計書が選択されています。

※フォルダの削除や、独自で年度や地区ごとに作成したフォルダを一覧に追加することも可能です。



① 使用するフォルダを使用欄より選択し、「次へ」をクリック

選択した「フォルダ」内から、引用に使用する「過去に作成した設計書」を選択します。

※初期設定では全ての設計書が選択されています。



② 使用する設計書を使用欄より選択し、「次へ」をクリック

使用…チェックボックスにチェックが入ったものを引き当てに使用します

工事名…設計書の工事名が表示されます

重要…★マークがついた設計書が優先的に使用されます

単価年度…設計書の単価年度が表示されます

歩掛年度…設計書の歩掛年度が表示されます

施工パッケージ年度…設計書の施工パッケージ適用年度が表示されます

ファイルパス…設計書データの保存先が表示されます

すべてを選択…チェックを入れる则表示されている設計書データを全て選択します チェックを外すと全ての設計書からチェックが外れます

優先順位の並べ替え…引き当てに使用する設計書の優先順位を設定できます(上から順に優先度が高くなります)

歩掛・単価・施工パッケージ一覧表の画面に移動します。



「過去に作成した設計書」と名称・規格・単位が一致したものは新単価部分に金額が入ります。

過去の設計書単価を利用

更新される項目一覧

通用	種	名称	規格	単位	旧単価	新単価	摘要	候補数	帳票番号	場所	ソースファイル
<input checked="" type="checkbox"/>	準	諸雑費		式	0	0		5			
<input checked="" type="checkbox"/>	準	★区画線設置(溶融式)	実線・セアラ45cm	m	0	0		1			検出できませんでした
<input checked="" type="checkbox"/>	準	諸雑費		式	0	0		5			検出できませんでした
<input checked="" type="checkbox"/>	準	★区画線設置(溶融式)	破線15cm	m	0	0		1			検出できませんでした
<input checked="" type="checkbox"/>	準	諸雑費		式	0	0		5			検出できませんでした
<input checked="" type="checkbox"/>	準	★区画線設置(溶融式)	矢印・記号・文字15cm換置	m	0	0		1			矢印・記号・文字15cm換置供用...
<input checked="" type="checkbox"/>	準	諸雑費		式	0	0		5			検出できませんでした
<input checked="" type="checkbox"/>	準	交通誘導警備員B		人	0	0		1			交通誘導警備員B - 1行目
<input checked="" type="checkbox"/>	準	諸雑費		式	0	0		5			検出できませんでした
<input checked="" type="checkbox"/>	泥	舗装版切所	アスファルト舗装版15cm以下	m	492.9	492.9		1	第1-1号P単価表	直接工事費 - 2行目	道路維持修繕工事その3.VT5
<input checked="" type="checkbox"/>	泥	舗装版破砕	アスファルト舗装版厚10cm以下	m2	119.4	119.4		1	第1-2号P単価表	直接工事費 - 5行目	道路維持修繕工事その3.VT5
<input checked="" type="checkbox"/>	泥	除運搬舗装版破砕	根柢(騒音対策不要、厚15cm以下)	m3	167.4	167.4		1	第1-3号P単価表	直接工事費 - 6行目	道路維持修繕工事その3.VT5
<input checked="" type="checkbox"/>	泥	不陸整正		m2	113.2	113.2		1	第1-4号P単価表	直接工事費 - 8行目	道路維持修繕工事その3.VT5
<input checked="" type="checkbox"/>	泥	基層(車道・路肩部)厚45mm以上55mm未満	再生粗粒度アス(20)	m2	2217	2217		1	第1-5号P単価表	直接工事費 - 9行目	道路維持修繕工事その3.VT5
<input checked="" type="checkbox"/>	泥	表層(車道・路肩部)厚45mm以上55mm未満	再生密粒度アス(10)	m2	2236	2236		1	第1-6号P単価表	直接工事費 - 10行目	道路維持修繕工事その3.VT5
<input checked="" type="checkbox"/>	泥	区画線設置(溶融式(手動))	実線・セアラ15cm供用区間	m	484	484		1	第1-2号代価表	直接工事費 - 11行目	道路維持修繕工事その3.VT5
<input checked="" type="checkbox"/>	泥	区画線設置(溶融式(手動))	実線・セアラ45cm供用区間	m	1150	1150		1	第1-3号代価表	直接工事費 - 12行目	道路維持修繕工事その3.VT5
<input checked="" type="checkbox"/>	泥	区画線設置(溶融式(手動))	破線15cm供用区間	m	325	325		1	第1-4号代価表	直接工事費 - 13行目	道路維持修繕工事その3.VT5

候補選択

選択された項目 泥 舗装版切所 アスファルト舗装版15cm以下 m 0

種別	名称	規格	単位	単価	摘要	帳票番号	場所	ソースファイル
泥	舗装版切所	アスファルト舗装版15cm以下	m	492.9		第1-1号P単...	直接工事費 - 2行目	道路維持修繕工事その3.VT5

検出された更新候補

戻る 実行

③ 引き当てるデータを適用欄より選択し、「実行」をクリック

- 適用…チェックボックスにチェックが入ったものに引き当てが実行されます
- 種…単価や代価、施工パッケージなどの種類が表示されます
- 候補数…作成中データと一致する物を候補数として表示します
一致するものが複数出た場合は「検出された更新候補」からどのデータを使用するか選択できます
- 場所…作成中の設計書内での使用場所が表示されます
過去データと一致する物がなければ「検出できませんでした」と表示されます
- ソースファイル…どの過去データから引き当てたか表示されます

一致したデータが引き当てられました

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	帳票番号	集計対象	集計値
1	工事費	・ 本工事費		式	1		12,892,825				処:1113238
2	泥	・ 舗装版切所	アスファルト舗装版15cm以下	m	40.4	492.9	19,918		第1-1号P単価表		
3	準	・ アスファルト切所排水運搬費	積載量2t運搬距離10mまで	台	1	10,530	10,530				
4	準	・ アスファルト切所排水処分費	中間処理後、最終処分場へ搬入	m3	0.087	54,000	5,238			処分費	処:5238
5	泥	・ 舗装版破砕	アスファルト舗装版厚10cm以下	m2	2,357.8	119.4	281,521		第1-2号P単価表		
6	泥	・ 除運搬舗装版破砕	根柢(騒音対策不要、厚15cm以下)	m3	285.8	1,574	971,149		第1-3号P単価表		
7	泥	・ 廃材持込料	A6廃材	式	1	1,109,000	1,109,000		第1-1号代価表		処:1108000
8	泥	・ 不陸整正		m2	2,357.8	113.2	266,302		第1-4号P単価表		
9	泥	・ 基層(車道・路肩部)厚45mm以上55mm未満	再生粗粒度アス(20)	m2	2,357.8	2,217	5,227,242		第1-5号P単価表		
10	泥	・ 表層(車道・路肩部)厚45mm以上55mm未満	再生密粒度アス(10)	m2	2,357.8	2,236	5,272,040		第1-6号P単価表		
11	泥	・ 区画線設置(溶融式(手動))	実線・セアラ15cm供用区間	m	60	484	29,040		第1-2号代価表		
12	泥	・ 区画線設置(溶融式(手動))	実線・セアラ45cm供用区間	m	27	1,150	31,050		第1-3号代価表		
13	泥	・ 区画線設置(溶融式(手動))	破線15cm供用区間	m	180	325	52,000		第1-4号代価表		
14	泥	・ 矢印・記号・文字15cm換置供用区間	矢印・記号・文字15cm換置供用区間	m	50.04	0	0		第1-5号代価表		
15	準	・ 交通誘導警備員B	昼間(実働8時間)交替要員無し	人日	14	11,300	158,200				

7-4.個別に学習機能を使用する場合

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額
1		本工事費		式	1		12,812,912
2		舗装版切取所 単価検索	アスファルト舗装版15cm以下	m	40.4	0	0
3		他の設計書から単価を検索	積載量2t運搬距離10kmまで	台	1	10,530	10,530
4			中間処理後、最終処分場に搬入	m3	0.097	54,000	5,238
5		代価 単価			2,357.8	119.4	281,521
6		施工パッケージ 計算			235.8	1,574	371,149
7		注釈行	As廃材	式	1	1,108,000	1,108,000
8		空行		m2	2,357.8	119.2	266,302
9		付箋 クラス変更	55mm未満 再生粗粒度アスコ(20)	m2	2,357.8	2,217	5,227,242
10		数量設計書からインポート	55mm未満 再生密粒度アスコ(18)	m2	2,357.8	2,236	5,272,040
11		コピー 貼り付け(追加)	実線・セパ15cm供用区間	m	60	484	29,040

① 右クリックで「他の設計書から検索」を選択

過去の設計書単価を利用

更新される項目一覧

適用	種	名称	規格	単位	旧単価	新単価	摘要	候補数	帳票番号	場所	ソースファイル
<input checked="" type="checkbox"/>		舗装版切取所	アスファルト舗装版15cm以下	m	0	492.9		5	第1-1号P単...	直接工事費 - 2行目	道路維持修繕工事その3.VT5

候補選択

選択された項目: 舗装版切取所, アスファルト舗装版15cm以下, m, 0

種別	名称	規格	単位	単価	摘要	帳票番号	場所	ソースファイル
	舗装版切取所	アスファルト舗装版15...	m	494	第25号内訳R書	第1-1号P単...	直接工事費 - 9行目	千葉県船橋市咲が丘 検証結果.VT5
	舗装版切取所	アスファルト舗装版15...	m	0	第1-1号P単価表	第1-1号P単...	直接工事費 - 2行目	道路維持修繕工事その3.VT5
	舗装版切取所	アスファルト舗装版15...	m	492.9	第1-1号P単価表	第1-1号P単...	直接工事費 - 2行目	道路維持修繕工事その3.VT5
	舗装版切取所	アスファルト舗装版15...	m	0	第1-1号P単価表	第1-1号P単...	直接工事費 - 2行目	道路維持修繕工事その3.VT5
	舗装版切取所	アスファルト舗装版15...	m	492.9	第1-1号P単価表	第1-1号P単...	直接工事費 - 2行目	道路維持修繕工事その3.VT5

戻る 実行

② 使用するデータを決定し、「実行」をクリック

「工事費内訳」をクリックして確認して下さい。

各種設定

科目名 金額/直(当世代) 計算方法 有効数字 端数処理

科目名	金額/直(当世代)	計算方法	有効数字	端数処理
KS 工事種類	土木工事			
KB 工程区分	河川工事			
KY 経費年度	2014			

③ 工事内訳書をクリック

工事内訳

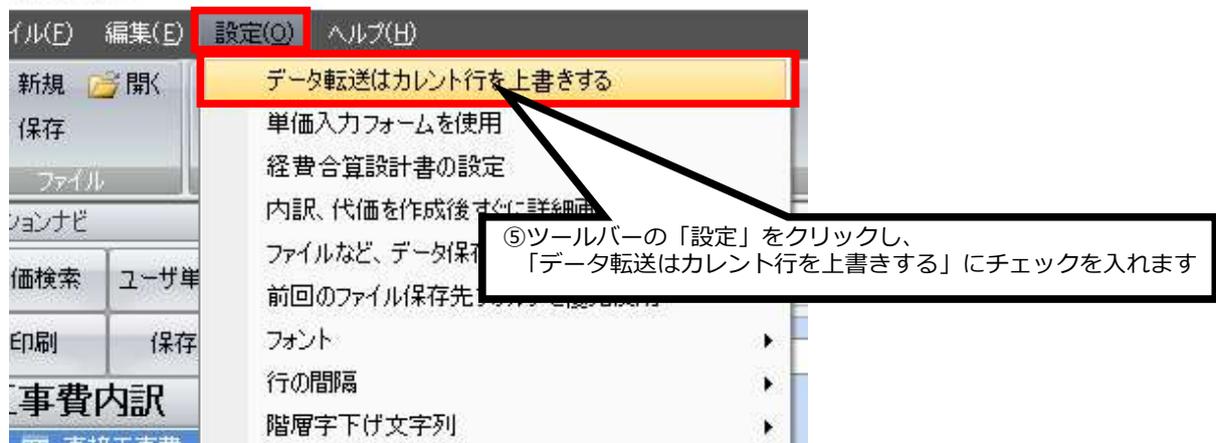
金抜きの状態なので、階層行以外の全ての行が黄色の表示になっています。
 単価の金額が入ると階層は緑、内訳書は水色、代価はピンク、単価は白に色が変わります。

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	帳票番号
1	①	老第2637号_φ150mm布設替工事		式	1				
2	内	φ150mm材料費		式	1			第1号明細表	内訳第1号
3	内	φ150mm土工		式	1			第2号明細表	内訳第2号
4	内	φ150mm管布設工		式	1			第3号明細表	内訳第3号
5	内	φ150mm弁類設置工		式	1			第4号明細表	内訳第4号
6	内	φ150mm管撤去工		式	1			第5号明細表	内訳第5号
7	内	φ150mm仮設工		式	1			第6号明細表	内訳第6号

補足説明

単価検索からデータ転送する前にツールバーの「設定」から「単価検索の結果でカレント行を上書きする」にチェックを入れることで、上書きモードとなり、名称や規格の文言を変えずに下位表のみを差し替えることができます。

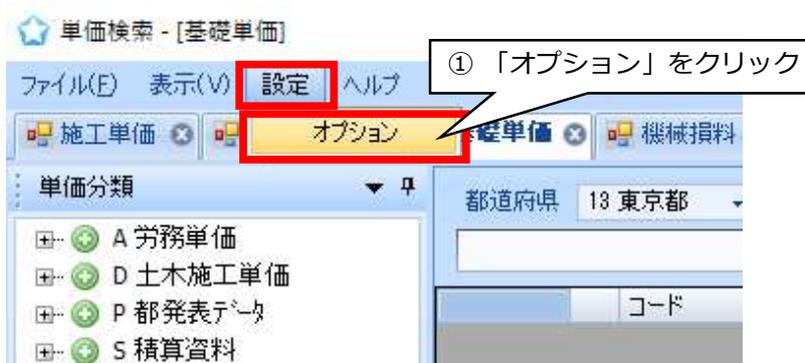
新規設計書2



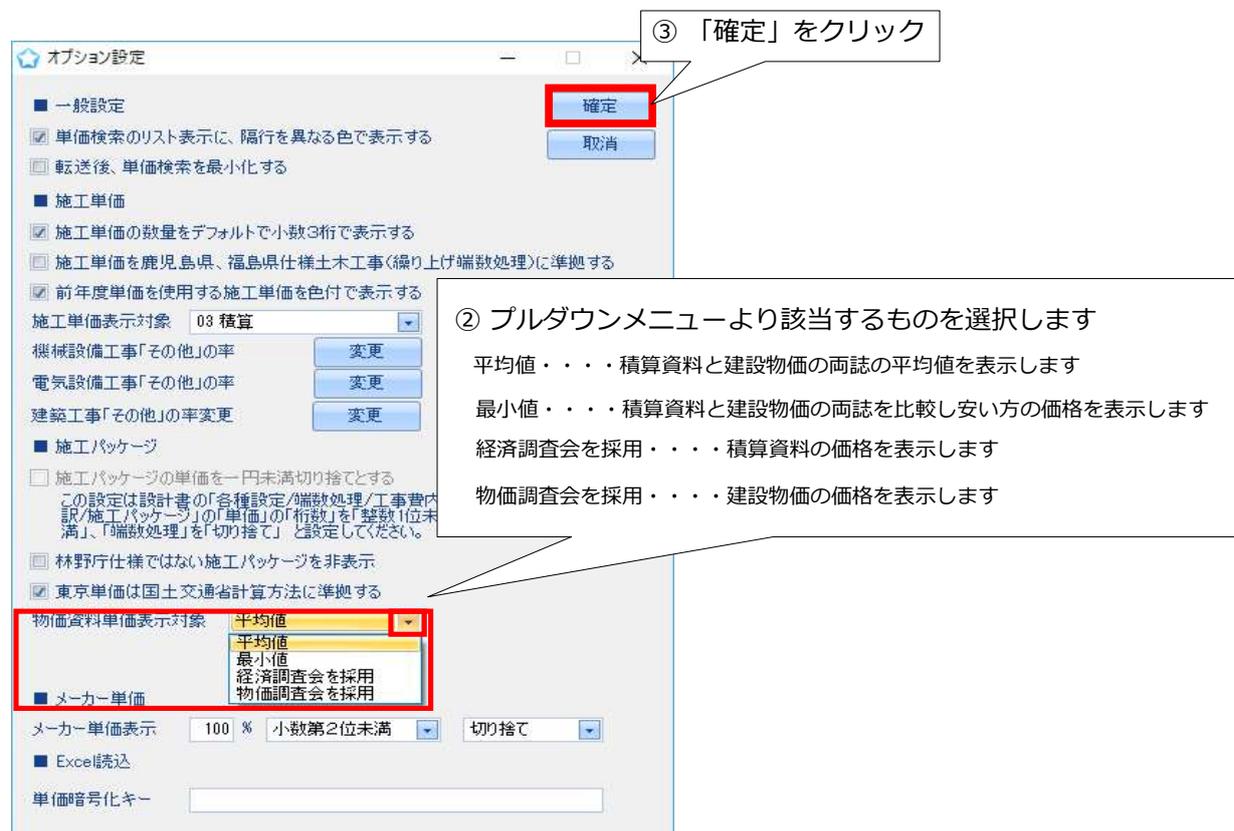
8. 「物価資料」単価表示対象の設定

単価検索の「物価資料」のタブ内で表示される単価の採用方法を設定できます。

単価検索の設定メニューより、オプション設定画面を開きます。



オプション設定画面が開きました。



設定が完了しました。単価検索の「物価資料」のタブ内で確認してください。

<単価検索上（物価資料タブ内）の表示>

	コード	名称	規格	単位	単価 ①	物調 ②	経調 ③	備考 ④
1	B0501012210_214	異形棒鋼 SD295A	D10	t	61,500	62,000	61,000	※KN建2016年11月19頁62000円 積2016年11...
2	B0501012210_314	異形棒鋼 SD295A	D10	t	61,000	0	61,000	※KN建2016年11月0頁0円 積2016年11月18...

- ① 単価・・・オプション設定で設定した表示方法で表示されます。（ここでは平均値）
- ② 物調・・・「物価調査会」の略です。建設物価の価格が表示されます。
- ③ 経調・・・「経済調査会」の略です。積算資料の価格が表示されます。
- ④ 備考・・・両誌のそれぞれ何ページに掲載されているかを表示しています。